夕刊
滿洲日報
七月二十九日

北滿の各金融機關を支那側で獨占の計畫
東鐵回收の効果を擧げる爲 專門家に調査を命ず

【北平二十八日發電】張學良氏は東鐵回收の基礎的効果を擧ぐべく從來露國側の手にて占められた經濟機關殊に金融諸機關を完全に回收獨占の目算を立て、廿七日附當地銀行界の重鎭周作民氏其他幹部に對して至急奉天に來り更にハルビンに赴いて實狀を調査し支那獨自の金融機關設置に當られたいと委囑して來た、銀行工會は廿九日大會を開いて之が諾否を決するはずであるが多分張學良氏の希望通り周作民氏等の乘出となるであらう、右は東鐵問題が今後外交々渉に移り相當長期に亘るべきにより露國及び外國資本の侵入を防止しつゝ經濟界における露國の勢力を根こそぎに覆へさんとする目的に因るものであると

對露交渉委員任命 朱、韓兩氏哈市へ急行

【北平二十八日發電】國民政府は朱紹陽氏を對露單獨交渉全權に任命すると共に未赴任の露領黒河總領事韓述曾氏をも交渉委員に內命し朱、韓兩氏は同行ハルビンへ向つた、一行は蔡科張繼良、張作相、張景惠、呂榮寰氏等と協力し專ら折衝に當るはずで、斯て支那は戰爭回避から和平解決まで一歩を進めたものである

勞農の要求全部を容れ 支那側和平を期待 ハルビンで交渉せん

【東京二十九日發電】一時は正面衝突を豫想せられた露支關係も支那側の妥協的態度に漸く緩和し兩國の直接交渉開始の機運は頓に熟して來たもの〻如く二十六日メリニコフ總領事、張作相兩氏の會見に於ても平和交渉に入るべき準備的打合せがあつたものと信ぜられてゐるが、該交渉に入るソウエート政府の態度は

一、東支鐵道を舊狀に復すること
二、支那が拘禁せるロシア人を釋放すること
三、支那がソウエートの各機關に加へてゐる武斷的壓迫を停止すること

の三ケ條を前提要件としてゐるものであるが、之に對する國民政府要路の意向は和平解決のため東支鐵道を舊狀に復するも致し方なしといふに決せるもの〻如く、なほハルビンにおける支那官憲は嚢に斷行せる總領事館搜索以來拘禁してゐるソウエート國籍者を證據不充分の理由で近日中に釋放すべき旨を言明してゐる、尚は國境における露支兩軍はそれ〴〵後退を開始したとの確報もあり之等の事態は露支兩國の間に平和解決の機運が動いてゐることを裏書するものと見られる、而して

交渉地 はベルリン等の說もあるが實際問題としては現地なるハルビンが最も可能性多くソウエート側はメリニコフ總領事、セレブリヤコフ鐵道參與官、支那側よりはハルビンに急行中の蔡科鐵道部長が之に當るものと見られるが、目下交渉斷絕の狀態に在る兩國の事とて交渉開始までの手續は第三國の仲介によるか、又は兩國のみの間に何等かの辦法を案出するか、交渉開始までにはなほ相當の時日と曲折を要するものと見られてゐる

日本が滿洲に軍隊四千を增派 支那新聞の反日記事

【上海特電二十九日發】今朝の當地支那新聞は、中央某要人が奉天政府より接受せる電報として、日本政府は最近長春、奉天に四千の軍隊を增派し又山本滿鐵總裁に命じてハルビン或は場合によつてロシアに派遣することゝなつたと報じ、東鐵問題紛糾に乘じて日本が漁夫の利を爾るべく汲々たるが如く反記事を書き立てゝゐる

支那騎兵二千名 國境守備に就く 勞農軍も移動對抗

【滿洲里二十八日發電】今朝齊々哈爾より到着した支那軍騎兵二千名は國境防備線に配備された、飛行機三臺も近日中に到着する筈、支那軍は之を以て國境を固め歩兵四千、砲兵一千で滿洲里、達來諾爾を守備することゝなつた、一方勞農軍はダウリヤに歩兵一師、騎兵一旅、アバガイドに歩兵一師あり東方に向つて移動しつゝあり

北支領事館員 大連に引揚

在支勞農領事館員は本國政府の命令により續々引揚中であるが廿九日午前五時臨時塘沽より入港の濟通丸にて、また天津駐在代理總領事グリコレフ夫妻、同領事館附陸軍武官ガラキン氏夫妻及び漢文秘書官アンドイリジル氏が來連、東公園町の勞農領事館に入り善後策の打合せをなす筈で一行は便船を求め、前に來連せる北平、張家口領事館員と同様海路日本に渡り敦賀より浦鹽に向ふはず

奉天勞農領事等 けふ本國へ向ふ 日本、浦鹽を經由して

時局の紛糾と共に來連、各方面と交渉中であつた奉天勞農領事マルツノフ氏、副領事ゼリムチエク氏外館員四名に、廿七日盛京丸にて塘沽より來連せる天津同國領事館員一名、北平同國領事館員二名外妻子合計十八名は廿九日出帆あめりか丸で日本へ向つたが、一行は最初の本國引揚露國領事館員で流石に沈痛なる面色で見送りの同胞と別れの挨拶を交してゐた、同一行は二週間以內に本國引揚げの命を受けてゐるから渡日の上は便船次第で敦賀より浦鹽へ向ふと

現業員十三名で辛うじて長哈間列車を運轉
辭職した赤系驛員復職せず

【長春特電二十九日發】露支國交斷絕の結果同盟辭職した寬城子驛員は全部で五十五名、その內二十九名は事前に支那警察に捕へられ今尚拘束されてゐる、他の二十六名中八名は南滿へ赴き十六名は長春に在住してゐる、又長春連絡驛に勤務してゐた十六名も職を離れて長春市內に在住してゐる、此等赤系失業者に對して此程寬城子職業同盟メストコムの共濟金三千二百圓を支拂つて生活費に當てさせることゝなつた由だが、この資金が費ひ果たされると又復彼等は生活難に陷るだらうが國策の犧牲になつたのだから本國の職業同盟本部で何とかして呉れるだらうと案外樂觀してゐる、尚支那當局は之等失業者に對し直に復業するものはその罪を問はずと掲示してゐるが、まだ一名も復業を懇願してゐるものはないので、長春で募集した五名と哈爾賓で採用した八名で辛うじて列車を運轉してゐる

單獨交渉で解決の見込充分 朱全權、北平で語る

【北平廿八日發電】朱紹陽氏は今夕來平したが氏は余のハルビン行は東鐵問題の總括的調査のためで交渉の全權代表の資格は持つてゐない、勿論何れに根本的誤解ありや否やを精査し政府に報告するが今回の事件は單獨交渉で十分に解決の見込みであると語つた

勞農機發砲 演習と稱し 滿洲里方面で

【ハルビン二十八日發電】滿洲里方面で勞農軍は演習と稱して又復空砲を發射し勞農軍飛行機は露領內に爆彈を投下したと

支那公使館前で示威

【ロンドン二十八日發電】約二百餘名の共產主義者本日午後當地の支那公使館に示威運動をなし更にトラフアルガルスクエアーに赴つたが何れも警官に解散された

水產會總代會

關東廳水產會に於ては本日午後一時より臨時總代會を開催し追加豫算の變更に就て評議したが、出席者は神田會長、小川副會長、松丸、藤原、井上主事、別府技師及び總代の諸氏である

東北四省の黨務指導委員會
來る九月中に正式成立

【吉林特電二十九日發】奉天における東北四省黨務籌備委員會より當地に達した消息によれば東北四省黨務指導委員會は愈九月中に正式成立することゝなり、中央黨部より任命された吉林省委員張心澂、單成儀兩氏は自發的に辭職したが其他の者には異動なく右委員王誠、顧耕野兩氏は本月末奉天より吉林省城に來る豫定であると、因に王、顧兩氏來吉の上は委員張作相氏と協議の上吉林省黨務指導委員會を正式に設置する

長官會議に列席 直ぐ歸つて來る けふ上京した藤岡警務局長談

藤岡警務局長の上京は一部の者より種々な目をもつて見られてゐるが、廿九日出帆のあめりか丸に泉大連署警務主任同伴乘、市內各警察署の主任級の見送りを受けながら「地方長官會議に出席の爲上京するんだよ勿論歸つてくるさ」と簡單にあしらいながら折柄同じく上京する爲乘船した滿鐵文書課長山崎元幹氏と挨拶を交してゐた

馮派要人に復職督促

【上海特電二十九日發】曩に蔣、馮葛藤のため上海に避難してゐた馮派の要人鹿鍾麟、唐悅良、熊斌氏等に對し蔣介石氏より歸京復職方を促して來たので何れも今夜の列車にて南京へ歸ることに決した

極東の勞農各團體 反支氣勢を揚ぐ
食糧は豐富で物價等も安定 —宇佐美鐵道部長視察談

先月廿二日大連出發烏鐵との輸送協定のため東部露支國境を通過してハバロフスクに赴き更にチタ方面を視察中水害のため足止めを食ひ一時行方不明を傳へられたが廿九日朝大連入港の諸威貨物船ナガラ號に浦鹽より便乘して無事歸任せる滿鐵宇佐美鐵道部長は懸案の滿烏協定ロシア人一般の時局に對する空氣並にロシア國內の食糧缺乏說等に就いて左の如く語つた

本月二日ポクラニチナヤ通過浦鹽に赴き二日程同地に滯在してハバロフスクに行き更に八日同地發ブラゴエチエンスクに行つたので

露支間 國交斷絕は十五日ブラゴエチエンスクを出發してチタに赴く少し前まで全然知らなかつた、烏鐵沿線の水害は昨年に比して本線は被害範圍狹く僅かにブラゴエ支線に故障を生じた位のもので最早殆んど復舊してゐると思ふ、チタ方面では砲車、軍馬其他軍需品が盛に輸送されつゝあるのを見た、一般勞働者、兵士達は今回支那側の行動に非常にエキサイトされて各種の團體で盛に決議を行ひ

反支の 氣勢を揚げてゐて幹部連中は慰撫するのに骨を折つてゐた、烏鐵との交渉は總て至極圓滿に進行し調節日の設定、烏鐵公債の値上等の問題は順調に纏めることが出來た、露國內の食糧缺乏說は噂だけで、食糧は各地共相當豐富なのに驚かされた、但しパンは殆んど黒パンのみで白パンは少いが肉類等も浦鹽邊りは冷藏倉庫に行くと五百頭、七百頭と貯藏されてゐる狀態で一般の勞働者階級の消費には何等不足せず唯先般日本內地でも實施した如き國家總動員、生產消費管理の訓練を平時より實施してゐるものと解される、

物價も 安定してゐるし日本人に對しては一般に好感を有つて居り、私達は各地方の中央執行委員長、ゲ・ペ・ウの隊長等から非常に歡待された、今回の視察地方の烏鐵、ザバイカル鐵道共規則的に運轉してをり速力も相當速い、恰度季節が新綠期で廿五日浦鹽着迄烏鐵沿線の白樺林、ザバイカルの森林地帶の美しい風光を心行くまで滿喫することが出來た

極東支那領事を監禁の噂傳はる 兩地領事の消息不明

【滿洲里二十八日發電】西伯利イルクツク、チタ、ウエルフネウジンスク各地の支那領事はチタで落ち合ひ今明日中に滿洲里着、ハルビン經由歸國の筈であるが、ブラゴエシエチエンスク、ハバロウスクの支那領事は尚消息不明で一說には勞農官憲のため監禁されてゐると

市會革新派 聲明要旨 市政に關する

大連市會議員中、革新派の今村、大內、岡本、小野、笠原、高橋、河內山、有馬、佐多、宮崎、品田の諸氏は廿八日夜市政の現狀に關し聲明を發表した、其要旨は所謂中立三田、立石、富井三氏より妥協條件として

一、今市會に於て市長の推薦した助役收入役を承認すること
二、恩田熊壽郞氏を議長とすること
三、右二項を條件として石本市長は十一月中に有給市長案を市會に提案すること

を提示し賛成を求められたが協調的交渉に非ざれば賛成し難い、即ち該案により形式的に市長の推薦にかゝる(事實は提案者の推薦にかゝる)助役、收入役を市會に於て承認するは公の形式に於て石本市長に對する信任を表示するものにて一度信任の意を表示せる以上如何なる理由を以て石本氏に其辭任を要求するや又石本市長が十一月を期し有給市長案を提出し其の實現により當然に石本氏の市長たる效力を消滅することありとすれば該妥協案により助役收入役に就任せる人は原則として石本氏と連袂辭任すべく市は僅々數ケ月の在任者に對し尚相當の退職給與を支給せざる可からずとせば市にして無用冗費を負擔せしむるものにして市政を愚弄する之より甚だしきは無からん之吾等の贊同し得ないといふのにある

關東廳實行豫算 略、原案通り通過 遞信局、法院方面削減

關東廳實行豫算は略原案通りに通過したが、削減された部分は遞信局、法院方面であつて、委細は一且歸任して昭和五年度新豫算を評議する筈である

農業實習所評議員決定

滿鐵熊岳城農業實習所は七月一日から會計を獨立したが同時に評議員規定を設け左の通り評議員を決定七月一日附で發表した

總裁室業務課 花井脩治
總裁室 千葉豐治
地方部庶務課長 市川健吉
同地方課長 中西敏憲
同興務課長 平野正朝
瓦房店地方事務所長 西村柔治
熊岳城農業實習所長 小原敬介
興業部農務課長 松島鑑

人事

▲宇佐美寬爾氏(滿鐵々道部長)廿九日入港ナガラ號にて浦鹽より歸任
▲伊澤道雄氏(滿鐵々道部渉外課長)同上
▲義永富二夫氏(滿鐵渉外課員)同上
▲軍司義男氏(滿鐵哈爾賓事務所庶務課長)同上
▲岡崎虎雄氏(國際運輸哈爾賓支店長)同上
▲高畑誠一氏(滿鳥共同事務所)同上
▲宗像金吾氏(成發東主)同上
▲藤岡兵一氏(關東廳警務局長)廿九日出帆あめりか丸にて東上
▲泉文三氏(大連署警務主任)同上
▲山崎元幹氏(滿鐵文書課長)同上
▲村井啓次郎氏(大連火災保險社長)同上

大觀小觀

◇ツ伯號飛行船一氣に來飛せんとする折柄、日本では純國產の飛行船が浮んだと喜んで居る。
◇所詮、大人と子供の相違だ。
◇プ中尉の幸先にケチがついたと云つて喜ぶほど、日本飛行界はケチなものか知ら。
◇大手を擴げて「まあ〳〵〳〵」も、芝居の留男なら景氣がよからう。
◇だが質の惡い喧嘩同志は、往々あとで留た奴の惡口を言ふ、下手に渦中に入らぬこと。
◇妥協機運動き出し、兩國々境に兵力を集中す、とは一たい什麼ロヂックだ。
◇五十錢の辨當、一圓五十錢の宴會で緊縮節約の徹底を期す。
◇成程貧乏人に取つては夢想だに出來ぬ緊縮節約振りだ。

天氣豫報

三十日(曇り一時晴)東南の風
日出 四、五一 日沒 七、〇八
滿潮前 三、四〇 後 三、四〇
干潮前 一〇、一〇 後 一〇、三〇

各地の溫度

	十一時	昨日最高
大連	二七、四	三一、〇
旅順	三〇、〇	三〇、三
營口	二八、八	三一、二
奉天	二九、四	三二、九
長春	二八、〇	三一、九

楯の半面
辭める山本滿鐵總裁 (五)

村松君の觀た家の大將

山本氏の、それこそほんとの手足となつて働いて居るものにボーイの村松君と云ふのがある。村松君は今年三十三、女ならば厄年と云ふ所だが小柄な色白の好男子であるから、見掛はそれよりもズツと若い。初て山本氏に仕へたのは既に十數年の昔、故郷の笹原君よりは更に二三ケ月許り舊い方だ、その村松君の山本氏觀——これまた氏の楯の半面を知る一ツの材料であらう

▽——△

家の大將(無論山本氏を指す)かね、大將と來たら何しろ滅法忙しい人でね、私のやうな附添ひのものも、年中一年中駒樂かねて見ないと、チョックラチョイトは勤め難い人ですよ。其代り馴れて終へば主人として此位勤め樂な人はない、然しいつちう傍につき切つて居なくても、大抵なことはドシ〳〵自分でされます、寢るにも起るにも一々人を煩はす事など滅多にない、時に氣に喰はぬやうな事があつたとしても一寸眉根をピク〳〵させるが關の山、頭からガミ〳〵怒鳴りつけるなことなど居とありませんね、何しろその君い時から苦勞して居る人は、道に違ひますよ」

宴會を氣にする村松君

この村松君、山本氏から常に「繁々」と可愛がられて居るだけに却々忠實な主人思ひ——山本氏の系統には腦溢血で倒れた人が多いと云ふので、常日頃その事ばかりを氣に惱んで居る。村松君が細かい所まで氣をつけて居るのは、山本氏の身の廻りと云ふよりも、寧ろ此の點が主になつて居ると云つてもよい位だから村松君が山本氏の出る宴會を氣にすることは一通りでない、大抵の場合は笹原氏にこれ〴〵とこれを頼んで置くが、その笹原氏も出ない宴會となると村松君立つても居ても居られない位心配して居る。

▽——△

「萬一のことがあつたら夫人に濟まぬ……」

村松君は何時も斯う口癖のやうに言つて居るが、ツイ過日もこんなことがあつた。それは何でも六月の株主總會準備のため山本氏が未だ社長として歸滿して居たときの話——或夜晩く村松君が憤々怒つて居る、何をそんなに怒つて居るかと思ふほどかん〴〵に猛り立つて居る。

星の家女將叱られの事

「サア誰れがなんと言つたつて承知せんツ、星の家の女將奴怪しからんぞツ……」

と温厚な村松君いつになく眞ツ赤になつて居るので、何うしたわけかと聞いて見ると、その夜星の家における或宴會で山本氏は珍しく大酒をあふつたと見えドロ〳〵に醉拂つて歸つて來た、こんなことがあつてはならぬと、村松君自ら星の家の女將に會つて『深酒しないやう注意して呉れ』と懇々頼んで居たに拘らず此の始末、と云ふので村松君斯くはかん〴〵に怒つたわけ、星の家の女將を怒鳴りつけたばかりでは氣が濟まず、永い間その餘憤を洩らして居た事實に見ても、村松君が何んなに山本氏の身邊に注意して居るかゞ窺はれて面白い。

三對二の大接戰で再び霸權は佛國へ
デ盃決戰に米國惜敗

……王女子御分娩御二方共御……在らせらるゝ旨宮内省より……された

黄鳳岐氏は亡命生存
大阪にゐる

……が山東より一敗地に塗れ大連に逃亡して來た當時同行の軍長黄鳳岐氏は途中長山列島に於て支那東北艦隊に捕はれ銃殺されたとか其後奉天に於て殺されたとか其安否審かでなかつたが去る十八日黄氏部下楊某は黄氏第一夫人と共に青島に行方を探しに行き廿三日歸連したが其傳へる處に依ると黄氏は無事で大阪に亡命したと

聖上陛下還幸

博義王妃殿下王女を御出産

酷暑の御難
戸締りに御用心

……の殺人的暑さは大連には……夜に入つても風も無く仲々……も出來ないが夫かあらぬ……を開けた儘寝たり戸締不……が非常に多く又其を狙ふ……非常に殖えた
……町三丁目一四一江東三郎氏……七日夜裏口から忍び入つ……が主人の寝室の枕下にあつ……在中の金八圓を窃取逃走……徳街三丁目一四三工業專……教授原不知雄氏方に同じく裏口より入込み寝室にあつた蟇口を窃取逃亡した

淺蜊採りで夫婦喧嘩
支人毒を嚥む

市外西山會臺山屯南沙河口六八大連機械株式會社仕上工王會滿(三〇)は廿七日朝妻王氏と共に星ケ浦海岸に淺蜊漁りに行き歸途夫婦喧嘩を始めたが口惜し紛れに同日午後八時頃自宅に於いて黄燐を嚥下し自殺を圖り苦悶して居る處を家人に發見され玉陽街天心病院に擔ぎ込まれた生命に異状なし

ブ中尉横斷機出發に失敗
滑走中機體ぐらつき兩翼を破壞

……を地中に突込み右翼はすつ……されて了つたが中尉は無……つた、椿事の原因は離陸を……らしむる爲め新たに取付け……機尾の車輪の爲めらしい

出發困難

【……二十九日發電】落石無電受……ればブロムレー中尉は二十……明(日本時間午後九時)前……發出來ぬ模樣である

年増女が狂ひ廻る
内地へ送還

原籍鹿兒島縣肝屬郡高山村字波見無職倉矢シズ(三〇)は同縣飽託郡飽託温泉場で大連磐城町三六無職永田茂一(四七)の甘言に乘り今春四月ころ無料で飛び出し來連したが永田は常盤町鹿兒島旅館につれ込み同夜無理無體に同女を傷付けその後も日本館、鹿兒島館、末廣館、伏見館、薩摩温泉、リリーカフエー等轉々場所を換へて情交を迫つてゐた事實を妻ユキ(二八)が感付いて美濃町派出所に訴出られ淺井巡査の裁きで手切金として、金五十圓をシズに交附し茂一と手を切つた如く見へたが

物々しいお別れから感傷的な柳樹屯行
彌生高女生の聚落

【上】
潮の香がツンとして波が舳で笑つてゐる……例へば漁りたての小魚の樣な溌剌さ、提灯行列の樣な業々しさで彌生高女の柳樹屯聚落一行の出發、通船快進丸の出帆が十分遅れた理由は、この一行のトランク、スーツケース、バスケツトの積込が大掛りであつたからで、そのくせ、それ等の中には千代紙細工の人形が大切に寝かされたり、赤いホホヅキがかくされたりしてゐるに違ひないほど女學生らしい無邪氣で明るい出發だ、チ切れる樣にハンカチがふられて世界一周にでも行く樣な物々しい「お別れ」の一場面がロシヤ町海岸で片附けられしばらくするともう旅愁に襲はれてゐる、一人〱が默つて船首に割られて行く海面を眺めて「淋しいわネ」と云つた風の感傷的な面持でキヤラメルをクチヤ〱させてゐる、その中舳の先に煤烟をホグロの樣に載せた一人が歌を唄ひだしたがそれを切つかけに甲板の上からも船室の中からも、いかめしいキヤプテンの肩越に綺麗な歌が次々にうたはれる、「あらあなた俗歌を歌つて、叱られるわ」「うそよ、俗歌と違ふわ民謡よツ」◇◇
こんなわけで實に愉快な氣分の裡に船が進む、いつか海猫巾を渦り、柳樹屯の港に入る、柳樹屯はまるで日本海岸の船着場と云つた感じで、まことに睦しまれる土地だ
「あれがアンテナであれが軍隊輸送用のライター、一隻に五百噸のものがつめる、そしてあちらの赤い煉瓦建が柳樹屯小學校で皆さんの今日から十日間の起き臥しはそこの講堂で行はれるものである、皆んな忘れ物のない樣に上陸しなさい」
鎌田書記に導かれ長い棧橋を渡つて海岸線に沿ひ弧に書かれた白い道路を宿舍に向ふ何でも珍しい一行は「アラ日本人が居るわ」妙な事まで不思議がる明るい瞳つた柳樹屯小學校に入り松井同校々長の案内で附近の散歩等は殊に陸軍官舍へ……女學生は一同講堂に落ちつく、五分も經たないうちに着物に着換へてサバ〱した氣持で「先生準備が出したいんですがボストは何處ですか?」澄出校長と講堂を覗きに行つて見ると、矢張女の子は女の子だ、茶碗から箸までキチンと揃へてお菓子の罐まで飾り立てゝある「〇〇さんこれは何ですかね?」「いやな先生ホラこれよ」目の前に突き出したのは海水浴用の眞赤なゴム靴……校庭にはアンペラ掛けの炊事場が作られてゐる、カマドまでがこしらへられて「衣食住」ちつとも心配がない事になつた……さては彼女等の一日の生活は?モツトーは「規律ある自由」三、四、五年生が炊事係で一、二年生は上級生が却て邪魔になりますから掃除の方にして下さい」との抗議で清潔係を任命【寫眞は女學生の炊事】

眞劍な立會
人氣を呼ぶ大相撲二日目

大相撲二日目は朝來薄曇りに風があつて凉しい上に初日の人氣に景氣だち殊に昨日は市中挨拶廻りの爲め朝の稽古場に姿を見せなかつた幕内花形力士連も顔を揃へ熱心に稽古してゐたので、午前の稽古場から賑はつたが、幕下力士は何れも本社優勝旗を目標に稽古場で互ひにその事で話を持ち切り人氣の中心となつてゐる【寫眞は武ノ里】
◇…世の風潮につれ力士の頭腦も尖鋭化し、總體に手捌きが末梢神經的になつたのは兎も角として、地方巡業の勝敗も本場所の番付に影響するので、各力士の立合ひが眞劍になつたのは頗る好角家を喜ばしてゐる。
◇…今時初つ切りの所謂道外れ相撲でもあるまいに、而も毎日幕内力士玉錦と常陸島の初つ切りをお好みで取らしてゐるが、眞の好角家に取つては氣の毒な感じを起さしむる、但し兩力士の初切ぶりは往年の片福面、白の峰に勝るとも劣らぬ面白さはある
◇…天龍、武藏山、和歌島など新進花形力士の活躍は非常の人氣だが、一方四本柱に控へた檢査役に當年の大力士名力士の栃木山、兩國、宇都宮などの顔を見るのは、古い好角家に云ひしれぬ懷かしさを感ぜしむるであらう
◇…毎日十六組三十二名の幕下有望力士を選抜し、公平に抽籤で敵手を組合はせての本社優勝旗爭奪個人決勝戰は、各力士が元氣一杯に力闘する相撲振りの痛快さ以外に、彼等の將來を一般好角家に豫望せしむる品定め方法として、非常の興味を以て迎へられてゐる。
◇…現に初日の五勝一等の榮冠をかち得た武ノ里など、その出足早い俊敏な取口と云ひ、近代力士型の體軀と云ひ、確かに將來の進境を期待させる有望力士だ
◇…五日間眞劍な激戰を戰ひ通して最後の決戰に榮ある優勝旗を獲得する者は果して誰か?

注文取りを裝ひ盜む
追跡逮捕さる

山東生れ市内西崗子福德街無職王福興(三三)は二十七日午後六時三十分沙河口大正通市場前長門屋に注文取りの如く裝ひ主人の隙をみて机上にあつた小金庫の中から三十六圓を掴み取り逃走せるを家人に發見され折から警邏中の沙河口署員に逮捕された
尚犯人は同一手段を以て市中各所の店から烟草其他店先の品物を盜んでゐた常習犯なりと

佐田選手の日本新記録

【京都二十九日發電】全日本水上選手權大會京都地方豫選第二日明大佐田選手は四百米突自由型で四分五十八秒六の日本記録を作つた

拓大視察團けふ來連

拓殖大學滿鮮北支那視察團一行は小林教授に引率せられ滿鐵沿線及びハルビン方面を視察の後廿九日十二時半大連驛に到着同窓生多數に迎へられ其案内で市内各方面を見學同夜は泰華樓に於ける學友會支部の歡迎會に臨み翌三十日は旅順見學、三十一日再び大連を見學八月一日の船で北平天津視察に向ふ豫定【寫眞は大連驛に到着せる一行】

……去る二十五日兩名手を取つて旅順に趨き一泊し二十七日夜歸連した處を再びユキが發見警察へ持ち出したので二十八日夜シズを本署に引致保護の上近く内地へ送還する事にした

白晝四平街に辻强盜現はる
通行人から一千元强奪し
追跡の巡査が逮捕

昨二十九日午後二時頃四平街日新街路に二名の支人强盜現れ一通行人より大洋一千元を奪つて逃走したが、急報により追跡した巡査の勇敢な働きの結果、遂に一名を取りおさへ一千元を被害者に返した此の報を得た關東廳に於ては藤岡警務局長より勇敢敏速を賞するむね打電した

Z伯號の試驗飛行良好

【フリードリツヒスハーフエン二十八日發】ツエ伯號は本日午前五時四十二分試驗飛行を開始し午後七時無事歸還した、モーターの成績極めて良好でツエ伯號が八月一、二日にアメリカに向け大西洋横斷往(復)飛行なすは確實と見られてゐる

洋食店組合組織を請願

無鑑札女給で一悶着を起してゐた大山飲食店組合の洋食部に屬する日本橋食堂の桑島豐彦、青山カフエーの青山正雄、黒猫カフエーの上野進三氏は二十九日午前十一時大連署保安係に原田主任を訪問し洋食部のみの獨立した新組合組織を許可して貰ひたいと願ひ出たが原田保安主任から
現在飲食店組合と云ふ立派な組合があるのだからその中より分離して新らしく組合を造る必要は認めない警察では嚴重取締つてゐる心算であるから内輪に問題があつたから洋食部として改善に努めたらよからう
と懇々と諭されて引下つた

猿廻しに攫はる
支那人の子供

大連入船町一〇修理業遲金完の二男香(七)は二十七日午後一時ごろ實母が食事準備中單獨で遊びに外出しその儘歸らぬので人手を借り八方搜査中、當日乃木町附近に於て香に似た小供を猿廻しが連れて行つたと云ふ噂あるので或ひは右猿廻しに誘拐されたのではないかと二十九日大連署へ捜査かた願つて來た

運轉手試驗で不正行爲發見

關東廳では二十九日午前八時から大連、水上、小崗子、沙河口各署に於て自動車運轉手試驗を施行したが受驗者二百三十八名、その中大連署の受驗者は九十二名で試驗中本日も支那人受驗者のカンニング事件が發見された
即ち敷島町七七王効周は受驗答案が滿足にかけぬ處から同人前に齊席してゐた加賀町二六呂慶桂に答案を書いて貰つて提出し……不正事件に連坐するものゝ如く二……

夏期大學開講

滿鐵社會課では生物學の權威理學博士駒井卓氏及び支那學の大學文學博士矢野仁一氏を招き七月三十日から八月三日迄協和會館で夏期大學を開催すると尚演題時間等は左の如し
▲遺傳と進化 駒井講師自七月三十日至八月三日午後三時半より
▲滿洲の外交的意義 矢野講師自七月三十日至八月三日午後七時半より

……たもので立會の藤原巡査に發見されたものである

新活字を採用
八月一日よりの本紙

本紙は常に使用活字の新規補充を行ひ以て印刷の鮮明を期して來たが、現在の七ポイント七五の活字は些か衛生に屬するを以て斷然全部の改鑄を行ひ七ポイント半の新活字と入替ふべく既に二ケ月に亘り準備を進めたる結果、いよく八月一日の紙面より之を使用することゝなつた。此結果假名付記事面に於て一段につき一行、廣告面行數に於て一段につき三行を増すことゝなる。言ふまでもなく新活字採用後の本紙は一層鮮明なる印刷を以て我愛讀者に見ゆべく、之れ我社が常に變らざる讀者奉仕の一端である

昭和四年七月
滿洲日報社

精勤證授與

沙河口署に於ては三十日午前九時より勤勉事務に優秀なる者に精勤證書ノ授與するが今回は巡査のみで授賞者は左記八名である
田中一夫▲佐藤良吉▲早坂善貞▲金長盛▲西繁雄▲塗木益見、▲岡谷益光▲小滅金次

滿倶軍の動靜

目下東京遠征中の中澤滿洲倶樂部監督は嚴父危篤の報に接し急遽歸連の途に就いた、尚かねて氣遣はれてゐた茶田選手は二十九日出帆のあめりか丸にて無事出發をした

今井囑託召喚さる
水産會事件で

關東廳殖産課囑託今井氏は水産會不正事件に連坐するものゝ如く二十九日大連地方法院より召喚状を發せられ三十日大連へ出頭を命ぜられた

米野氏送別會

前本社編輯局長米野豐實氏、同總務部白井龜雄氏及同整理部長總……用葉造氏は何れも不日離連に就き在連操觚界で三氏の爲め三十日午後六時半よりヤマトホテルに於て送別會を催す筈

電話線窃取

二十八日午後二時頃より四時四十分頃までの間に於て李石寨、撫順間の指令電話線二百米を窃取事件あり犯人嚴探中

…・…山葉洋行の祝宴 山葉洋行は昨年五月米國製ビクター蓄音器レコードの代理販賣開始以來一周年に相當しこの間の販賣高は非常なる好成績を收めたので去る二十七日午後二時から星ケ浦星乃家で全滿洲に於ける同蓄音器販賣店主及び其他を招待して之れが祝賀の宴を盛大に開催した

◇…卅一日は土用の丑 昨今の鰻の相場は百匁五十錢から一圓二十錢
◇…甲子園の全國中等學校野球大會を昭和キネマでトーキーに撮影する
◇…廿七日午後五時半頃奉天南市場飲食店張有樹使用人蔣某(二七)は氷雪行商人彌生町十河村きよ(假名)が千代田通七番地先にて行商中きよの乳房を握りしめた處きよはてつきりすりだと見て大喧嘩を始めたが丁度そこを通り掛つた彌生町十大平某が仲裁に入り蔣が逃げんとするを足にて引掛けて轉倒せしめ頭部を强か打ちつけて人事不省に陷つたので大騷ぎを演じた【奉天】
◇…去る廿四日まで咸興南道地方を襲つた豪雨被害は各所に山崩れを生じた爲め壓死九名、溺死五名、行方不明四名、合計十八名、外に牛二頭馬一頭の壓死を出した旨總督府警務局宛報告があつた【京城】

（第三種郵便物認可）

滿洲日報
ジレンマに立つ東北政權

南京發電によれば、支那の南京政府は東支鐵道問題を中心とする露支事件に對しアメリカの調停に應ずる事になつたと云ふが、親米主義の現在の南京政府として、蓋し有り得べきことゝおへられる。若しいよく〳〵此の事件にアメリカが乘出すことになれば、滿蒙問題に同國の發言權を深める結果となるから、我國としては之れに深甚の考慮を拂はねばならないが、更に考慮を要する點は、之がために東北四省に對する南京政府の勢力がいやが上にも增大し、東北政權の實力が大いに弱められるであらうと云ふ事である。

◇

此際は東北政權の首腦者も氣付いて居るらしく、東北政權とロシア當局との直接交渉によつて問題を解決すべしとの情報が一方に傳へられるのは、露支事件に第三國の容喙を欲せぬと云ふよりも、之れに伴ふ南京政府そその與黨の勢力侵入を恐れてある爲めではあるまい乎。吾等は東北政權首腦者のこの心事を諒とするものである。併しながら斯やうな結果を餘儀なくされるものは、表面的にもせよ、東北政權が南京政府に合流して外交權までも奪はれたものだからで、つまりは自業自得といふべきものであらう。此の危機を脫出する唯一無二の手段としては、アメリカの居中調停の手が伸びて來ない前、東北政權よりロシア當局に和平解決の誠意を披瀝し、一刻も速かに直接交渉の端を啓く事である。

◇

アメリカ國務卿ステムソン氏の意見なりと云ふによれば、合衆國政府はロシアに同情を有つて居り、支那が暴力を以て盜んだ品物をロシアに返却するのが術國妥協の先決問題である、といふ事になる。南京政府が東支鐵道を事件發生前の狀態に復歸するを條件として合衆國政府の調停に應ずると云ふ報道があるのは、支那がこのアメリカ合衆國政府當路の意嚮を知つたからであらうと思ふが、斯うしたアメリカから言つても、露支事件に對する東北政權の立場は苦しくなるに相違ない。この苦しい立場から免れやうと思ふならば、幾何か面子を汚がす事にならうとも、東北政權はロシア當局に直接交渉の誠意ある旨を告げ、東支鐵道を一先づ原形に復する決心を以て、一刻も速かに和平解決の緖口を切り、東北政權の實力をますく〳〵弱めるやうな事態を生ぜしめぬ用心が肝要であらうと思ふ。

◇

東北政權が外交權を南京政府に移讓したのは、對日外交の煩累を避ける爲めの一方便であつたと云つても、敢て過言ではあるまい。その結果、東支鐵道問題についても一々南京政府の指揮を仰ぐやうになり、東支鐵道に對するクーデター的暴力行爲も、南京政府の命令に基づいて爲した事であると吹聽したのであらうが、忌憚なく云へば、東北政權の斯くの如き不透明なる行爲は、自ら墓穴を掘るに等しい暴擧である。假に暴擧でないとしても、南京政府によつて東北政權の首腦たる者、若し翻然として悟るところあらば、暗黑より光明に轉ずる事が出きるだらう。

東支鐵道問題を中心とする露支事件にアメリカの手が加はる事になれば、否でも應でも、盜んだ品物の東支鐵道をロシアに返還せねばならぬ事になり、いかに赤化防止を唱へても、他の共鳴を贏ち得ず、東北政權の面目は丸潰れとなるであらう。

◇

以上は吾等の惧るところを率直に述べたのであるが、此のジレンマを東北政權がいかに乘切るかは、此種の問題にも無關心なる能はざる我國の常に注意すべき事である。若しそれ東支鐵道問題を中心とする露支事件のために滿蒙の國際關係が一層デリケートになる事もあらば、滿蒙に特殊の利害關係を有する我國として、別に考慮を要することと勿論であり、或は機宜の措置を執らねばならぬ結果となるかも知れない。東北政權の首腦たる者、若し翻然として悟るところあらば、暗黑より光明に轉ずる事が出きるだらう。

記正　廿八日附の「海外への積極的進取政策」中六行目「なる事業までも」は「なる事業までも」の誤まり廿一行目「資源の貧弱なる日本國民だけ」は「……日本國だけ」の誤まり

浦鹽の共產黨大會に滿洲各地より出席
工人を充分に取締れ
東北邊防總司令官公署から訓令

【吉林】吉林省政府は最近東北邊防總司令官公署より左の如き訓令に接した

第三國際共產黨主催の下に全亞細亞洲勞働代表大會を八月一日より浦鹽に於て開催する豫定にて東北省內の各共產黨支部宛參會方通告して居るが

其最要

の目的は日支鮮勞働者の團結を謀り階級鬪爭を挑撥して世界革命を推進せんとするに在り、先づ滿蒙農工の「組黨運動」及「工農組合運動」に全力を傾注すべく其所謂「組黨運動」とは赤色恐怖主義の共產黨を組織し「工農組合運動」は即ち「ソウエート」を單位とする工會農會の組織是れなり、而して今回の大會は地勢の險要、人口の基數に按じて選派せしむる規定にして今第三國際共產黨に於て內定せる東三省の代表は遼寧省城五名、吉林三名、黑龍江三名、旅順、大連五名の外安東、營口等各重要地よりも均しく代表を選派することゝなつて居る尙亞細亞洲各國民族の下層階級は一律に代表を選派するの資格を有する、但し諸代表は悉く共黨各地黨部に於て

選定し

たものに限る、故に本代表大會は亞一亞洲勞働代表大會と稱するも其實亞洲共產黨代表大會であるから各軍、政兩公署は所屬文武長官に分電して職軍防範に努め殊に產業及び生產各機關に對しては殊に愼重に內偵し若し請假半月以上に及ぶ工人にして浦鹽方面に赴きたる形跡あるものは直ちに逮捕懲辦し以て東北省に於ける共產黨の禍根を絕滅することに努力せよ

吉林省政府は右訓令に基き直に管內の警務各機關に通令したと

引き揚げた勞農側要人
エムシヤノフ莫斯科に歸着

【哈爾賓】二十五日午後六時三十五分發列車で莫斯科へ引あげた當地勞農側要人はメリニコフ、チルキン兩氏の外イズマイロフ東支理事、同監事ワチユーラ及び理事會秘書カホフスキーの諸氏があつた由現在まで引揚を了した在支勞農領事館は北平、天津、張家口、奉天、哈爾賓、齊々哈爾、ボクラニーチナヤ、滿洲里の各地である

【哈爾賓】莫斯科よりの消息によるとさきに支那官憲から國外退去を要求された前東支管理局長エムシヤノフ氏及び同副管理局長エイスモンド氏は二十一日交通委員會代表商業機關及び職業組合代表等多數に出迎へられ無事同地へ歸着したと

哈爾賓の勞農總領事館
獨逸領事監督の下に殘務整理

【哈爾賓】二十五日メリニコフ勞農總領事の本國引き揚げと同時に勞農旗が引き下された當地新市街吉林街の總領事館內にはたゞ僅かに五名の下級館員が留守居し獨逸領事ストツペ氏監督の下に殘務を整理しつゝあると

白系露人の暗殺團
赤派を狙ふ

【哈爾賓】當地の白系露人は多年仇敵視してゐた勞農系露人が支那側の彈壓を受け一擧にしてその勢力を殺へされたのを見て狂喜しているが、傳へらるゝところによれば彼等のうち元軍籍にあつたもの等は既に時局前から密かに共產黨員暗殺團を組織し主なる共產黨員のリストを作つてその機をうかがつてゐたとの噂があり、更に來る八月一日の國際赤色デーに東支鐵道露國側從業員が若し傳へらるゝが如く總罷業を決行すれば直に罷業從事員の暗殺を開始する計畫があると

一行三十六名無事自國領に入る
邦人旅客も國境通過

【哈爾賓】當地支那側との最後的交渉の結果を持つたまゝ二十五日午後六時三十五分發列車で莫斯科へ向け哈爾賓驛頭を去つたメリニコフ當地勞農總領事は二十六日午後七時二十五分滿洲里着同九時二十五分同地發無事蘇聯領土內の人となつた、滿洲里ではスミルノフ同地勞農領事及び後貝加爾鐵道代表等八名も加はり一行は三十六名となつた、尙同列車に乘り込んでゐた歐洲行の邦人旅客十二名も同じく無事國境を通過したと、又右列車はそのまゝ齊多まで運轉し同地に立往生中の歐亞連絡旅客及莫斯科から引揚げの途にある支那代表等を收容して引返すことになつてゐる

蔡交涉員赴奉

【哈爾賓】蔡交涉員は二十五日メリニコフ勞農總領事の出發を見送り即夜二十二時四十分發列車で赴奉したが、右はメ氏出發前後の事情を張學良氏に詳細報告のためであると

クズネツオフ氏

【哈爾賓】東支鐵道建設の偉勳者の一人であるペイ、クズネツオフ氏は廿四日晩心臟痲痺にて自宅で長逝した享年五十六、氏は東鐵建設當時有名なユーゴーウイツチ技師とゝもに來哈鐵道の敷設に努力したものでその後一九二四年まで東鐵本社理事の職にあつた

檢擧共產黨員の不安と憤慨
要人等に取り殘されて

【哈爾賓】さきに勞農總領事館から檢擧された共產黨員三十九名はいま尙支那高等法院で取調中であるが、メリニコフ總領事及びチルキン東支副理事長などの當地勞農要人か全部引揚げて終つたので自分等の前途につき尠からず焦慮しているが、中にはメ氏等が彼等を取り殘したことに憤慨し今まで隱匿してゐた秘密全部を支那官憲に暴露すべしと敦圍ひてゐるものもあると

我官憲の面目上徹底解決を圖る
尾崎署長の決意固し
沖巡查不法拘禁事件

【安義】二十五日夕刻日支境界に於ける支那官憲の沖巡查不法拘禁事件に關しては、武裝を整へての安東署全員の嚴談により同夜十一時過ぎ飽公安局長代理美督長は沖巡查を安東署に送り屆け

遺憾の意を表するに至

つたが、尾崎署長は
一、支那側は本事件に關係ある巡警及民衆等犯人を嚴重處罰すること
一、支那側は今回の暴行事件に關し誠意ある陳謝をなすこと
の條件を附して一先づ引取りの懲談を受諾したものである、而して支那側としては實際の狀況を更に實地檢證したる上何分の方法を講ずべきを約し本事件解決に努むべしといつてゐるが、兎に角老獪なる支那側の事であるから果して衷心より素直に謝罪し來るが如きは疑問の存する所であり、現に二十六日中には

何等の回答に接するを

得なかつたから種々條柄を設けて有耶無耶に葬らんとする魂膽ではないかと觀られてゐる、右に關し尾崎署長は語る
支那側今回の暴狀は眞に日本官憲の威信面目に關すること甚大なるものがあり、日本の面目に對して如何に善處せんとするや誠意ある回答を要求してゐるのです、萬一支那側として種々條

海拉爾にて共產黨員逮捕

【哈爾賓】二十五日晩海拉爾から九名の共產黨員が支那官憲のため護送されて來たが、右は何れも東鐵從業員で同地で罷業を計畫中逮捕されたものであると

職業同盟本部の嚴命

【哈爾賓】莫斯科の職業同盟本部は當地に殘留してゐる東支勞農從業員に

外蒙官憲の反支的行動
時局紛糾に乘じて

【哈爾賓】從來から支那側に對し極度の反感を抱いてゐる外蒙官憲は露支の時局紛糾に乘じ種々反支的行動に出てゐるが、二十一日支那人の經營にかゝる張家口、庫倫間の乘合自動車約八十臺を稅金未納の口實の下に押へ、且つ同地方から支那側への通信を嚴重に檢閱し事の外部に洩れるのを阻止してゐると

露支問題は和平解決か
スキデルスキー氏語る

【吉林】露支合辦穆稜煤礦公司の露人側代表スキデルスキー氏は事業上に關し吉林省政府農鑛廳と折衝の爲めと稱し吉林に來り目下名古屋旅館に滯在中であるが、今回の露支時局に關し同氏の所見を叩けば
支那側が武力的に東支鐵道を回收したことは甚だ不當である、さりとて勞農側は武力の點では支那より數等優越して居るとは言へ現下の如く財政經濟が窮迫して居り又極東に於ける食糧缺乏すら救濟し得ず人民が食ふや食はずでは戰爭を厭ふことは當然である、一方支那側にしても武力に何等自信なくして今回の擧動に出たことは甚だ輕率であつた恐らく戰爭にはなるまい、其中何とか和平手段で解決するであらうと確信する

內地遠征便り（一）
滿洲教專陸上部主將　柏木寶丸

京都からの第一信（一）

◇七月一日　激專軍の頭領鐵である、滿洲投擲界のピカ一であつた川野君は、不幸病魔に襲はれて病床に呻吟する身になつた、選手及應援團の失望落膽は非常なもので秋に延期しやう川野の恢復を待たう、とは同窓及び學校側が異口同音に唱へた結論であつた。それが監督に選手の闘志にも延期說と決行說との二派を生じて面白くない空氣の流れさへ生じた。時に岡部先生からの電報が來た「上京せよ勝敗に關せず」と、そこで乘り出した船だ、張り切つた帆だ、川野の居ない位は一同の意氣でとりかへさう。

◇同五日　から約一週間星ケ浦の溫泉ホテルで最後の練習合宿をやつた。其の間選手のコーチに盡力下さつた伴田兄、岡兄、鶴田兄、南部兄、濱田兄、永谷兄になつた。夕食も食へない、寢れもしない一夜が明けた。海は益々荒れてゐる、皆臥つた。誰れも起きて來る。

◇同十一日　ウラル丸にて大連出帆、平常子供の樣に可愛がつて下さる保々地方部長、埠頭の階上に闘爭後の忙しい身體を運んで下さつた齋藤先生、及滿鐵の選手先輩諸兄の姿がうすれ行く時私達は大海原に向つて誓つたのだ、どんな困難があらうとも必ず勝つと船は搖れた。前後に大うねりを打つて、陸上の猛者共も、大連出帆一時間後には顏面蒼白になつて身動きも出來なくなつた「汽車にすれば良かつた」と誰れが言ひ出すともなくこんな嘆さへ聞く樣になつた。

◇同十三日　午後二時下關着、先年の陸上部主將田邊君と內西君が向へてくれた「おい二日分の食事をやらうぜ」と一同大喜びで上陸、海から解放された元氣で下關から門司まで一廻りした、五時出帆、神戶に向ふ。風光明媚な瀨戶內海の若綠、綠風、綠水が、荒涼滿洲の沙漠に見馴れた心を變化させ和げてくれる。

滿日地方版

奉天

新舊交換機の切換見事に終る 二十八日の午前一時 自働電話が開通

[illegible]…るや櫻井遞信局長の命令に舊局の交換器は僅一分間でれ直に新局交換器に接續されたのである、その機敏なることに如く驚かされたがこの接續か終らぬ間に交換器は盛にゐる、云ふまでもなく加入で待ち構へてゐて使用されたのである、かくして新舊交換器接續が見事に終り來賓一同の試驗電話器を使用して試を試みる、一時半開通の祝移り野原局長、櫻井遞信局長、谷會頭等はこの自働式電話現するまでの苦心努力を陳且つ開通の喜びを共にして芽出度く散會した

住宅地の餘地がない 心細くなつた附屬地

[illegible]…收地は埋立が終つても地盤弱であるから一、二年間は建築は出來ぬ、そこでどうしても前記の場所を早く解決しなければならぬのであるが、その解決が暇取るやうであれば南五條通以南の商業地域のを商住混合地域に當ることもあらうがそれは最後の手段によるものである、元來從來の附屬地は商業地區が餘り廣すぎて住宅地が狹隘なるためかやうな狀態に陷つたわけであるが、商業地域内の住宅その他修築すれば現在の收容力の二倍は收容し得られる事と思つてゐる、愈行詰れば自然之に變るやうにならう

スポンヂ野球大會 第一日の成績

第七回全奉天スポンヂ野球大會の第一日は廿八日午前九時から醫大グラウンド並に舊グラウンドに於て擧行された、が第一回戰では用度對鐵事で六對二で鐵事勝ち、オフセツト驛友は十五A對四でオフセツト勝ち、北斗對SMは四A對一でSM勝ち、電友對城靑は十二A對八で電友勝ち、電友對赤十字は七對三で電友勝ち、鮮銀對オフセツトは一對零でオフセツトが勝つた

全奉スポンヂ野球大會

全奉天スポンヂ野球大會は廿八日から醫大グラウンドに於て開催されることになつたので廿六日午後七時から野田運動具店に於て主將會議を開いた

二人組強盜 白晝押入る 失敗して逃走

市内平安通七片桐寅八郎經營の十間房兩替店心平銀號方に廿七日午後一時といふ白晝拳銃を所持せる二人組の強盜押入り脅迫の上金品を强要したが家人に騒ぎ立てられ一物も得ず逃走した、目下犯人嚴探中である

惡樓主 戒めらる

柳町いろは樓抱藝妓桃葉は豫て持疾で滿鐵病院に入院治療中、花柳病を併發したのでサルバルサンの注射を行つた、しかし花柳病の治療費五十五圓は樓主側でその半額を支拂ふことになつてゐるにも拘らず桃葉が入院中その治療を施した事は一向知らなかつたといふ理由で之を拒絕したことから、身を苦界に沈めてゐる抱妓に少からぬ不正の負擔をさせてゐる惡樓主ある事が判り直に樓主について取調べの結果その事實が明白となり、且つ抱妓に全部の負擔をさせた事もあつたので奉天署では斷然たる處置をとりその不心得を懇々說諭の上該金を支拂はしめることゝした、猶今後その他の樓主にも注意を與へるため柳町料理店主が二十六日午後餘興打合せるの爲に會合するを機會に同席を借りて一場の訓辭をなした

動物園行脚

臆病もの、性質に似合はない狡猾なものとして昔から知られてゐるのがフオツクス(狐)君

◇

イソツプ物語や、いろ〳〵の傳說に常に其の話題に上つて人間をだますものと信ぜられ寃罪を受けてゐるが、狐に言はすれば人間の方が餘程人間をダマシ合ふと冷笑してゐるだらう

◇

金毛九尾となつて蘇妻を誑がした楊貴妃の化身もこの者等の祖先中の一族であつたのだらう

◇

神經性は微塵もない、人間生活に一番接近してゐるせいか、妖怪變化の代表者になつてゐるが人間をだます技量は決してもつてをらないのである、たゞ歷史的に信じられてゐる不幸者である

◇

狐の毛皮だけはどうしたものか人から好かれる、一日の食料は肉が四百目平均で、ソロリ、ソロリ穴の中から這ひ出て來る臆病者

◇

如何に神變不思議の靈術をもつてゐても檻のうちに入れられこの暑さでは少々弱つてゐることだらう

◇

產は旅順管内で方家屯部落から大正十三年百圓で身賣して來た可愛い狐である

小學教員を強盜襲ふ 傷けて强奪

去る廿日午後三時頃本溪湖牛心臺驛を距る約二里餘の中歳子大嶺に強盜現はれ通行中の小學校教員王某に拳銃を發射し左股部に貫通銃創を負はせ、現大洋四十元及び衣類等を強奪し北方山林中に逃走した、被害者は廿三日奉天滿鐵病院に入院せしめ目下手當中である

苦力の殉職

山東省生れ國際運輸奉天支店の貨物積卸苦力李希(二七)は廿八日午前十時頃奉天驛構内貨物六番線で積卸作業中貨車と貨車との間に挾まれ胸部を挫折して即死した、奉天署では直に檢視を行ひ死體は會社側に引渡した

十五萬を突破す 二十八日の通話數

開通後の自働式電話成績は良好で當局は勿論加入者も滿足し謝意を表してゐる、何分開通當初のことで加入者側の通話回數は交換器のヒコーズは飛びレコード板には記錄されぬ程多數に上り、昨年時局の際一日十萬通話が最大多數であつたが廿八日は一日十五萬通話を突破した有樣で、內地における自働電話開通直後と云つてもかやうな例はなかつたといふ程である、猶奉天局では廿八日舊電話線を切斷し廿九日この電話器の取外しに掛つた

家出夫婦捕まる

原籍福岡縣安東四番通三丁目商職木下政雄(二三)はその妻絹江(二一)を廿五日無斷家出し、大連に赴く途中蘇家屯驛に於て取押へられ奉天につれかへされその不心得を說諭されたうへ安東まで送られたが、家出の原因は義兄と意見衝突し家庭の風波絶える暇がなかつた結果によるもので内には妻の母きみ(五〇)が置去りにしてあつたと

故森山氏追悼會

廿六日故前滿日社長森山守次氏の初七日忌當日奉天では原口聞一氏その他在奉知人有志主催で午後四時から蓮華寺で嚴肅な追弔法會を營んだ

人事

▲川邊奉天鐵道事務所工務長 廿八日大連より歸奉
▲森岡正平氏(奉天領事) 奉天に在勤を命ぜられた同氏は來月十日頃着任の筈
▲櫻井遞信局長 廿八日夜歸旅
▲佐原盛京時報社長 廿八日安奉線急行にて東上
▲畑中將(新任關東軍司令官) 新任挨拶のため八月三日來奉の筈
▲マツクスリンデフル氏(獨逸極東課長) 廿八日安奉線急行にて來奉

安東

南行託送手荷物 特別檢査を開始 八月一日から稅關で

安東驛稅關支所では今般檢閱に依る列車の遲發防止及び旅客の利便をはかる爲め南行託送手荷物の特別檢閱扱ひを初めることゝし、來る八月一日からは從來の發車時刻前の檢査の外に毎日十四時から十六時までの二時間を特に特別稅關檢査時刻として檢査する筈であるが、通關に際しては左記諸件には特に注意されたしと

一、阿片、モヒ其他禁制品を絕對に託送手荷物中に入れぬこと
二、煙草を入れておくと假令五十本入れても乘車劵に印をつけるか乘る時殘餘の五十本を持ち込み手荷物として乘り度いと云つても許されないから煙草は絕對に入れぬ樣にすること
三、絹紬その他有稅品は所定の稅金の支拂を要すること

尙右特別檢査開始後は發車十五分前以後のものは次の列車に廻してもよいことになつてゐるから出來るだけ早く持ち込まれたいと

旅順スケッチ (六) 河野青陶
ロシヤ墓地

アカシヤの四角い森の一部屋に勇ましき露兵の永久のベツドが並んでゐる、墓地の中程に四メートルもある大理石の記念塔が聳えクリストのモザイツク(埋石繪畫)が金、藍、朱色で塔の下半身を飾つてゐる、墓標は花崗岩、コンクリート、大理石、金屬製等で型は多種多樣あり、墓體が大きい丈け露人の墓も亦大型である。

青年同盟結社事件の公判

新義州靑年同盟結社事件の安秉珍外五名の治安維持法違反に係る公判は二十七日午後零時四十分から新義州地方法院第一號公判廷に於て本多裁判長、文一、杉兩陪席本島檢事立會、李卓、崔三辯護士出廷の下に開廷されたが、當地發生の事件のことゝて鮮省學生を始め親戚知己等の傍聽人溢るゝばかり殊に婦人の傍聽が多數なりしは人目を惹いた、先づ證人金寧根、姜得麟、裴俊金、景瑞諸氏の順序で行はれた、證人中裴道俊氏(高等係、思想係)及創立大會に於ける議長金景瑞氏については裁判長は詳細なる訊問を行ひ、署長に提出した大會報告書を取寄せることゝなり二時閉廷した、次回公判は八月七日であると

市場通の火事

二十六日午前二時の眞夜中に安東縣市場通九丁目藥種商松村秀馬(三〇)方階下表六疊の間より出火同家及び隣家四棟を燒失し同三時漸く鎭火したが、原因は前記秀馬が前夜十一時頃まで階下で飲酒した際長火鉢の炭火不始末の結果であるが聞く處に依れば秀馬はその後一時頃小用に起きて右の出を知つたので消しは消したが醉ひのため充分に消し止めずたゞ掃き消したまゝで就寝したので遂に前記の始末に及んだものであるが、損害二千圓秀馬は目下安東署司法係で失火被疑者として取調べ中

溺死々體發見

白馬水泳場に於て二十三日水泳中溺死したる新義州驛員仁和秀吉氏の死體は二十六日朝水泳現場に於て漸く發見された

平北奥地の出水 被害が少くない模樣

平北奥地の降雨旺にて各地出水其の被害少からぬ模樣にて、二十七日午前迄に道廳に達した報告に依れば左の如くである

義州——二十四日のの降雨の爲め雨量一〇四ミリを示し九龍浦に於ける鴨綠江の水位は刻々增水二十七日午前零時には七五五メートルに達し義州——淸城鎭の道路は流失、浸水の箇戸多く二十三日以來交通は杜絕した

寧邊——二十三日から二十五日迄の降雨量一四九、四ミリで九龍江、淸川江何れも增水二十三日以來价川より奥地行き交通杜絕

昌城——二十六日午後四時[illegible]鴨綠江岸量水標水位は八、〇九メートルに達し私倉里附近及び碧潼邑内入口碧潼橋上に約七尺の冠水し忠滿江にも增水し昌城、楚山間も亦二十三日以來交通杜絕するに至つた

其の他江界、慈城、厚昌等何れも一三〇ミリ以上の豪雨あり、赤禿江出水の爲め前川、江界間及江界、滿浦鎭間の道路の決潰流失數十箇所に達し、各地への交通全く杜絕極力復舊に努力して居るが相當時日を要する見込である、其の他各地の被害も多き模樣である

ポプラ敗る

滿鐵病院庭球部ではポプラクラブと二十六日午後四時よりポプラコートに於て試合したが、ポプラ軍は看護婦連の應援にすつかり氣を呑まれ十六對十五にて初陣の病院をして名をなさしめた

内田巡査母堂

安東警察署司法係巡査内田民雄氏の母堂は豫て病氣に罹り療養中の處二十五日朝逝去した、葬儀は廿六日午後三時東本願寺に於て執行したが尾崎署長以下多數の參列者があつた

人事

▲中山進氏(地方係公費主任) 沿線各地旅行中の處二十六日歸安
▲稻田農務主任 二十七日夜發歸省約三週間の豫定

鐵嶺

舊氾河鐵橋 應急修理 基礎が崩壊

亂石山得勝臺間の水災被害地舊氾河の氾濫は豫報の如く想像以上の大被害で、今尙鐵嶺保線區員の復舊工事が續けられてゐるが、過日潛水夫をして橋梁の基礎工事を探査したところ地下二米突以上も崩壞してゐる事判明したので、更に大連から三名の潛水夫を雇ひ二十八日から應急修理を施す事になつたが、工事は崩壞の個處にバラス金を詰め橋梁基礎の動搖を防止するものである、舊江河鐵橋は僅かに三四間位のものであるが、詰込みのバラスは貨車四十八車を要すると、これが爲め同所通過の上下列車は一時停車徐行してゐる

朝博に出品 在留鮮人から

九月に開催される朝鮮博覽會に對し鐵嶺鮮人民會からは沙河子及上肥地地方の水田米及び沙河子の鮮農部落水田の實況購買組合内部等の寫眞を出品し、普通學校からは兒童の手藝になるバスケツト柳行李及同校全景手藝の實況等を寫眞にして出品するに決定、二十七日全部の荷造りを終つたので二三日中に發送の筈と

竊盜犯人逮捕

去る二十六日午前三時頃大和町料理店福屋に忍び入り現金六十圓腕時計二個を物取逃走したる犯人あり、屆出によつて警察では犯人搜索中のところ同日午後二時頃支那料理店玉海樓にて犯人を逮捕した犯人は縣下遼海屯生れ無職劉支奇(二〇)及び同吳懷山(一七)で莫大な現金と福屋の被害腕時計を所持し居り直に恐れ入つた、吳と劉とは二十五日當地支那監獄を放免されたもので出獄の其晚の仕事であつた

豊年畫伯個展

目下權太氏方に滯在中の益田豊年畫伯は滯在二ケ月餘の作品を二十九日から二日間滿鐵クラブで毎日午後九時まで展覽してゐるが五品五十餘點得意の花鳥人物が多い、尙希望者には即賣の需めに應ずる外畫帖式紙丹册扇子のうち一種に限り即席揮毫を進呈すると

三業組合役員改選

鐵嶺三業組合では二十六日總會開催役員改選の結果左の如く當選決定した

組合長鐵嶺ホテル、副組合長出良之助、會計評議員あさひ、評議員松花ホテル、日鐵、金波樓、幸樓

●●●●●●●

患者食調理法の栞 日本赤十字社同方會編纂の患者食調理法の栞は患者を持つ家庭の必要品として重寶なものであるが若し購入希望者があれば實費三十錢で分與する由、希望者は赤十字鐵嶺支部に申込まれたしと

撫順

消費組合が飲食部を開かん 品種時間制限の聲明を無視し 開設準備着々進行す
全飲食店の死活問題化せん

撫順に於て目下消費組合が日常必需品を供給する以外西洋料理、日本料理百數種に亘る飲食部を設け將來は漆皮のむけた女給まで置き市内四十六軒の飲食店の營業を壓倒せんとする計畫が着々進行しつゝある爲め、市中側飲食店全部の死活問題たるのみならず勢ひ撫順商店街の繁榮を阻害するものとして問題は重大化せんとしつゝある、當初組合側は社員の便利を計る爲め「そば、うどん」類に品種を協定し時間を制限して市中側に何等打撃を與へぬものとするとの聲明なりしも、最近に至つてその聲明を裏切り大なる背景を利用し各種料理の全般に亘つて純然たる營業的の大仕掛の設備をなし品種、値段をかき連ねたるビラを永安臺方面に洩れなく配布しつゝある爲め二十七日飲食店組合代表加藤、山本、田代氏等は炭礦長、警察署、實業協會長等に本件に就て陳情書を提出傍ら臨時地方委員會を招集し市中側の苦衷を訴へてゐる、右に就き山上實業協會長、その他有識者間の意見を綜合するに次の如くである

識者間の意見

消費組合は現在充分その機能を發揮し、且つ市中側商店とは比較にならぬ位算盤の上でも順調に行つてゐるのであるから、尙この上に飲食部まで新設しさなきだに青息吐息の市中側も疲弊さす要はなからう、元來撫順は他の都市と異なり總ての商店が炭礦側を得意として生活してゐる、奉天の如く外來客にうるほされる事は極めて稀なのであるからこの點も考慮し町側がこの上さびれるやうな事は避けて貰ひ度い、消費組合が今更ら飲食部を新設しなくともその存立の根本問題には觸れないが、飲食店組合にとつては死活問題だから、是等の點も考慮しせめて當初の聲明の如く品種、時間を制限實行し町側に致命傷を與へるやうな事は全撫順の爲回避すべきである

加藤組合長談

尙加藤飲食店組合長は消費組合が飲食部を營業的にやる事に就て警察より催促されて最近出した營業許可願の一項に、消費組合長も了解承知せる」云々の語を公然と書連ねてあるが、自分等は消費組合が西洋、日本各料理の全般に亘り營業する事を承諾した覺えは全然なく、警察當局を瞞着せんため斯る虛構の文書の上に表すは甚だしからん事である

警察側の意見

如何に消費組合と雖も營業許可願認可なき内堂々とビラを撒布し營業行營をなすは警察を無視してゐるものである

奥さん達の意見

一方永安臺社宅の奥さん連の意見をきくに料理が幾分安いとしても傳票で取ると結局金嵩が張る上、お客などの時今迄は不便な所ですからと番茶位ですませる所を目と鼻との間に各種料理が出來ると、勢ひ義理でもとらねばならぬ、消費組合に料理部の出來るもよしあしです」と語つてゐる

醉漢留置場で無茶苦茶暴る

本籍愛媛縣松山市現撫順大丸旅館止宿三好良市(三七)は二十七日午前一時頃宿屋でウヰスキーをしたゝかあほり亂暴をして仕方がないとの報に接したので、撫順署員が急行なだめてもきかぬので一先づ連行同二時頃假留置した處、留置場が破れるやうに騒ぐので餘りの倉田司法主任も持て餘し宿直の柔道三段諫山君を取つた處、益々猛り狂ふので留置場の扉をあけ取押へんとするや醉漢三好は黄金波漂ふ便器を大上段にさし上げ諫山三段の頭からザブリ浴びせかけんとす間一髮醉漢の利腕を押へ漸く取鎭めた

南滿火工品會社 五十萬圓で設立 雷管導火線製造が主業

撫順の元老山上吉藏氏を社長とする資本金五十萬圓の南滿火工品株式會社が今回撫順楊柏堡聚家溝に出來る事となり二十六日午後三時その設立式が擧げられた撫順炭礦で年額二百萬筒を使用する碎岩等に使用する雷管、導火線是に附隨する火藥等を製造火工する事を目的とし右は東京の日本火藥製造株式會社、安東の滿洲礦山火藥株式會社との合同になる新設會社でまづ第一期計畫として萬一の場所を他に危險を及ぼさゞる前記聚家溝の一萬五千坪を敷地とし諸工場は三十棟、總建坪六百五十坪にて直に起工本年十一月完成の豫定で、諸機械の注文据付工事完成次第作業に移るとの事である、右會社の火工品が出來るやうになれば撫順炭礦從來の惱みの種であつた火藥、雷管、導火線は充分撫順にて自給される事となり五年度の八百數十萬噸の增掘計畫上にも至便を演ずる譯である、尙同社の決定せる重役の顔觸れ次の如し

社長山上吉藏氏、專務取締役吉家督造氏(滿洲礦山火藥會社々長)△取締役兼支配人貝塚暢氏(日本導火線株式會社專務)△取締役小倉禮三氏△同[illegible]氏(朝鮮火藥專務)△同[illegible]梅男氏(日本火藥支配人)△監査役[illegible]上野夫氏(滿洲製麻專務)△同[illegible]役原安三郎氏(日本[illegible]株式會社々長) 高木陸郎氏以上

淺草、兩國出現 サーカスと相撲 人氣を呼ぶ

撫順に淺草と兩國とをつきまぜたやうな盛り場が中央大街に出來た片や大阪、九州合併の大相撲の太鼓の音も勇ましく大小數十旗の幟は行人の歩をいやでも止め、山、黒雲、荒飛、松嵐、若港等四十名の關取連のたぶさ姿も珍しく連日大入滿員で勸進元の佐藤君は[illegible]の態である、一方は木下サーカス團で一行八十名の大世帯廿七日午前より興行してゐるが呼物は娘子軍の曲藝、愛嬌者オツトセイの藝當で是も大向ふをうならせ景氣のいゝ所を見せてゐる

正隆及開東廳へ

二十八日夜行にて中野[illegible]古賀初一氏、田中、中島實業協會副會長等は不動産組合及び[illegible]合議速進陳情の爲正隆及び開東廳へ向つた

吉林

松花江の大增水
市街地の浸水もあり 田畑木材の損害多し

吉林松花江は一時減水しつゝあつたが二十三日に至り再び水嵩を增し遂に平水との差一丈七、八尺に及び、大正十二年八月の松花江氾濫以來初めての增水を見た、其原因は上流樺甸縣運發河の氾濫に依るものゝ如く、同地方市街地及村落の被害は實に夥しく又沿岸の漁家農家の流失したもの無數であると云はれてゐる尚樺甸城は浸水四尺吉海線朝陽鎭は浸水七尺に及び交通は全然遮斷され田畑の被害に至つては實に甚だしい模樣である、吉林省城沿岸の土民等は上流より連日流下する木材原木薪材其の他破壞されたる家屋の梁柱等を危險を冒して撈取に努めてゐる、また吉林省城江岸の家屋に浸水したもの少からずして一時は家財の搬出引越の爲めに非常な混亂を呈した、因に今回の洪水にて吉林支那木材業者には相當被害ある見込みであるが、尚日本人側では三千圓內外の被害者二三名ありと

御眞影を奉移

吉林總領事館へ御下賜の御眞影は從來本館事務室金庫に奉安し來つたが、今回堅牢優美なる奉安庫が數日前到着したので之を警察署長室に置き二十六日御眞影を右奉安庫に奉移した

ハンモック
下畝氏の新案

吉林省城日支合辦同文商業學校長下畝榮吉氏は種々研究の結果車內幼兒ハンモックを新案し、近く特許局に其模型及說明書を添付して新案登錄願ひを提出すべく準備中であるが右ハンモックは長さ二尺巾一尺五寸餘のズック製にして汽車旅行の際車中網棚に吊して使用する裝置になつて居るもので携帶にも至極手輕である

時局記事檢閱

吉林省政府は此の程支那側各新聞社に對し露支時局に關する記事は一切官廳の檢閱を經るにあらざれば一切登載することを禁ずる旨通告した、故に吉林省城支那側各新聞は時局に關する記事は殆ど揭載せず偶々記載するものも支那側に有利な然も官憲に迎合的記事に限られてゐる

公主嶺

頻々たる 運行妨害
少孩の惡戲

列車の運行妨害事件が各地に續發するので守備隊と警察とでは犯人の檢擧に努力中、二十一日午後五時三十七分蔡家驛の南方三千米突第二踏切に於て、巡察の公主嶺守備隊第三中隊山岡中尉以下五名の檢擧した梨樹縣入家子居住農張景恩の長男陳成子(一〇)及び同所農趙拾考の三男趙黑子(十二)の兩名は牛馬の放牧中北行第二十一列車が同所を通過に際しレール上に拳大の石を置き、車輪が置石の全部を粉碎せるに興味をもち再行せんとしつゝあるのを發見したのであるが、これ等兒童の惡戲を嚴重に戒告の上親權者に引渡したと

馬賊と交戰
支那軍隊苦しむ

郭家店を距る南方三十支里の部落に二十三日の夕刻現はれた頭目東勝、金山の率ゆる十數名の馬賊に對し、同地の保甲隊長孫玉堂は部下二十名を引率討伐に向ひ追赤交戰、賊團は王家屯方面に退却したので第四區保甲隊と合し追擊續行の一方、同日午後一時公主嶺支那町の南方二十支里黃嶺子附近に二十餘名の馬賊橫行すとの報に接した、保甲隊は之が討伐に向ひ賊と遭遇交戰し保甲兵五名負傷頑强なる抵抗に遭ひ不利となつた同隊は伊通縣駐屯第三十三團長に應援を要求したほどで該地の住民は時節柄不安の念に囚はれてをると

馬賊現る
蔡家驛西方に

蔡家驛西方十二支里拉腰溝の北方翟家甸に二十三日の午後三時軍服着用の馬賊集團が二名の人質を連行し西方に進行するのを發見した同地居住農傳、王の兩名は之れに威嚇發砲したところ、この流彈に殪れた人質一名を放棄し北方に移動、午後七時宋家屯の農家に一泊二十三日午前三時出發に際し家人の衣類を强奪南行したと

公陵雜信

吉林に急行の松岡滿鐵副總裁が二十七日十一時五十一分當驛着の北行列車で通過するので、之を迎へた水町司令官、宗農業學校長外諸氏に下車挨拶ありて社員側に對し在任中の仕事は半成に終つたので今後しつかり頼むとあつさりした言葉を殘し、同五十六分乘車、實習生の萬歲裡に北進した▲露支國境の兩軍緊張奉天より懷德縣駐屯混成第一旅に對し動員の下令があつたとのことで農民は高粱繁茂に近づき軍隊出動後に於ける馬賊の橫行を氣遣ひ自警の準備中であると▲警察署と地方事務所は夏季衞生傳染病の豫防に頗る手數を煩はし各戶に配布した該注意書中に若し馬賊の來襲と云ふ樣なことがあつたらヤレ警察ヤレ軍隊、市街警備、戶締、窓には金棒と嚴重なる警戒する樣に豫防して欲しいと、殊に本年は各種傳染病、痲疹其他の病氣で六月以降の死者重患者の數は馬賊の被害以上數等多いのであるから特に注意を拂はれたいと▲二十七日の午後一時より隔日に農業學校實習生の汗になつた野菜を一般の家庭に安價で販賣することにしたので販賣所の消費組合の附近はお客で雜沓してゐる

遼陽

撫順炭礦軍勝つ
工場軍後半に利あらず

撫順炭礦機械課チームは廿八日來遼、午後一時から白塔公園グラウンドに於て工場軍先攻で試合開始四回迄は工場軍優勢で撫順軍を壓して居たが、七回の裏に於て撫軍一擧五點を得、八回表工場二點を挽回したるも、遂に十一對九で撫軍優勝した

列車妨害
軌上に石

首山驛の南方十町の地點に廿五日午後零時二十分頃拳骨大の石十七八個を軌上に並べて居たのを下り八十七列車に乘務して居た遼陽機關區所屬金子機關士が發見首山驛長に告げ取除いた爲め事なきを得たが附近部落の草刈小孩の所爲ならんと搜査中である

城西の水害
農作の被害甚し

遼陽城西一帶は頃日來の降雨で農作物の損害甚だしく中にも單臺子村に在住水田經營中の百餘天地をはじめ、唐馬寨を中心とする五ケ村は農作物全く水中にありと云ふ有樣で被害甚大であると

京城

呂運亨の 取調進む

京城に護送以來京畿道警察部の留置場に拘禁されてゐる中國韓人共產黨主領呂運亨は連日四五時間の嚴重な取調を受け田邊高等主任警部の手で着々訊問調書が作製されてゐるが、更に惡びれた處なくすら〳〵と自白するので拘留期間の廿九日まではすつかり取調べも終了し直に檢事局へ送致される模樣である、呂は取調べ以外は默考に耽り沈着な態度は道に首肯させられるとのことだが、たゞ留置場のピンデには弱つてゐるので監視の警官の好意から室を換へようと勸めても「他の者が入れば矢張り食はれるのだから」と我慢してゐるといふ

僞刑事と自稱 前科者の惡事
贓品質物と稱し詐取せんとす

廿五日午後九時頃府內大平通二丁目質店三浦榮一方へ東大門署刑事金泰用と稱する男が强盜前科三犯李東とふものを連行して李の入質品を調べに來たと質物臺帳を提出させ、李が首肯する六十圓以上の貴金屬十數點を贓品として持歸る旨を主人に告げたが「明朝署へ持參する」と主人が答へると二時間餘も話込んで去らず、最後にポケツトからナイフ樣のものを持出す氣配を示して脅迫し右の貴金屬を綑縛しようとしたが大聲に騷がれてその儘逃走し、刑事と稱する男は右方露路から松寺法務局長官舍方面へ向つて姿を晦まし、前科三犯と稱した男は逃場を失つて同質店直前の東學雲方の床下へ潛伏してゐたのを南大門派出所員に逮捕された、所轄本町署では直に嚴重取調中だが刑事と稱する共犯者については緘默して語らない

橫領總額は 二萬數千圓
鮮人の行金拐帶

一萬五千圓の行金拐帶犯人である京城府南大門通漢城銀行南大門支店行員兪(劉は誤り)鴻淳(二〇)の犯行は昨年から繼續されてゐたもので、橫領總額二萬數千圓に上る見込である、遊蕩の結果と見られ廿六日朝東本町署では犯人の馴染妓生たる漢城券番妓生李英淑外十數名の妓生を召喚取調べを續けつゝあるが、正午頃から刑事を八方に飛ばして大活動を開始した模樣では當初の見込である滿洲を經て支那潛入との觀測を一變して府內に潛伏の確證を得たものかとも見られ、廿五日頃永樂町のカフエーバロンに立廻つたとの說も傳へられてゐる

預かつた 子供を賣る

本籍忠淸南道唐津郡沔川面松山里住所富川郡多朱面長意里二六九、山野井煉瓦工場夫韓東植方李永學の妻安永護(三〇)は十三歲の長男八歲六歲三歲の三女を抱へて夫永學に棄られ生活に窮してゐるのを、(三〇)李順在(五〇)の兩名が甘言を以て本月初め三歲の女兒昌壽を引取り、歸宅後直に支那町の誘拐常習者支那人某に賣飛ばし昌壽は數名の手を經て數日前支那本國に送られたことを、此程小兒可愛さに取戾しに行つた母が探知し仁川署に訴へ出たので仁川署では廿五日來數名の關係者を引致取調べ中で東基文は逸早く逃走したが、開城署の手で一兩日中に逮捕の見込である、仁川府內に居住する支那人の內鮮人兒童誘拐被害は從來頻々として跡を絕たなかつたもので仁川署では此際徹底的大檢擧を斷行する意嚮であると

哈爾賓

露國銀行の 大恐慌
預金引出多く

時局が尙不安狀態にあるので露國側の極東相互借款銀行、豫太商業銀行及び家主組合銀行などの小中銀行は主として一般露西亞人商人家主などを得意としてゐる關係上當座預金を引出すもの多く、未だ本式の取付けとまでは行かないが銀行側では大恐慌を來し百方預金者の不安を緩和すべく努力してゐる

下村派遣員
滿洲里を引揚

滿洲里駐在の下村朝鮮總督府派遣員は二十七日午後六時十五分當地へ引揚て來た

コドモページ 成績紙上展覽會

なつかしい照ちゃん

長春西廣場小學校六年 塚本八重子

あの十二月二十一日の夜鞍山の驛でかなしくわかれた照ちゃんと今日此の星ヶ浦で會つた。こゝで會ふとは夢にも思はぬ事であつただけ一そうられしかつた。

出島さんが「照ちゃんが來られた」との議で私はおどろきの餘りたちえたへて飛び出した。ハルビンの室の前にあの時わかれた時とかわらぬ小がらな身體がにこつと笑つておじぎをする樣は私の胸から常にはなれぬ姿そのまゝだつた。私は最初の言葉がどうしても出て來なかつた。しばらくしてからはつぎ／＼と話がつきなかつた。其の時だつた。ハルビンの先生が御部屋から出てこられて今お話の眞最中照ちゃんを部屋につれて行かれた。我を取られた樣な淋しさはどうする事も出來なかつた。私は出島さんと顏を見合せるばかりであつた。一人はしよぼ／＼と食堂の戸をあけて御飯をたべはじめ其の御飯さへものどにつかへ少しも味がなかつた。やがて御飯がすんだ。二人はかい段でなつかしい友をまつのであつた。そこへちようど鞍山中學三年ののぼるさんが目をくる／＼させながらゐらつしやつた。私はていねいにおじぎをした。

照ちゃんのお兄樣は「あ、あなたもきたの。照ちゃんあそこにゐるよ」とにこつと笑つておつしやつた。私は其の時大へんうれしく思つた。二人はしばらく無言のまゝ照ちゃんの來るのをまつた。まてども／＼照ちゃんは來そうもなかつた。私は出島さんに、「あの人ならば私をわすれる事はないのよ。きつとあの人ははづかしがりだからだまつてゐるのよ、校長先生におつしやつたならきつと合つておゐでとおつしやるわね」出島さんもそれには答へなかつた。又お兄樣がこられた出島さんは「ねえ兄さん塚本さんがもつと照ちゃんとお話したいつてよ、だからよんで來てちようだい」お兄樣は笑ひながら又お部屋へ入つて行かれた、照ちゃんがちよこ／＼と走つてこられてにこりと笑つた。小學校であの照ちゃんとけんくわした時二度仲なほりする時の樣とかわらないのであつた。私は照ちゃんのかたをかるくなでながらそれからそれへと話しはじめた。其の話してゐるうち私は照ちゃんの顏を見るとなんだか鞍山の小學校をこひしく思ひ小學校のなり行を聽くとほんとに三年から五年までの事を思はされるのであつた。やはり照ちゃんわ私の一ばんの仲善しだ。どうかもつとこの照ちゃんと仲よくお話した。其ののぞみはなかはなかつた私が自動車で歸つて來た分はもう照ちゃんとのわかれだつた。私はきつと鞍山へ遊びに行かうと心にきめて寢床へ入つた。

寫生(水彩) 哈爾賓小學校六年 山口

星ヶ浦海岸にて

開原小學校尋六 前田貞子

丁度七月十七日の朝食後の散歩の時の事であつた。少し散歩をしやうと言ふので寫生道具を持ち先生と一しよに海岸の方へ散歩に出かけた。さう暑くもなく寒くもなく心ゆくばかり晴々しい天氣であつた。其の時は丁度滿潮で大波が「ざぶん！」とばかり濱におしよせ其の度に澤山のしぶきが顏にかゝる。ふと先生がお呼びになつたので急いでかけよると先生は次の樣なことを説明して下さつた。

「地層と斷層」

地層とは水の底に土が順々に沈んで何億萬年と立つ中にそれが岩になり丁度地を板の樣に重ねた樣な處を言ふのである。それがずつと昔地震があつたり地球がひえたりして、きれいに重なつた地層が波の樣にゆがみそれに、ひゞが入り「ずとん」とひゞきの處からづれて斷層となつたわけである。斷層は其のひゞの處を言ふのである。星ケ浦海水浴場の地層はシエールと言ふ石や金槌で傷の着く茶褐色のやはらかい岩である。撫順の石炭をかぶせてゐる地層は油を含んでゐるのでオイルシエールと言ふ。

「海岸の石」

海岸の岩を見ると大ていのは角がない。それは波と一しよにおしよせる石と其の岩とがぶつかり何年も／＼立つ中にたう／＼角がなくなつたさうである。ずーと沖の方にある島の中、島が個中から切つて其の一つの方の形をしてゐる島が二つ、三つ見える、あれもやはり斷層が出來て其の一方が波にさらはれてあの樣な形の島になつたさうである。波は「ざぶん！」と濱におしよせる。あゝ愉快と言ふよい心持でよい景色であらう。それから後は好きなスケツチ。あゝながめれば、ながめる程廣い果しもない海の沖には一そうのほかけ舟が浮んでゐる。「ざぶん！」又波は濱におしよせた。

海水よく

公主嶺小學校五年 丹 靖江

私は大連へ來た時はまだ少しもおよげなかつたので私はしやくにさはつた。一しようけんめいでおよぐけいこをしたが、なみのため後の方へおされてしまつてなか／＼およげません。二三日立つとこは／＼かほをつけました。するとなみがきたので、立ち上ると大きななみでたいへん私は水をのんでくるしかつたが身體がぽかんとういた。私はしめたと心の中で思ひました。私はこの日が一番おもしろうございました。毎日けいこしてゐる内になみも一つもこはくなくなりました。そして其の中に一米突くらいおよげるようになりました。やつとおよげるようになつたと思へばもう明日歸らなければなりませんので、ざんねんです。

寫生(水彩) 吉林小學校尋六 三ケ島勝

リンゴ拾ひ

奉天春日小學校尋六 飯田清子

だん／＼水泳大會の番組がすゝんでいよ／＼私達のリンゴ拾ひの番になつた。「ピリ／＼／＼」となる笛の音と、ともに男生は水の上を「ばちやく／＼」と音を立てながら走りだした。よほど近い所にリンゴはおいてある。中には立つて拾つてゐる人も居る、間もなくもどつて來た人を見ると、手に一ぱいもつてきた人もあれば中にはフンドシの中にいれて來た人もゐる。ずゐぶんきたないことをする人だと思ひながら樣々の人の樣子を見てゐた。數は皆おなじくらゐである。一列、二列もすんでいよ／＼三列、私達の番になつた。青いはちまきを腹にぎゆつとしめて水泳着の中にいれるつもりである。「ピリ／＼／＼」「ぱちやく／＼」とすこし行くともう深くて立てなくなつた。一生懸命泳いでやつとリンゴのある所まで來て一つとつた。も一つとるとこんどは前にとつたリンゴが手からはづれた。つゞいて後にとつたのもにげてしまつた。けつきよく何もなくなつてしまつたわけだ。誰かゞ立つてゐたので私もたとうと思つたらぶく／＼としづんだ。びつくりして一生懸命かへつて來てやつとせいの立つところまで來た。まだ一つもリンゴをとつてゐないので後を見ると、一つ浮いてゐる。おほいそぎでそれを水泳着の中にいれたら又浮いてきた。さうしてやつと五つばかりとつてもどつて來た。皆なはせいが立つからたくさんとつて來たやうだ。私はなぜこんなに小さいのだらう。つく／＼いやになつた。ほんとうにせいの高い人は便利だと思つた。

私のはな

嶺前小學校三年 大島妙子

お父さんに、いつも「妙ちゃんのはなは、てんじようにむいてゐる」といはれる。或日、私が學校へきて見て、教室へはいると、前川さんたちが「くつ／＼」とわらふので「どうしてわらふの」と聞くと前川さんが「大島……さんの…」とくつ／＼わらつた。私は、又前川さんに「どこが、おかしいのね」と聞いたら、前川さんが「大島……さんの……はながてんじようにむい……て」といつてわらつた。だれからも笑はれる。ほんとうに私のはなはてんじようへむいてゐるのかしらんと思ふ。時々お母さんたちにおふろにはいつてから、はなをつまゝれる。私はこのてんじようへむいてるはなを、とつてしまひたくなる。私はおほきくなつてからおよめにいくのに、はながてんじようにむいてゐたら、およめさんにもらつてくれないかと思ふとかなしくなる、ほんたうにこのはなやな、てんじようにむいてるはなをとりたい。

ボクノイモウト

沙河口小學校一年 石原正次

アイコハ ボクノイモウト デス。トシハ 四ツデ セイガ タカイデス。ミンナニ カワイガラレマス。ボクノ アイコハ トテモ カハイイデス。パンノ五ジニナツタラ ボクト オトウサンヲムカヒニ イキマス オトウサンハ トテモヨロコビマス。

さびしい夜

松林小學校三年 小野健市

僕たちは、夕はんが今すんだばかりである。お父さんが「僕は町へいつて來るからおるすをしておいで」とおつしやつた。僕は「はい」といつたきり後がいへなかつた。まもなくお父さんは仕度をとゝのへてお內を出ました。へやは「シイン」としづまりかへつた。僕は本をよみ出した。しばらく本をよんでゐたが、さびしくてたまらないので、とこの中へもぐりこみました。時計を見るともう八時半ごろです。僕はあわてゝ目をふさいだが、中々ねむれなかつた。それでもいつのまにかねむつたと見へて、ふと目をさました時僕のよこにお父さんがすや／＼とねむつていらつしやつた。

俳句

奉天彌生小學校五年生 市川 潔

夕立にむかひの屋根のしぶきかな　小林久男

夕暮にぱつとあかるく電氣かな　橋野享一

夏の雨子供よろこぶ水たまり　橋野享一

初夏の雨やられしき水たまり　濱本六次

夕ぐれに雨しと／＼とふりにけり　三橋 明

初夏に虫とりあみをふりまはす　高島文男

夕暮にこうもりとぶや空の上　星野邦彦

夕すずみ小さときを思ひ出し　小林久男

熊公がすまうをとるや人氣者　橋野享一

水たまりぽんととびこむ宵かへる

夏の雨植木持ち出すいそがしさ　橋野享一

多數の共産黨員 撫順に潜入して策動
宣傳ビラやパンフレットを華工に配り電柱に貼る

【撫順特電二十九日發】最近當地に多數の支那共産黨員が潜入し去る廿六日撫順炭礦華工に宣傳文を配付した事件があつたが記事掲載を其筋より禁止中のところ本日解禁された

彼等共産黨員は現在のわが國家組織とは根本的に相容れざる宣傳ビラを約五千枚及び謄寫版刷のパンフレットを廿六日老虎臺附近及び各採炭所の華工に配付し同時に各電柱に貼り付けた、炭礦勞務係及び警察高等係に於ては極力その犯人を捜査してゐるとき同日午後二時四十分頃老虎臺附近に二名の怪しき者を認めたので、これを誰何すると一名は東ケ岡他の一名は榮國の鐵柵を乗越えて逃走した、彼等の遺留した風呂敷には共産黨の不穩宣傳文數百枚が入つてゐた、撫順警察署では連類が多數あるものと見込み目下極力捜査に努めてゐる

五〇—一二五で青中軍慘敗
對大連二中陸上競技會

來征した青島中學對第二中學校陸上競技會は二十九日午後一時より大連運動場に於て擧行、遠征軍元氣よく戰ひたるも練習不足のため遂に精鋭なる二中軍に五十點對一二十五點の大差を以て大敗し同三時二十五分終戰した成績左の如し

△百米（二中七點、青中三點）▲一着酒井（二中）十二秒▲二着麻生（二中）▲三着小島（青中）▲四着世波（青中）
△三段跳（二中七點、青中三點）▲一等寺井（二中）十二米五六▲二等近藤（二中）▲三等（青中）▲四等渡邊（青中）
△八百米（二中七點、青中三點）▲一着奥井（二中）二分十五分五分三▲二着小林（二中）▲三着福池（青中）▲四着田中（青中）
△走高跳（二中六點、青中四點）▲一等谷川（二中）一米六▲二等佐治（二中）▲同岡（青中）▲同小島（青中）
△四百米（二中五點、青中五點）▲一着片岡（二中）五十六秒六▲二着松原（青中）▲三着渡邊（青中）▲四着石山（二中）
△走幅跳（二中七點、青中四點）▲一等寺井（二中）六米三三▲二等麻生（二中）▲三等岡（青中）▲四等世波（青中）
△千五百米（二中七點、青中三點）▲一着奥井（二中）四分五十一秒八▲二着丁（二中）▲三着安永（青中）▲四着峰（青中）
△八百米リレー（二中四點、青中一點）▲一着二中（千村、片山、麻生、酒井）一分四十一秒▲二着青中（小島、渡邊、世波、松原）
△總得點　二中五十點、青中二十五點

なほ今三十日は午後一時より第一中學と對抗戰を行ふと【寫眞は八百米で一着となつた二中の奥井】

人氣大いに湧く大相撲

建築規則 改正要點
警察の權限擴張

大連市の都市計畫に伴ふ建築規則の改正案は關東廳土木課にて目下研究中であるが、警務局關係からすれば建築規程による檢査は土木課の所管に係り之を取締る方面からみれば警察署長の主管事務となり保安の一部によらねばならぬので大規模の建築物は別として普通一般の家屋建築に對する認可指令は執行關係にある署長の權限に委囑し建築技師及技手を其一部に編入して署長の手により認可する方法となれば取締上からするも非常に好都合であるといはれてゐる、特に大都市として其内容を充實して行く大連市の如きは今後家屋に對する取締方面の執行事務は益々煩雑を加へる傾向あれば今回の改正案によつて根本的の問題を解決して置く必要があらうと

天龍が

決勝五人抜きあり

の順にて優勝し夫々本社の賞金を受けた、此間抽籤中を利用し幕内山錦、若常陸の四人を寄り倒し常陸嶽を吊り出し優勝した、中入後の勝負左の如し

▲綾　櫻（うつちやり）藤の里　藤立上りにはたき互に左を差して投げ合ひ藤の寄るを打ちやつて綾の勝
▲栃の森（よりたふし）常盤野

涼しい船の旅　日本一周旅行團
明三十一日限り申込締切（B級滿員）

支那學界の權威來連
多數打連れて

廿九日上海より入港の榊丸によつて支那現代の學界の權威者が珍しく顔をそろへて來連した、一行は張心一氏（南京金陵大學校長）李應林氏（廣東省嶺南大學校長）胡庶華氏（漢口法政大學校長）潘之且氏（上海復且大學教授）鮑明鐘氏（北平法大大學教授）夏晉麟氏（上海法政大學校長）曾寶孫女史（湖南女子大學校長）余日章氏（上海基督青年會總幹事）梁士純氏（同上幹事）王之幹氏（同）の面々で上陸と共に青年會館に入り廿九日夜行で奉天に向ひ、張學良氏の招宴に列席後各方面を視察、更に長春に足を延ばし哈爾賓日學の後再度歸連ゆつくり大連見學に費し九月末歸滬すると

初日にいや増し大相撲賑ふ
本社優勝旗爭奪の幕下決勝 きのふ大和錦優勝

大相撲二日目の二十九日は武藏山其他後援會の見物多く初日にも増して活氣だつた、正午前には横綱常の花、大關大の里を初め花形力士天龍、武藏山などゝ稽古場に現はれ互ひに猛烈な申合せを試み觀衆を喜ばした、中にも元の横綱栃木山の春日野親方が土俵に飛出して武藏山を相手に六番の申合せに二番勝ち昔日の强豪ぶりを示したのと怪物出羽ヶ嶽が姿を見せたので一入

觀衆を滿足せしめた、

午後二時頃から幕に入り四時頃より本社優勝旗爭奪幕下決勝に入つたが、結局准決勝に綾若、鳴海潟、諏訪錦大和錦の四名殘り更に奮闘の結果

一等大和錦、二等鳴海潟、三等諏訪錦

突合ひ栃素早く二本を差し猛烈に寄る
▲高の花（吊りやぐら）常陸嶽　突合ひはたき合つて常二本さし外掛けにもたれ込まんとするを高小手投氣味に吊り出す
▲武藏山（上手投げ）常陸島　常土俵一杯に仕切り立つや二本を差さんとするを武藏差させず右に常の上ミツを引き直ぐ上手投げを打ち常鈍くも膝をついて負け
▲天　龍（はたきこみ）若常陸　猛烈に突合ひ天龍小手投げを打ち若危く殘してぶつかる出鼻を天龍こゝぞとはたきこめば見事に極つて若の巨軀土俵の中央に轉ぶ
▲新　海（まきおとし）大　島　手四つより右四つに變じ新海機を見て卷き落す
▲山　錦（すくひなげ）出羽嶽　一合して山錦右をさしすくひ投げ極る
▲千葉嶽（つきはなし）外ケ濱　互に左をさしすくひ投げを打ち合ひ千葉猛烈に寄り殘るを突放す
▲常陸岩（すくひなげ）和歌島　一合して和歌左ざし必死に寄るを常陸岩左よりすくつて勝ち
▲大の里（うはてなげ）玉　碇　立上るや大の里直ぐ左をさし右に上ミツを引くと同時に石火の早業で上手投げを打つて見事に極る
▲常の花（すくひなげ）信夫山　信夫猛然とぶつかり左を差して寄るを常何んのと右より掬へば山信夫の體土俵外へ飛ぶ（打出し七時四十五分）

なほ三日目取組左の如し
（藤の里）高の花（出羽ケ嶽）
（常盤野）栃の森（若常陸）
（常陸嶽）常陸島（天　龍）
（綾　櫻）大　島（和歌島）
（新　海）玉　碇（若葉山）
（外ケ濱）武藏山（大の里）
（常陸岩）常の花（信夫山）
（山　錦）

因に玉錦後援會は同力士病氣休業のため四日目に延期されたと

青島中學謝電

全國中學野球豫選に優勝した青島中學より廿九日本社宛左の如き感謝の電報を寄せた

幸に優勝の榮を得貴社の御高配を謝す

名古屋共産黨 判決言渡

【名古屋二十九日發電】廿九日名古屋控訴院にて名古屋日本共産黨事件被告に對し左の判決があつた

禁錮一年六月　瀨川谷之助（二二）
禁錮一年五月　武田作次郎（二七）
禁錮一年六月　酒井安太郎（二二）
禁錮一年　五十嵐　章（二二）
禁錮一年　飯田治三郎（二二）

いづれも未決拘留二百日通算、なほ五十嵐、飯田兩名は五年間執行猶豫となつた

殺人的苦熱の上海に水道罷業
共産黨一派の策動か

【上海二十九日發電】上海水道局柳樹浦分局從業員は去る二十五日からストライキを開始したが、更に杭州路局從業員も昨日來ストライキに參加した、殺人的苦熱に喘ぐ上海は今や水攻めの苦みに脅かされるに至つた、このストライキは八月一日の國際赤化デーを期して市中の騷擾を圖らうとする共産黨一派の策動に基くもので水源斷絶、鐵道破壞等の計畫さへ傳へられ工部局は支那公安局と協力警戒に當つてゐるが場合に依つては戒嚴令の布告をも見る模様である

教育會記念事業協議

南滿洲教育會は十周年記念事業のため本日午前十時より關東廳に於て評議員會を開催したが、出席者は滿鐵側よりは平野學務課長、秋山、社原、生田各視學、關東廳側より藤田學務課長、長尾、木村、村上各視學、香川書記、河野囑託等の諸氏であつて附議事項は九月二十二日旅順一中に於て開催さる南滿洲教育總會及び運動會の件教育博物館建設の件、兒童作品展覽會の件等である

ブ中尉代用機註文

【タコマ二十八日發電】ブロムレー中尉は昨日出發せんとし機體を破損したがタコマ市長は右飛行機の製作所なるロツキード、ヴイガ飛行機製作會社に電報を發し費用にかまはず至急代用機を製作されたき旨註文を發した、ブロムレー中尉は右代用機完成次第再度太平洋横斷の壯擧を試みるはずであるたいと

金井廣章畫伯 作品頒布會

金井廣章畫伯の來滿を機とし石本鏆太郎、西山勝太郎、洲崎虎太郎其他數氏發起人となり同畫伯の作品頒布會を催すことゝなつた、同畫伯は人も知る東京美術學校出身で在學中より川端玉章畫伯に師事しその歿後寺崎廣業畫伯の門に入り專ら斯道に精進し、展覽出品作品は概ね優賞を得宮内省の御用品として御買上の命を蒙ること數次今や同畫伯の彩管は神に入ると稱せられて居る、頒價は絹本尺三、一本二十五圓期限は七月三十一日限り山縣通一〇八河本臣吾、滿鐵本社鐵道部營業課加藤郁哉氏宛申込まれたいと

ブリアン氏組閣 危機を切り抜く
現閣員全部を繼承

【パリー二十九日發電】ブリアン外相が大命を受けて內閣を組織せんとするや直に改造說に當面し內閣組織の暗礁に乘り上んとしたが、現內閣を其儘繼承する事として危機を切り拔け得た即ちブリアン氏は首相外相を兼務し他は全部留任とし今秋の議會選擧後改造をなす筈

ブリアン氏聲明

【パリー二十八日發電】組閣の命を受けたブリアン氏は今タヅーメルグ大統領を訪ひ默諾し退出後左の如く聲表した

余は二十九日各政黨首領と相談し同日夕刻までには組閣を終へる見込みである

金栗四三氏
辭表提出を求めらる

【東京二十九日發電】我國マラソン界の先驅金栗四三氏は現に東京府立第二高女教諭であるが、田中校長から辭表提出を求められたが延いて同校は一騷動免れぬ模様である

大連署精勤證書授與式

大連署では三十日午前八時二十分より振武館講堂に於て署員に對する精勤證書授與式を擧行すると

内科專門
志摩醫院
大連市駿河町滿銀横
電話七八六九番

水夫海に墜つ
あめりか丸から

昨二十九日大連を出港したアメリカ丸が午前十一時二十分頃三山島を去る南十八度東六海里の地點を航行中、同船水夫一名が過まつて海中に墜落したのでしばし停船して極力掃索の結果、一時四十分に至つた無事救助する事を得た旨商船支店に入電があつた

電氣で火傷

定期船あめりか丸は二十九日定刻出帆したが同船出帆の際見送客中の沙河口大正通十六番地塚原虎夫（三九）は不覺にも渡橋の原動力になつてゐるレールに落ちた鍵を拾はんと手を延ばして五百ボルトの裸線に觸れ人事不省に陥つたので大騷ぎとなり直ちに唐澤病院にかつぎ込み應急手當を加へたが生命には別條ないと

岐阜市の大火
四十餘戸燒く

【岐阜二十九日發電】二十九日午後零時五十分岐阜市吉野町六丁目山内木材會社より發火し四十餘戸を燒き二時四十分鎭火、現場は停車場近く多數の大建物櫛比し居りて大騷ぎを演じたが停車場は無事であつた

川上氏夫人葬儀

市内越後町川上賢三氏の評子夫人は去る廿八日午後逝去、葬儀は三十日午後四時半より出雲大社教分院にて執行のはず

中澤不二雄氏嚴父

滿鐵情報課員中澤不二雄氏嚴父敏郎氏は豫て病臥中の處廿九日午後二時十五分心臟痲痺にて逝去した

けふのラヂオ

昭和四年七月三十日（火曜日）
自午前十一時　相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）
自午後零時三十分　相場（特產、錢鈔、各地相場）ニユース
自午後三時三十分　相場（錢鈔、株式、各地相場）ニユース
自午後五時　日本大相撲連絡放送
自午後七時三十分
一、ニユース
二、講話　七月三十日を追懷して　產業教本部　松山理三
三、箏曲　明治松竹梅　生田流箏　替手古賀喜久江、岡本手佐々木夫人
四、民謠　安來節　コノヱ會連中
五、支那劇　四郎山　通東俱部々員
六、料理獻立
七、天氣豫報

愛慾の窓 (54)

戸川貞雄作 / 淺枝次朗畫

金 (一四)

英輔達が座を外すのを待つて、英輔はやをら久彥の方へ膝をすゝめた。

「……よく來てくれたね、こんな場所へお呼び立てしてすまなかつたが、取引上の內證話は、かういふ場所に限るんでね」

と、彼は葉卷の煙をふうと吐いて、久彥の顏に瞬間鋭い視線を投げた。

「……取引上の內證話といふと」

と、久彥も相手の視線を撥ね返しながら、煙草に火を點けた。

「ね、草野君！話は手取早い方がいゝから、端的にゆくが、君は商賣柄、僕の素行上の調査も、小森家の諸事業の經營成績なんかの調べも、もう濟ませたことだらうね。全く君の日本興信所には凄い腕の社員がゐるんで、油斷も隙も出來んと、よくうちの親父なんかもこぼすよ……」

「……社の方のことは、僕なんかにはよくわかりませんが、それこそ端的に御用件の方を伺はうぢやありませんか」

と、久彥は冷たい調子で云つた。

おちついて、おちついて！こんな奴に負けてはならんぞ！さう久彥は肚の底で繰返してゐるのである。

「……はゝ、君も仲々要領がいゝね、では、待ち給へ！」

と、英輔は違棚の端から、小さな手提鞄を取り上げたかと思ふと、パチンと音を立てゝ鍵をはね、なかから一葉の小切手を引出して、久彥の前に置いた。

「……少いか知ら？五百圓だ、ね君！これで君の友永に約束してある報告を、僕にすべて賣つてはくれませんか」

英輔は、脣を微笑で緩めながら云つた。

久彥は、眼を擧げて、チラと英輔の顏を見た。それからまた眼を小切手の薄青い額面に落した。金五百圓也……。

「……少いかも知れんが、お禮はお禮でまた僕の方の話がおちつき次第にするつもりなんだ。察してもくれ給へ、僕はこの縁談が毀れるやうなことになつたら、生きちやゐないよ、はゝゝ、そりや冗談だが、これほどさやうに、僕は倭文子さんにまゐつてゐるんだ」

英輔は、滿更の冗談でもないらしく、この鐵面皮漢が、いくらか極り惡氣に云つて、ぐいとビールを呷つた。

久彥は答へる言葉に窮して默つてゐた。若口を切つたなら、彼はこの侮辱に對する憤りの言葉か皮肉の應酬か、それより他には云へなかつたらう。僅に久彥の脣は頭へおのゝいてゐる。反撥的に彼はこの卑しい相手の要求をはねつけて赤耻を掻かしてやらうとぢりぢりした。馬鹿！かうなつたら愈々我慢はならないぞ！この縁談は滅茶苦茶にしてやらう、友永を動かすぐらゐわけはないんだ…。

「……失禮ですがね、これはそちらへお納め願ひませう」

久彥はかすかに顫へる聲で云つて、小切手を押し戻した。

「…足りないんですか？草野君」

英輔はにやくしながら云つた

「いや、飛んでもない！多過ぎるくらゐなんですよ、何故といへば僕は實は何もあなたに買つて頂くやうな材料を持つてはゐないんで……たゞ、メリイ、ダンス、ホールのダンサーの一件以外には！いや、もう一つ、あなたの商事會社に勤めてゐる女事務員仁科美知子の一件を除いては！」

と、久彥は憎惡の衝動に驅られながら、我にもなく鋭い調子で云つた。

英輔の顏色は、瞬間緊張した。が、すぐにやくと笑みくずれて彼は頭を掻いてみせた。

「……いや、見かけによらず君は凄いねえ！いや、出すよく、もつと出すよ！」

滿日文藝

滿日川柳

「暗號」 篠田醉蕾選

暗號で老妓社長を唱はせる　ソ六

暗號の模範は山と川の二字　葵草

口よりも目がはつきりと物を云ひ　農夫

暗號が解けて御客は管をまき　雨粥

暗號を作つても見る無時代　雅堂

暗電が來て會議室皆默り　李堂

暗號で諜し合せる香具師と香具師　紋江

落選は暗號の儘で發表され　木の葉

暗號に別の女給が拗ねて立ち　夏山

暗號と知らず矢鱈に意味を付け　みのる

暗號の高聲一寸下を向き　しげを

暗號の仕入値手代聞いて負け　熊雄

妾宅の支鍋指が物を言ひ　桂馬

電信兵机叩いてよく話し　婧鈴

投球のサインへ美事エスカーブ　無六

佳吟　大連　洪　聲

親指を見せて裏口から返へし　同

番頭は何やら言つてからまける　旅順　樂　遷

勝負の決暗號を打つ逝ざ　同

川柳八月課題

八月五日締切 「夏服」 小園新生選

八月十日締切 「薄物」 藤原可居選

八月十日締切 「顏役」 高橋月南選

△各題必ず別記用紙はがきの事

滿日社文藝係

水府先生歡迎川柳會

大阪番傘川柳社主幸岸本水府先生の來滿を機とし八月十日頃南華園に於て歡迎川柳會を開催す奮つて御來會あらんことを

一、宿題 「傘」先生選 「汗」互選

一、締切 八月五日着便(各題三句別記)

一、投句所 大連市龍田町一三七高橋月南宛

主催 大連各川柳會有志

後援 滿洲日報社

夕刊 滿洲日報 七月二十九日

北滿の各金融機關を支那側で獨占の計畫
東鐵回收の効果を擧げる爲 專門家に調査を命ず

【北平二十八日發電】張學良氏は東鐵回收の基礎的効果を擧ぐべく從來露國側の手にて占められた經濟機關殊に金融諸機關を完全に回收獨占の目算を立て、廿七日附當地銀行界の重鎭周作民氏其他幹部に對して至急奉天に來り更にハルビンに赴いて實狀を調査し支那獨自の金融機關設置に當られたいと委囑して來た、銀行工會は廿九日大會を開いて之が諾否を決するはずであるが多分張學良氏の希望通り周作民氏等の乘出となるであらう、右は東鐵問題が今後外交々渉に移り相當長期に亘るべきにより露國及び外國資本の侵入を防止しつゝ經濟界における露國の勢力を根こそぎに搜へさんとする目的に因るものであると

對露交渉委員任命
朱、韓兩氏哈市へ急行

【北平二十八日發電】國民政府は朱紹陽氏を對露軍獨交渉全權に任命すると共に未赴任の露領黑河總領事韓述曾氏をも交渉委員に內命し朱、韓兩氏は同行ハルビンへ向つた、一行は孫科、張學良、張作相、張景惠、呂榮寰氏等と協力し專ら折衝に當るはずで、斯て支那は戰爭回避から和平解決まで一歩を進めたものである

勞農の要求全部を容れ支那側和平を期待
ハルビンで交渉せん

【東京二十九日發電】一時は正面衝突を豫想せられた露支關係も支那側の妥協的態度に漸く緩和し兩國の直接交渉開始の機運は頓に熟して來たもの〻如く二十六日メリニコフ總領事、張作相兩氏の會見に於ても平和交渉に入るべき準備的打合せがあつたものと信ぜられてゐるが、該交渉に入るソウエート政府の態度は

一、東支鐵道を舊狀に復すること
二、支那が拘禁せるロシア人を釋放すること
三、支那がソウエートの各機關に加へてゐる武斷的壓迫を停止すること

の三ケ條を前提要件としてゐるものであるが、之に對する國民政府要路の意向は和平解決のため東支鐵道を舊狀に復するも致し方なしといふに決せるもの〻如く、たほハルビンにおける支那官憲は曩に斷行せる總領事館搜索以來拘禁してゐるソウエート國籍者を證據不充分の理由で近日中に釋放すべき旨を言明してゐる、たほ國境における露支兩軍はそれ〴〵後退を開始したとの確報もあり之等の事態は露支兩國の間に平和解決の機運が動いてゐることを裏書するもの

日本が滿洲に軍隊四千を增派
支那新聞の反日記事

【上海特電二十九日發】今朝の當地支那新聞は、中央某要人が奉天政府より接受せる電報として、日本政府は最近長春、琿春に四千の軍隊を增派し又山本滿鐵總裁に命じてハルビン或は場合によつてロシアに派遣することゝなつたと報じ、東鐵問題紛糾に乘じて日本が漁夫の利を圖るべく汲々たるが如く反記事を書き立てゝゐる

楯の半面
辭める山本滿鐵總裁 (五)

村松君の觀た家の大將

山本氏の、それこそほんとの手足となつて働いて居るものにボーイの村松君と云ふのがある、村松君は今年三十三、女ならば厄年と云ふ所だが小柄な色白の好男子であるから、見掛はそれよりもズツと若い、初て山本氏に仕へたのは既に十數年の昔、政黨の笹原君よりは更に二三ケ月許り舊い方だ、その村松君の山本氏觀――これまた氏の楯の半面を知る一ツの材料であらう

▽――△

家の大將(無論山本氏を指す)かね、大將と來たら何しろ滅法忙しい人でね、私のやうな附添ひのものも、半年や一年馴染んで見ないと、チョツクラチョイトは勤め難い人ですよ。其代り馴れて終へば主人として此位勤め樂な人はない、然うしよつちう傍につき切つて居なくても、大抵なことはドシ〳〵自分でされます、寢るにも起きるにも一々人手を借りる事など滅多にない、時に氣に喰はぬやうな事があつたとしても一寸唇邊をピク〳〵震はせるのが關の山、頭からガミ〳〵怒鳴りつけるてなことなど殆どありませんね、何しろその君い時から苦勞して居る人は、違ひますよ」

宴會を氣にする村松君

この村松君、山本氏から常に「樂々」と可愛がられて居るだけに却々忠實な主人思ひ――山本氏の系統には腦溢血で倒れた人が多いと云ふので、常日頃その事ばかりを氣に懸んで居る、村松君が細かい所まで氣をつけて居るのは、山本氏の身の廻りと云ふよりも、寧ろ此の點が主になつて居ると云つてもよい位だから村松君が山本氏の出る宴會を氣にすることは一通りでない、大抵の場合は笹原氏にこん〳〵とこれを頼んで置くが、その笹原氏も出ない宴會となると村松君立つても居ても居られない位心配して居る。

▽――△

「萬一のことがあつたら夫人に濟まぬ……」

村松君は何時も斯う口癖のやうに言つて居るが、ツイ過日もこんなことがあつた。それは何でも六月の株主總會準備のため山本氏が未だ社長として歸滿して居たときの話――或夜晩く村松君が憤々怒つて居る、何をそんなに怒つて居るかと思ふほどかん〳〵に猛り立つて居る。

星の家女將叱られの事

「サア誰れがなんと言つたつて承知せんツ、星の家の女將奴怪しからんぞツ……」と温厚な村松君いつになく眞ツ赧になつて居るので、何うしたわけかと聞いて見ると、その夜星の家における或宴會で山本氏は珍しく大酒をあふつたと見えドロ〳〵に酔拂つて歸つて來た、驚いこんなことがあつてはならぬと、村松君自ら星の家の女將に會つて「深酒しないやう注意して呉れ」と懇々頼んで居たに拘らず此の始末、と云ふので村松君斯くはかん〳〵に怒つたわけ、星の家の女將を怒鳴りつけたばかりでは氣が濟まず、永い間その餘憤を洩らして居た事實に見ても、松村君が何んなに山本氏の身邊に注意して居るかと窺はれて面白い。

現業員十三名で辛うじて長哈間列車を運轉
辭職した赤系驛員復職せず

【長春特電二十九日發】露支國交斷絶の結果同盟辭職した寛城子驛員は全部で五十五名、その內二十九名は事前に支那警察に捕へられ今尚拘束されてゐる、他の二十六名中八名は南滿へ赴き十六名は長春に在住してゐる、又長春連絡驛に勤務してゐた十六名も職を離れて長春市內に在住してゐる、此等赤系失業者に對しては此程寛城子に職業同盟メストコムの共濟金三千二百圓を支拂つて生活費に當てさせることゝなつた由だが、この資金が費ひ果たされると又復彼等は生活難に陷るだらうが國策の犧牲になつたのだから本國の職業同盟本部で何とかして呉れるだらうと案外樂觀してゐる、尙支那當局は之等失業者に對し直に復業するものはその罪を問はずと揭示して復業を慫慂してゐるが、まだ一名も復業申出がないので、長春で募集した五名と哈爾賓で採用した八名で辛うじて列車を運轉してゐる

交渉地

はベルリン等の說もあるか實際問題としては現地なるハルビンが最も可能性多くソウエート側はメリニコフ總領事、セレブリヤコフ鐵道副長官、支那側よりはハルビンに急行中の孫科鐵道部長が之に當るものと見られるが、目下交渉斷絶の狀態に在る兩國の事とて交渉開始までの手續は第三國の仲介によるか、又は兩國のみの間に何等かの斡旋を案出するか、交渉開始までにはなほ相當の時日と曲折を要するものと見られてゐると見られる、而して

單獨交渉で解決の見込充分
朱全權、北平で語る

【北平廿八日發電】朱紹陽氏は今夕來平したが氏は

余のハルビン行は東鐵問題の總括的調査のためで交渉の全權代表の資格は持つてゐない、差當り何れに根本的誤解ありや否やを精査し政府に報告するが今回の事件は單獨交渉で十分に解決の見込みである

と語つた

奉天勞農領事等けふ本國へ向ふ
日本、浦鹽を經由して

時局の紛糾と共に來連、各方面と交渉中であつた奉天勞農領事マルツノフ氏、副領事ゼリムチユク氏外館員四名に、廿七日盛京丸にて塘沽より來連せる天津同國領事館員一名、北平同國領事館員二名外妻子合計十八名は廿九日出帆あめりか丸で日本へ向つたが、一行は最初の本國引揚露國領事館員で流石に沈痛なる面色で見送りの同胞と別れの挨拶を交してゐたが尙一行は二週間以內に本國引揚げの命を受けてゐるから渡日の上は便船次第で敦賀より浦鹽へ向ふと

支那騎兵二千名國境守備に就く
勞農軍も移動對抗

【滿洲里二十八日發電】今朝齊々哈爾より到着した支那軍騎兵二千名は國境防備線に配備された、飛行機三臺も近日中に到着する筈、支那軍は之を以て國境を固め步兵四千、砲兵一千で滿洲里、達來諾爾を守備することゝなつた、一方勞農軍はダウリヤに步兵一師、騎兵一旅、アバガイドに步兵一師あり東方に向つて移動しつゝあり

北支領事館員大連に引揚

在支勞農領事館員は本國政府の命

【(寫眞)宇佐美鐵道部長】

先月廿二日大連出發烏鐵との輸送協定のため東部露支國境を通過してハバロフスクに赴き更にチタ方面を視察中水害のため足止めを食ひ一時行方不明を傳へられたが廿九日朝大連入港の諾威貨物船ナガラ號に浦鹽より便乘して無事歸任せる滿鐵宇佐美鐵道部長は懸案の烏鐵協定ロシア人一般の時局に對する空氣並にロシア國內の食糧缺乏說等に就いて左の如く語つた

本月二日ポクラニテナヤ通過浦鹽に赴き二日程同地に滯在してハバロフスクに行き更に八日同地發フラゴエチエンスクに行つたので

極東の勞農各團體反支氣勢を揚ぐ
食糧は豐富て物價等も安定
◇…宇佐美鐵道部長視察談

露支間

國交斷絶は十五日ブラゴエチエンスクを出發してチタに赴く少し前まで全然知らなかつた、烏鐵沿線の水害は昨年に比して本線は被害範圍狹く僅かにブラゴエ支線に故障を生じた位のもので最早殆んど復舊してゐると思ふ、チタ方面では砲車、軍馬其他軍需品が盛に輸送されつゝあるのを見たが一般勞働者、兵士達は今回の支那側の行動に非常にエキサイトされて各種の團體で盛に決議を行ひ

反支の氣勢を揚げてゐ

て幹部連中は慰撫するのに骨を折つてゐた、烏鐵との交渉は總て至極圓滿に進行し調節日の設定、烏鐵公債の値上等の問題は順調に纏めることが出來た、露國內の食糧缺乏說は噂だけで、食糧は各地共相當豐富なのに驚かされた、但しパンは殆んど黑パンのみで白パンは少いが肉類等も浦鹽邊りは冷藏倉庫に行くと五百頭、七百頭と貯藏されてゐる狀態で一般勞働者階級の消費には何等不足せず唯先般日本內地でも實施した如き國家總動員、生産消費管理の訓練を平時より實施してゐるものと解される。

物價も

安定してゐるし日本人に對しては一般に好感を有つて居り、私達は各地方の中央執行委員長、ゲ・ペ・ウの隊長等から非常に歡待された、今回の視察地方の鳥鐵、ザバイカル鐵道共規則的に運轉してをり速力も相當速い、恰度季節が新綠期で廿五日浦鹽驛着迄烏鐵沿線の白樺林、ザバイカルの森林地帶の美しい風光を心行くまで滿喫することが出來た

極東支那領事を監禁の噂傳はる
兩地領事の消息不明

【滿洲里二十八日發電】西伯利イルクツク、チタ、ウエルフネウジンスク各地の支那領事はチタで落ち合ひ今明日中に滿洲里、ハルピン經由歸國の筈であるが、ブラゴエシエチエンスク、ハバロウスクの支那領事は尙消息不明で一說には勞農官憲のため監禁されてゐると

支那公使館前で示威

【ロンドン二十八日發電】約二百餘名の共産主義者本日午後當地の

關東廳實行豫算略、原案通り通過
遞信局、法院方面削減

關東廳實行豫算は略原案通りに通過したが、削減された經費は遞信局、法院方面であつて、金額は一

勞農機發砲
演習と稱し
滿洲里方面で

【ハルビン二十八日發電】滿洲里方面で勞農軍は演習と稱して又復空砲を發射し勞農軍飛行機は露領內に爆彈を投下したと

東北四省の黨務指導委員會
來る九月中に正式成立

【吉林特電二十九日發】奉天における東北四省黨務籌備委員會より當地に達した消息によれば東北四省黨務指導委員會は愈九月中に正式成立することゝなり、中央黨部より任命された吉林省黨務指導委員張心澂、單成儀兩氏は自發的に辭職したが其他の者には異動なく右委員王誠、顧耕野兩氏は本月末奉天より吉林省城に來る豫定であると、因に王、顧兩氏來吉の上は委員張作相氏と協議の上吉林省黨務指導委員會を正式に設置する

事グリコレフ夫妻、同領事館附陸軍武官ガラキン氏夫妻及び漢文秘書官アンドイリジル氏が來連、東公園町の勞農領事館に入り善後策の打合せをなす筈で一行は便船を求め、前に來連せる北平、張家口領事館員と同様海路日本に渡り敦賀より浦鹽に向ふはず

水産會總代會

關東廳水産會に於ては本日午後二時より水産會總代會を開催し追加豫算の變更に就て評議したが、出席者は神田會長、小川副會長、松丸、藤原、井上主事、別府技師及び黎鏡の諸氏である

支那公使館に示威運動をなし更にトラファルガルスクエアーに到つたが何れも警官に解散された

長官會議に列席直ぐ歸つて來る
けふ上京した藤岡警務局長談

藤岡警務局長の上京は一部の者より種々な目をもつて見られてゐるが、廿九日出帆のあめりか丸に泉大連署警務主任同伴乘、市內各警察署長主任級の見送りを受け午ら ホンの廿日許り地方長官會議に出席の爲上京するんだよ勿論歸つてくるさ と簡單にあしらいながら折柄同じく上京する爲乘船した滿鐵文書課長山崎元幹氏と挨拶を交してゐた

人事

定七月一日附で發表した

總裁室業務課 花井 脩治
總裁室 千葉 豐治
地方部庶務課長 市川 健吉
同地方課長 中西 敏憲
同農務課長 平野 正朝
瓦房店地方事務所長 西村 秀治
熊岳城農業實習所長 小原 敬介
興業部農務課長 松島 鑑

▲宇佐美寛爾氏(滿鐵々道部長) 廿九日入港ナガラ號にて浦鹽より歸任
▲伊澤道雄氏(滿鐵々道部涉外課長) 同上
▲森永富二夫氏(滿鐵涉外課員) 同上
▲軍司義男氏(滿鐵哈爾賓事務所庶務課長) 同上
▲剛崎虎雄氏(國際運輸哈爾賓支店長) 同上
▲高畑誠氏(滿鳥共同事務所) 同上
▲宗像金吾氏(成發東主) 同上
▲藤岡兵一氏(關東廳警務局長) 廿九日出帆あめりか丸にて東上
▲泉文三氏(大連署警務主任) 同上
▲山崎元幹氏(滿鐵文書課長) 同上
▲村井啓次郎氏(大連火災保險社長) 同上

馮派要人に復職督促

【上海特電二十九日發】曩に馮、葛藤のため上海に避難してゐた馮派の要人鹿鍾麟、唐悅良、熊斌氏等に對し蔣介石氏より歸京復職方を促して來たので何れも今夜の列車にて南京へ歸ることに決した

市會革新派聲明要旨
市政に關する

大連市會議員中、革新派の今村、大內、岡本、小野、笠原、高橋(へ猪)河內山、有馬、佐多、宮崎、品田の諸氏は廿八日夜市政の現狀に關し聲明を發表した、其要旨は所謂中立三田、立石、眞井三氏より妥協條件として

一、今市會に於て市長の推薦した助役收入役を承認すること
二、恩田熊壽郎氏を議長とすること
三、右二項を條件として石本市長は十一月中に有給市長案を市會に提案すること

を提示し贊成を求められたが協調的交渉に非ざれば贊成し難い、即ち該案により形式的に市長の推薦する(事實は提案者の推薦にかゝると云ふ)助役、收入役を市會に於て承認するは公の形式に於て石本市長に對する信任を表示するものにて一度信任の意を表示せる以上如何なる理由を以て石本氏に其辭任を要求するや又石本市長が十一月を期し有給市長案を提出し其の實現により當然に石本氏の市長たる效力を消滅することありとすれば該妥協案により助役收入役に就任せる人は原則として石本氏と連袂辭任すべく市は僅々數ケ月の在任者に對し尙相當の退職給與を支給せざる可からずとせば市に無用冗費を負擔せしむるものにして市政を愚弄する之より甚だしきは無からん之吾等の贊同し得ないといふのにある。

農業實習所評議員決定

滿鐵熊岳城農業實習所は七月一日から會計を獨立したが同時に評議員規定を設け左の通り評議員を決

大觀小觀

◇ツ伯號飛行船一氣に來飛せんとする折柄、日本では純國産の飛行船が浮んだと喜んで居る。

◇所詮、大人と子供の相違だ。

◇ブ中尉の幸先にケチがついたと云つて喜ぶほど、日本飛行界はケチなものか知ら。

◇大手を擴げて「まあ〳〵」も、芝居の留男なら景氣がよからう。

◇だが質の惡い喧嘩同志は、往々あとで留た奴の惡口を言ふ、下手に渦中に入らぬこと。

◇安協機運動き出し、兩國々境に兵力を集中す、とは一たい什麽ロヂックだ。

◇五十錢の辨當、一圓五十錢の宴會で緊縮節約の徹底を期す。

◇成程貧乏人に取つては夢想だに出來ぬ緊縮節約振りだ。

天氣豫報

三十日(曇り一時晴、東南の風

日出	四、五一
日沒	七、〇八
滿潮前	三、四〇
滿潮後	三、四〇
干潮前	一〇、一〇
干潮後	一〇、三〇

各地の溫度

	十一時	昨日最高
大連	二七、四	三一、〇
旅順	三〇、〇	三〇、三
營口	二八、八	三一、二
奉天	二九、四	三二、九
長春	二八、〇	三一、九

三對二の大接戰で再び覇權は佛國へ

デ盃決戰に米國惜敗

【パリー二十八日發電】デ盃世界庭球爭覇決勝戰第三日シングルスは佛二勝、米一勝の後を受けて頗る緊張裡に開始された、先づ米選手チルデンは佛の驍將ボロトラと接戰の後勝利を得て米佛同點となり、最後の一戰コーシエの奮闘奏功し遂にフランスは又優勝の凱歌を擧げた

チルデン（米）四―六、六―一、六―四、七―五　ボロトラ（佛）

コーシエ（佛）六―一、三―六、六―〇、六―三　ロット（米）

黄鳳岐氏は亡命生存

大阪にゐる

張宗昌氏が山東より一敗地に塗れ大連に逃亡して來た當時同行の軍長黄鳳岐氏は途中長山列島に於て支那東北艦隊に捕はれ銃殺されたとか其後奉天に於て殺されたとか其安否審かでなかつたが去る十八日黄氏部下楊某は黄氏第一夫人と共に青島に行方を探しに行き廿三日歸連したが其傳へる處に依ると黄氏は無事で大阪に亡命したと

聖上陛下還幸

【東京二十九日發電】天皇陛下には明治天皇例祭並に白河天皇八百年式年祭御親拝のため二十九日葉山より宮城へ還幸あらせられた

博義王妃殿下王女を御出産

【東京二十九日發電】伏見宮博義王妃殿下には昨日午後四時二……

酷暑の御難戸締りに御用心

此數日間の殺人的暑さは大連には珍しく夜に入つても風も無く仲々寢付く事も出來ないが夫かあらぬか窓の扉を開けた儘寢たり戸締不用心の家が非常に多く又其を狙ふ竊盜が非常に殖えた

聖徳街三丁目一四一江東三郎氏方に廿七日夜裏口から忍び入つた賊が主人の寢室の枕下にあつた金庫在中の金八圓を竊取逃走し、聖徳街三丁目一四三工業専門學校教授原不知雄氏方に同じく裏口より入込み寢室にあつた蟇口を竊取逃亡した

淺蜊採りで夫婦喧嘩

支人毒を嚥む

市外西山會嘉山屯南沙河口六八大連機械株式會社仕上工王會滿（三〇）は廿七日朝妻王氏と共に星ケ浦海岸に淺蜊漁りに行き歸途夫婦喧嘩を始めたが口惜し紛れに同日午後八時頃自宅に於いて黄燐を嚥下し自殺を圖り苦悶して居る處を家人に發見され王陽街天心病院に擔ぎ込まれた生命に異狀なし

ブ中尉横斷機出發に失敗

滑走中機體ぐらつき兩翼を破壞

【タコマ二十八日發電】ブロムレー中尉の壯途を送るべく飛行場の周圍は數千の人々を以て埋もれ出發を見送つた此の日一天晴れ渡り絶好の飛行日和である午前四時三十五分中尉は破れるが如き歡呼裡に飛行場に現れ機を特別製滑走臺上に据付け傍にトラツクを付けてウオームアツプを開始約一時間を經て五時五十九分愈離陸せんとするや機體は右にぐらつき右翼に機首を地中に突込み右翼はすつかり粉碎されて了つたが中尉は無事であつた、椿事の原因は離陸を容易ならしむる爲め新たに取付けられた機尾の車輪の爲めらしい

出發困難

【東京二十九日發電】落石無電受信に依ればブロムレー中尉は二十九日未明（日本時間午後九時）前……出發出來ぬ模樣である

注文取りを裝ひ盜む

追跡逮捕さる

山東生れ市内西崗子福徳街無職王福興（二二）は二十七日午後六時三十分沙河口大正通市場前長門屋に注文取りの如く裝ひ主人の隙をみて机上にあつた小金庫の中から三十六圓を摑み取り逃走せるを家人に發見され折から警邏中の沙河口署員に逮捕された

尚犯人は同一手段を以て市中各所の店から烟草其他店先の品物を盜んでゐた常習犯なりと

……去る二十五日兩名手を取つて旅順に趣き一泊し二十七日夜歸連したので二十八日夜シズを本署に呼び出し致保護の上近く内地へ送還する事にした

佐田選手の日本新記録

【京都二十九日發電】全日本水上選手權大會京都地方豫選第二日明大佐田選手は四百米突自由型で四分五十八秒六の日本記録を作つた

年增女が狂ひ廻る

內地へ送還

原籍鹿兒島縣肝屬郡高山村字波見無職倉矢シズ（三〇）は同縣姶託郡姶託温泉場で大連薩摩町三六無職永田茂一（三〇）の甘言に乗り今春四月ごろ無料で飛び出し來連したが永田は常盤町鹿兒島旅館につれ込み同夜無理無體に同女を傷付けその後も日本館、鹿兒島館、末廣館、伏見館、薩摩温泉、リリーカフエー等轉々場所を換へて情交を迫つてゐた事實を妻ユキ（三八）が感付いて美濃町派出所に訴出られ淺井巡査の裁きで手切金として、金五十圓をシズに交附し茂一と手を切つた如く見へたが

眞劍な立會

人氣を呼ぶ大相撲二日目

大相撲二日目は朝來薄曇りに風があつて涼しい上に初日の人氣に煽られて氣だち殊に昨日は市中挨拶廻りの爲め朝の稽古場に姿を見せなかつた幕内花形力士連も顏を揃へ熱心に稽古してゐたので、午前の稽古場から賑はつたが、幕下力士は何れも本社優勝旗を目標に稽古場でも互ひにその事で話を持ち切り人氣の中心となつてゐる【寫眞は武ノ里】

◇…世の風潮につれ力士の頭腦も尖鋭化し、總體に手捌きが末梢神經的になつたのは兎も角として、地方巡業の勝敗も本場所の番付に影響するので、各力士の立合ひが眞劍になつたのは頗る好角家を喜ばしてゐる。

◇…今時初つ切りの所謂道外れ相撲でもあるまいに、而も毎日幕内力士玉錦と常陸島の初つ切りをお好みで取らしてゐるが、眞の好角家に取つては氣の毒な感じを起さしむる、但し兩力士の初切ぶりは往年の片輪面、白の峰に勝るとも劣らぬ面白さはある

◇…天龍、武藏山、和歌島など新進花形力士の活躍は非常の人氣だが、一方四本柱に控へた檢査役に常年の大力士名力士の栃木山、兩國、宇都宮などの顏を見るのは、古い好角家に云ひしれぬ懷かしさを感ぜしむるであらう

◇…毎日十六組三十二名の幕下有望力士を選拔し、公平に抽籤で

敵手を組合はせての本社優勝旗爭奪個人決勝戰は、各力士が元氣一杯に力闘する相撲振りの痛快さ以外に、彼等の將來を一般好角家に豫想せしむる品定め方法として、非常の興味を以て迎へられてゐる。

◇…現に初日の五勝一等の榮冠をかち得た武ノ里など、その出足早い俊敏な取口と云ひ、確かに將來の進境を期待させる有望力士だ

◇…五日間眞劍な激戰を戰ひ通して最後の決戰に榮ある優勝旗を獲得する者は果して誰か？

拓大視察團けふ來連

拓殖大學滿鮮北支那視察團一行は小林教授に引率せられ滿鐵沿線及びハルビン方面を視察の後廿九日十二時半大連驛に到着同窓生多數に迎へられ其案内で市内各方面を見學同夜は泰華樓に於ける學友會支部の歡迎會に臨み翌三十日は旅順見學、三十一日再び大連を見學八月一日の船で北平天津視察に向ふ豫定【寫眞は大連驛に到着せる一行】

Z伯號の試驗飛行良好

【フリードリツヒスハーフエン二十八日發】ツエ伯號は本日午前五時四十二分試驗飛行を開始し午後七時無事歸還した、モーターの成績極めて良好でツエ伯號が八月一、二日にアメリカに向け大西洋横斷往復飛行をなすは確實と見られてゐる

洋食店組合組織を請願

無鑑札女給で一悶着を起してゐた大山歐食店組合の洋食部に屬する日本橋食堂の桑島豐彦、青山カフエーの青山正雄、黒猫カフエーの上野、新進三氏は二十九日午前十一時大連署保安係に原田主任を訪問し洋食部のみの獨立した新組合組織を許可して貰ひたいと願ひ出たが原田保安主任から

現在飲食店組合と云ふ立派な組合があるのだからその中より分離して新らしく組合を造る必要は認めない警察では嚴重取締つてゐる心算であるから内輪に問題があつたから洋食部として改善に努めたらよからう

と懇々と諭されて引下つた

白晝四平街に辻强盜現はる

通行人から一千元强奪し追跡の巡査が逮捕

昨二十九日午後二時頃四平街日新街路に二名の支人强盜現れ一通行人より大洋一千元を奪つて逃走したが、急報により追跡した巡査の勇敢な働きの結果、遂に一名を取りおさへ一千元を被害者に返した此の報を得た關東廳にては藤岡警務局長より勇敢敏速を賞するむね打電した

猿廻しに攫はる

支那人の子供

大連入船町一ノ一修理業鍵完の二男齊（七）は二十七日午後一時ごろ實母が食事準備中單獨で遊びに外出しその儘歸らぬので人手を借り八方搜査中、當日乃木町附近に於て齊に似た小供を猿廻しが連れて行つたと云ふ噂あるので或ひは右猿廻しに誘拐されたのではないかと二十九日大連署へ搜査方を願つて來た

運轉手試驗で不正行爲發見

關東廳では二十九日午前八時から大連、水上、小崗子、沙河口各署に於て自動車運轉手試驗を施行したが受驗者二百三十八名、その中大連署の受驗者は九十二名で試驗中本日も支那人受驗者のカンニング事件が發見された

即ち敷島町七七王姉周は受驗答案が滿足にかけぬ處から同人前に着席してゐた加賀町二六呂臺柱に答案を書いて貰つて提出した……

滿倶軍の動靜

目下東京遠征中の中澤滿洲倶樂部監督は嚴父危篤の報に接し急遽歸連の途に就いた、尚かねて氣道はれてゐた芥田選手は二十九日出帆のあめりか丸にて無事出發をした

精勤證授與

沙河口署に於ては三十日午前九時より勤勉事務に優秀なる者に精勤證書ノ授與するが今回は巡査のみで授賞者は左記八名にある

▲田中一夫▲佐藤良吉▲早坂善貞▲金長盛▲西條雄▲塗木益見、▲岡谷公光▲小池金次

今井囑託召喚さる

水産會事件で

關東廳殖産課囑託今井氏は水産會不正事件に連坐するもの如く二十九日大連地方法院より召喚狀を發せられ三十日大連へ出頭を命ぜられた

米野氏送別會

前本社編輯局長米野豐實氏、同總務部長臼井忠雄氏及同整理部長編田彝造氏は何れも不日離連に就き花柳操觚界で三氏の爲め三十日午後六時半よりヤマトホテルに於て送別會を催す筈

物々しいお別れから感傷的な柳樹屯行

彌生高女生の聚落

【上】

潮の香がツンとして鼻が軸で笑つてゐる……例へば漁りたての小魚の樣な潑剌さ、提灯行列の樣な業々しさで彌生高女の柳樹屯聚落一行の出發、通船快進丸の出帆が十分遅れた理由は、この一行のトランク、スーツケース、バスケツトの積込が大掛りであつたからで、そのくせ、それ等の中には千代紙細工の人形が大切に寢かされたり、赤いホオヅキがかくされたりしてゐるに違ひないほど女學生らしい無邪氣で明るい出發だ、チ切れる樣にハンカチがふられて世界一周にでも行く樣な物々しい「お別れ」の一場面がロシヤ町海岸で片附けられしばらくするともう旅愁に襲はれてゐる、一人〳〵が默つて船首に割られて行く海面を眺めて「淋しいわネ」と云つた風の感傷的な面持でキヤラメルをクチヤ〳〵させてゐる、その中身の先に煤煙をホグロの樣に載せた一人が歌を唄ひだしたがそれを切つかけに甲板の上からも船室の中からも、いかめしいキヤプテンの肩越に綺麗な歌が次々にうたわれる、「あらあなた俗歌を歌つて、叱られるわ」「うそよ、俗歌と違ふわ民謡よッ」

◇　◇

こんなわけで實に愉快な氣分の裡に船が進む、いつか海猫市を過ぎ、柳樹屯の港に入る、柳樹屯はまるで日本海岸の船着場と云つた感じで、まことに懐しまれる土地だ

「あれがアンテナであれが軍隊輸送用のライター、一隻に五百噸のものがつめる、そしてあちらの赤い煉瓦建が柳樹屯小學校で皆さんの今日から十日間の起き臥しはそこの講堂で行はれるものである、皆んな忘れ物のない樣に上陸しなさい

迎への鎌田書記に導かれ長い棧橋を渡つて海岸線に沿ひ弧に畫かれた白い道路を宿舍に向ふ何でも珍しい一行は「アラ日本人が居るわ」妙な事まで不思議がる明るい整つた柳樹屯小學校に入り松井同校々長の案内で附近の教會等は殆に陸軍官舍へ女學生は一同講堂に落ちつく、五分も經たないうちに着物に着換へてサバ〳〵した氣持で「先生、書が出したいんですがポストは何處ですか？」濱出校長と講堂を覗きに行つて見ると、矢張女の子は女の子だ、茶碗から箸までキチンと揃へてお菓子の籠まで飾り立てゝある「〇〇さんこれは何ですかね？」「いや な先生ホラこれよ」目の前につき出したのは海水浴用の眞赤なゴム靴……校庭にはアンペラ掛けの炊事場が作られカマドまでがこしらへられてゐる、「衣食住」ちつとも心配がない事になつた……さて彼女等の一日の生活は？モツトーは「規律ある自由」三、四、五年生が炊事係で一、二年生は上級生が却て邪魔になりますから掃除の方にして下さい」との抗議で清潔係を任命【寫眞は女學生の炊事】

夏期大學開講

滿鐵社會課では生物學の權威理學博士駒井卓氏及び支那學の大學文學博士矢野仁一氏を招き七月三十日から八月三日迄協和會館で夏期大學を開催すると尚演題時間等は左の如し

▲遺傳と進化　駒井講師自七月三十日至八月三日午後三時半より

▲滿洲の外交的意義　矢野講師自七月三十日至八月三日午後七時半より

電話線竊取

二十八日午後二時頃より四時四十分頃までの間に於て李石寨、撫順間の指令電話線二百米を竊取事件あり犯人嚴探中

●山葉洋行の祝宴　山葉洋行は昨年五月米國製ビクター蓄音器レコードの代理販賣開始以來一周年に相當しこの間の販賣高は非常なる好成績を收めたので去る二十七日午後二時から星ケ浦星乃家で全滿洲に於ける同蓄音器販賣店主及び其他を招待して之れが祝賀の宴を盛大に開催した

◇…卅一日は土用の丑　昨今の鰻の相場は百匁五十錢から一圓二十錢

◇…甲子園の全國中等學校野球大會を昭和キネマでトーキーに撮影する

◇…廿七日午後五時半頃奉天南市場飲食店張有樹使用人齊某（二七）は氷雪行商人彌生町十河村きよ（假名）が千代田通七番地先にて行商中きよの乳房を握りしめた處きよはてつきりすりだと見て大喧嘩を始め・が丁度そこを通り掛つた彌生町十大平某が仲裁に入り齊が逃げんとするを足にて引掛けて轉倒せしめ頭部を強か打ちつけて人事不省に陷つたので大騷ぎを演じた【奉天】

◇…去る廿四日まで咸興南道地方を襲つた豪雨被害は各所に山崩れを生じた爲め壓死九名、溺死五名、行方不明四名、合計十八名、外に牛二頭馬一頭の斃死を出した旨總督府警務局宛報告があつた【京城】

新活字を採用

八月一日よりの本紙

本紙は常に使用活字の新規補充を行ひ以て印刷の鮮明を期して來たが、現在の七ポイント七五の活字は些か舊態に屬するを以て斷然全部の改鑄を行ひ七ポイント半の新活字と入替ふべく既に二ケ月に亙り準備を進めたる結果、いよ〳〵八月一日の紙面より之を使用することゝなつた。此結果假名付記事面に於て一段につき一行、廣告面行數に於て一段につき三行を增すことゝなる。言ふまでもなく新活字採用後の本紙は一層鮮明なる印刷を以て我愛讀者に見ゆべく、之れ我社が常に變らざる讀者奉仕の一端である

昭和四年七月

滿洲日報社

荊妻靜儀永々病臥の處養生不相叶七月廿八日午後十一時五十分歸幽仕候に付此段御通知申上候也

追而葬祭は途中行列を廢し加茂川町大社教分院に於て執行可仕候尚御花環等御贈與の儀は堅く御辭退申上候也

昭和四年七月廿九日

川上賢三

若林不比等

親戚一同

友人一同

平安異香（64）

栗多默太郎作　中一彌畫

陷穽（一六）

馨が高いと諷せられた御家人の足輕三左衞門は、わざとらしく首を竦めて火桶の上に縮こまる。

相撲は徒の前を搔いあはせてしなやかに立つと、妻戸を細目に開けて耳をつけ、廊下の氣配を窺つて座に戻つた。

何か事態が重大らしいので、三左衞門は思はず前へ口を突出して

「心當り、といふと？」

と急きこんだが、相撲は落付いた女だつた。驚いてはいけませぬよ——まづ眼で見返しておいて靜かに前屈みになると、片手つきになつて右手を火桶の上に、裏に反らせて翳しながら、

「あの怖しげな顔を、私前にも一度見たとがあるのでございます」

「前に——？」

「先頃御方様の御供で福原へ行きましたな、あの時に」

「うむ、まだ十日かそこいらにしかたたない」

「その時ですよ、江口から少しばかり行つた神崎川の堤で、だしぬけに御方様のお乗物に狼藉を働いた曲者があつたのですが」

「初耳だ。そんな事が」

「まあ默つてお聽きなさいませ。まるで手負ひの獸が何かのやうに大暴れに暴れて、私達腕自慢のものが十何人かゝつても手に負へないのです。腕もかなり出來る奴らしいのですが、それよりも身の輕いのが猿のやうで、どうにも困つてしまひました」

「ほう——で？」

「天の祐けとでも申すのか、何處からか礫が飛んで來てその男の額に中つたので、それに怯んで逃げてしまいました。誰か飛礫の出來るものが見物の中にゐて援けてくれたのかも知れませんが、その時の曲者の顔が、土色で荒布のやうな髮で、今夜お湯殿を覗いた顔をそつくりなのです。先刻はお[illegible]を流してゐて、御方様が悲鳴をお擧げになつたので、びつくりして窓を見上た時にチラと見たばかりですが、あんな怖ろしい顔といふものはさう澤山ある筈のものではありませぬ、神崎堤の狼藉者に違ひないことは、私大判を押してもいゝくらゐ——三左樣、何とそんなに考へ込んで……」

「そんな騒ぎのあつたのを、何故早く聞かせなかつたのだな」

「何故だか、御方様がその時きついお口止めをなさつたので」

「なるほど——」

「腑におちぬことばかり——。今夜にしても、あんなにとぼけておゐでだし——。私にしても、曲者を湯殿の窓に見たなどと云つては惡いのでせうが、あなた様にだけお話いたしておいた方がよいかと思つて」

「何か仔細がありさうだな」

「さやうでございますとも」

「今の話だが、その怪異な曲者は御方様に危害を加へようとしたのであらうかな」

「いいえ、それが不思議なのですが、その男が劍を拔きましたのは、私共に取圍まれて、逃げ場を失うた時でございましたよ。御乗物に手がかゝつた時は、たしかに無手のやうでした。それでいろ〳〵考へてゐるのでございますが」

「何か暗い秘密が……」

云ひかけて、ハツとしたやうに口を噤むと、三左衞門はほのかな灯影にたゞずんでゐる屛風の東下りの業平に無心の眼をつけて、

「好事魔多しといふ。惡いことがなければよいがなア」

溜息ともなく呟くと、灯照りをうけた眉のあたりに、深い憂ひの影が漂ふたのは、この人にしては無理からぬこと。假令大義小義の區別のつかぬ無學者の非難があらうとも、敵者の一徹と嗤はれようとも、師輔の忠犬である點では、おそらく家中一の三左衞門だつた。

師輔を喜ばすためには、火中の逆立もするであらう、人を殺し、女の腹を割くであらう、地獄へも歡んで飛込むであらう三左衞門だつた。北の方の上にさす何か不吉らしい黒い影を見ては、深い憂慮に沈んだのは當然だつた。

が、その憂ひに曇つた三左衞門の顔を、上眼使ひに偸み見る侍女相撲の、血を含んだやうな眞紅な唇に、チラと、揶揄するやうな微笑が泛んだのは、日頃嗜みの深い相撲にしてはあるまじきこと。これはどうしたことか——。

映畫と演藝

發聲映畫から探偵映畫再起【中】

最近トーキーといふ新しい映畫的方向が、映畫を視覺から聽覺へ從つて感覺から思考へと誘き出したことに依つて、再び探偵小説の映畫化が新しいトーキーの形を以て再燃し出したやうである。探偵小説の如き思考、推理に依つて組立てられた物語りが單に視覺的表現たる映畫に於て充分活かされることなくして了り、發聲映畫に於て再びその再現が可能になつたことは、一面から見てトーキーそれ自身が從來の映畫に比して如何なる特異の地歩を行くものであるかゞ推察される一證左と見られるが又一方に於てトーキーはその製作課程に於ける制限から、撮影場面の採擇にサイレント映畫などの自由を有せず從つてそれは舞臺劇の領域に退くものであるとの豫想も行はれてゐることゝ共に、尠くともトーキーの取材の方向は、概して舞臺劇的に、從つて多くの映畫的乃至舞臺劇材料に對する適偶性を有するから、探偵小説や怪奇的或は科學的物語が活かされる可能が多くなりつゝあることが肯ける

活氣のある大連映畫界

最近の大連映畫界は近く封切されるマキノの發聲映畫「戻り橋」が各方面から注目されてゐるが、來る卅一日頃映畫關係者を招いて試寫會を催す豫定で發聲映寫装置は本日入港のはるびん丸で到着する、また常設館の映畫陣は浪速館の「東京行進曲」が豫想通り去る廿二日の初日以來野球相撲等に對抗して滿員をつゞけ夏場に珍しい興行成績を示し遂に廿九、卅日と二日間日延べする景氣である、これに刺戟されて近く片岡千惠藏の「火陣」を上映する模様である、帝國館は今廿九日より蒲田特作品島津監督栗島すみ子主演の「浮世小路」を早期上映して依然積極興行に出で花柳界方面の人氣を煽つてゐる、また演藝館はシド、チャプリン主演の「馬車で風切る男」を上映し四十錢興行を續けてゐる

支那の東鐵問題宣傳は米の勞農承認を遲らす

民主黨議員國務卿を訪問し對露支態度に反對

【ワシントン二十八日發電】米國上院民主黨議員キング氏は國務卿スチムソン氏を訪ひ米國々務省の露支問題に對する態度に反對を表明した後、スチムソン氏に對し左の如く述べた

支那は東鐵の監督權を獨占せんとするもので正に所有權の侵害である、支那の宣傳は畢竟米國の對露承認を遲延せしむるものである

勞農飛機模擬爆彈投下

昨朝ボクラ市街上空に現はれ

【ハルビン特電二十九日發電】廿九日午前十一時ボクラ市街上空に入露の勞農飛行機現れ約一千メートルの高さから報告筒及び模擬爆彈約三十箇を投下した、之に對し支那兵は三回に亙つて一齊射擊を爲したが、飛機に何等の損害を與へなかつたらしく、入露と共に翼を連ねて密山方面へ避去した

蒙古、新疆主要地に反露宣傳隊を派遣

約二千名を以て組織

【北平特電二十九日發】信ずべき筋よりの情報によれば張學良、閻錫山兩氏は蒙古語に通ずる支那人より成る反露宣傳隊十隊（一隊約二百名）を編成し蒙古及び新疆省の各主要都市に派遣したと

和平解決の機運益々濃厚の度を加ふ

出來るだけ衝突を避けるべく露支兩軍漸次退く

【ハルビン二十八日發電】支那側の消息に依れば滿洲里國境の露軍はモスクワ政府の命令に依り防備線より後退し、支那軍も奉天當局の命により後退、兩軍は三十五支里の間隔を保ち緩衝地帶を設けて衝突を避けてゐると、尚ボクラニチナヤの支那軍も衝突を避ける爲め後退を開始し露支兩國和平解決の機運は愈濃厚となつて來た

【滿洲里廿八日發電】露軍が國境を越えて支那領に侵入すとの噂あり東鐵は滿洲里後方にて遮斷さるゝ懼れがあるので、支那軍司令部は廿七日夜後方に退却し步兵三千も總退却し之れと交替に廿八日午前八時騎兵二千が到着して守備の配置に就いた

してゐる一方露軍も後退した模樣であるが兩軍の後退は兩國間に和平解決の諒解が成つたものでないかと見られてゐる

戒嚴令を布き防備を固む

メ總領事等引揚げで

【滿洲里二十七日發電】メリニコフ哈爾賓總領事、スミルノフ滿洲里領事が本國へ引揚げた事は東鐵西部線の支那人に多大の衝動を與へ非常な昂奮を來し、二十六日夜來戒嚴令が布かれ各停車場は軍隊で固められ軍馬頻繁に往來し到る處に壕が掘られて興安嶺、海拉爾一帶に砲壘を築造してゐる、興安嶺以西の黑龍軍は滿洲里を第一線として五千、海拉爾を第二線として六千、興安嶺を第三線として五千の支那軍を駐屯し其の他各停車場村落に砲を据え防備の完全を期してゐる

無警察狀態

【ハルビン二十八日發電】本日滿洲里より歸來せる邦人の談に依れば滿洲里は二十七日以來人心の動搖甚だしく支那軍引揚げの結果市內は正に無警察の狀態に陷らんとしてゐる

駐日英國大使我外相訪問

【東京二十九日發電】英國大使チリー氏は二十九日午前十一時外務省に幣原外相を訪問し露支紛爭其後の狀況につき情報を聽取し意見の交換を行ひ正午辭去した

支那人は三千名

ロシア官憲逮捕の

ドイツ領事釋放に奔走す

【ハルビン二十八日發電】勞農官憲のため浦鹽で逮捕された支那人は一千を算し松花江下流にて露軍に拿捕された支那商船は九隻船客は二千名で支那側の損害は三百萬圓と云はれ、獨逸總領事ストベ氏は右の釋放を求むべく浦鹽駐在獨逸總領事と打合せ中である

滿洲里在住民二千に足らず

【滿洲里二十七日發電】滿洲里總人口一萬五千の八割を占める露國人は既に避難し殘るは二千足らずで今朝來又復露國軍侵入の噂高く避難のため停車場に押しかける者引きも切らず大混亂を極めてゐる商店は門戶を鎖し市中は人馬の往來尠からず日本人鮮人百五十四名は日本領事館に籠城してゐる

長春支那側で小麥輸出を禁止

軍用食糧缺乏を憂ひ

【ハルビン特電二十九日發】支那側は軍用食糧缺乏を憂慮する張學良氏の嚴命により廿五日當地方に防穀令を布き小麥の輸出を一切禁止するに至つたゝめ當地交易所小麥相場本日十錢方下り八月先物一圓九十四錢に寄付いた

勞働爭議

漸增の傾向

【東京二十八日發電】勞働爭議は不景氣以來漸減步調を執つてゐたが昨年下半期に稍增加の趨勢を示し本年上半期一月より六月迄は更に增加して爭議件數四百八十五件參加人員六千餘人となつてゐる、之等は何れも思想的背景よりも消極的な經濟的原因に因るもの多く單なる待遇條件の要求が大部分を占めてゐる

滿洲里居留邦人民會に籠城

【長春特電二十八日發】滿洲里より歸來せる者の談によれば引揚げたメリニコフ總領事の引揚後は案外平穩にて僅に示威宣傳を爲すのみであるので、居留邦人は民會に於て一ケ月分の食糧を用意し萬一の場合まで籠城することゝなつた、市內はそろ〳〵店を開き初めたものもあると

恩田新市會議長と助役、收入役選擧

臨時閣議開會

重要問題多く

【東京二十九日發電】政府は暑中休暇中の閣議は每週一回火曜日に開くことゝしてゐたが、目下植民地長官の更迭に地方長官會議等重要問題を控へてゐるので特に來る二日の金曜日にも之を開くことに決定した

戰爭の方法に關する國際條約調印さる

赤十字協約改訂と捕虜取扱ひ規定

調印國三十六ケ國

【ゼネヴア二十八日發電】不戰條約が効力を發したと時を同じふして二つの重大なる國際條約がゼネヴアで調印された、調印國三十六ケ國で兩條約とも戰爭の方法に關する規定で一は赤十字協約の改訂で他は捕虜取り扱ひの規定である

失業救濟と就職不能者救護

◇—現內閣の社會政策

【東京廿八日發電】現內閣の聲明する三大政策中の社會政策の具體案に就いては內務當局に於て種々考究中であるが、安達內相は社會政策の革新は今日の現狀よりせば失業對策問題にありとして失業對策委員會を設置する事となつた、而して應急的對策としては失業救濟土木事業を起し積極的就職の途を講じ、恒久的には職業紹介所の完備を圖り勞働需給關係の調節を圓滑ならしめ又失業統計を完全ならしめ將來の失業對策を合理的ならしめんと期してゐる、一方消極的には老幼、姙產婦、不具者、傷病人等肉體的就職不能者の生活保護としての救護法は前內閣の手で成り來年度より實施の筈で經費も八百萬圓となつて居り經常費節減の折柄其の生命は危ぶまれてゐるが、安達內相は幾分經費を節約するとも是非來年度より實施しようとの意氣を持つて居る

豫想だにしなかつた列車中の大談判

廿四日ハルビンにおいて

第二信 武田南陽

◇支那軍隊に埋もれた廟型の建物、双城堡驛に第一信を投じて緊張し切つた數時間を過ごしハルビン驛に下車すると、そこには又思ひがけぬ大痛棒が私を待ち設けてゐた、小此木支社長から渡された一通の電報が即ちそれである。

長春支局の神藏君から「長春驛で張作相、メリニコフ會見し談判破裂の模樣、張は吉林へメはハルビンへ引かへした」とある、長春驛頭回避線にメリニコフ氏を見、鐵守使李桂林氏から八時半の急行で大連に行くだらうと聞かされた私は時の大立物張作相氏が奉天から來やうなどとは勿論思つても見ない、況んやあのデヨコナンと取りのこされたやうな回避線上の列車內で廟頭の大談判がオッ始まらうなどといふことに於ておやである。◇

だが、哈爾賓の人たちは私よりも尚暢氣千萬である、といふのは驛頭に會つた人たちはメ氏が長春に行つたことをさへ半信半疑である、私宛の右の電報を開封して領事館、滿鐵などへ傳へたそうだつたが誰も殆ど相手にせず「今朝某書記生が露西亞領事館にメ氏を訪問して代理と會つたがメ氏は居ると言つた」といふ言葉の方が確信されてゐる程だつた、現にメ氏の顏、メ氏の乘つてゐた箱を目擊して來た私の證言によつて初めて長春に行つてゐることが信じられかけた程だつた。◇

といふと哈爾賓の人たちは甚だ暢氣に見えるが實は今日までメ氏の身邊についての報道が數回號外となつて市中に配達された程メ氏の消息は露國總領事館に封じ込まれた儘外間にもれなかつたものらしい、殊にメ氏は支那側から監禁の狀態におかれてゐるのであるから支那側一流のやり方でとても「新聞記者」や「外國官吏」等にやすやすと會はせる筈がない、極度に尖銳化した神經の新聞記者や外交官連が見洩す程うまくメ氏を哈爾賓からつれ出して、長春で奉天から來る張作相氏との重要談判をさせることに成功したのは哈爾賓の人たちが凡職でしたのではなく見つけ出し得なかつたのではなく斯うしたことに慣れ過ぎてゐる支那側の手の巧さからである。◇

長春に於ける談判が何うなつたかは判らないが神藏君の電報によるとメ氏は私のあとの列車で「監禁の儘」歸つてくることになるであらうと思はれる何となれば哈爾賓驛頭に於ける諸君の話を綜合するとメ氏にしても理事のチルキン氏等にしても支那側が監禁して居るのは一、ペチヤンコになりそうに考へた露西亞側が案外強硬であり、世界の論調がどうも露西亞側に軍配をあげそうなので出來得るなれば——外面強く言つてゐても——今の駐哈外交官と理事との間で話をまとめたいと思つてゐること二、若しそれが不可能なら露西亞が本案の交渉代表として派遣して今チタあたりに引懸つてゐるセ氏をメ氏チ氏等をオトリとして引きよせ哈爾賓を交渉の場所としたい下心からであらうとの二つの目的からだと見てゐるやうである。◇

だが支那側の描いてゐるやうに事がうまく運ぶかどうか、露西亞の人は殊に赤系の人たちは支那が日本の外交官を相手にして來たやうに生眞面目であり何時も思ふ壺にはまつてくれるかどうか。

北滿の空梅雨

ブリアン氏組閣危機を切り拔く

現閣員全部を繼承

【パリー二十九日發電】ブリアン外相が大命を受けて內閣を組織せんとするや直に改造難に當面し內閣組織の暗礁に乘り上んとしたが、現內閣を其儘繼承する事として危機を切り拔け得た即ちブリアン氏は首相外相を兼務し他は全部留任とし今秋の總選擧後改造をなす筈

ブリアン氏聲明

【パリー二十八日發電】組閣の命を受けたブリアン氏は今夕ヅーメルグ大統領を訪ひ熟議し退出後左の如く發表した

余は二十九日各政黨首領と相談し同日夕刻までには組閣を終へる見込みである

明年度豫算十六億圓內外に

大藏省では止めたい意向

概算出揃は八月廿日頃か

【東京二十八日發電】昭和四年度豫算提出期は八月十日となつてゐるが實行豫算編成に手間取り各省とも漸く之から調査に着手する狀態であるので出揃ふのは二十日頃となるであらうと見られ、大藏省は成るべく十六億圓內外に止め度いと希望してゐる、即ち前內閣の財政計畫に依る明年度歲出總額は十六億七千萬圓中歲出方面では

一、新規公債八千五百萬圓

一、租稅其の他收入見積り……

出方面では

一、新事業不承認

一、實行豫算にて繰り延べのは全部明年度以降に繰……

一、既定經費の節減

一、繼續費の節減又は繰り……

を行ふ可きため歲入缺陷……及ぶべきも二年度剩餘金……圓、三年度同三千萬圓實行……入確定に依る剩餘金繰入れ……三千四百萬圓で財源難緩和……の見込みである

滿洲獨立守備隊愈よ增設に決定す

本年末着手し昭和六年末完成

增置部隊步兵二大隊

【東京二十八日發電】白川陸相時代に計畫された滿洲獨立守備隊增設は未だ着手されてゐなかつた爲め今回の實行豫算編成に際し削減を憂慮されたが宇垣陸相の努力に依り愈左の如く實現する事に決定した

一、着手期、本年十二月

一、完成期、昭和六年十二月

一、增設地、鐵嶺及び鞍山（豫定）

一、增設部隊、步兵二箇大隊（八箇中隊）約一千八百名

尚八月一日の定期異動に際し大隊長二名、大隊副官二名、中隊長小隊長各八名を補任して增設準備に當らしむる筈である、而して右二個大隊增設に依り獨立守備隊は兵力約五千三百名、之れに滿洲駐劄師團約六千名を加へ我在滿常駐部隊は約一萬三千名に達する事となつた

大連市會議長と助役收入役決定

廿九日市會で選擧

大連市會は二十九日開かれ市會議長及助役收入役を左の如く……

安田銀行人事異動

配當は年九步

勞働組合法諮問事項

卅日に正式決定

鐵道省實行豫算編成に着手

畑無產群馬縣議政友會に入黨

建築規則改正要點

警察の權限擴張

畑司令官

きのふ新任挨拶

畑軍司令官の歡迎會

教育會記念事業協議

滿洲日報

ジレンマに立つ東北政權

南京發電によれば、支那の南京政府は東支鐵道問題を中心とする露支事件に對しアメリカの調停に應ずる事になつたと云ふが、親米主義の現在の南京政府として、蓋し有り得べきことゝ考へられる。若しいよ〱此の事件にアメリカが乘出すことになれば、滿蒙問題に同國の發言權を深める結果となるから、我國としては之れに深甚の考慮を拂はねばならないが、更に考慮を要する點は、之がために東北四省に對する南京政府の勢力がいやが上にも增大し、東北政權の實力が大いに弱められるであらうと云ふ事である。

◇

此點は東北政權の首腦者も氣付いて居るらしく、東北政權とロシア當局との直接交渉によつて問題を解決すべしとの情報が一方に傳へられるのは、露支事件に第三國の容喙を欲せぬと云ふよりも、之れに伴ふ南京政府とその與黨の勢力侵入を恐れてゐる爲めではあるまい乎。吾等は東北政權首腦者のこの心事を諒とするものである。併しながら斯やうな結果を餘儀なくされるものは、表面的にもせよ、東北政權が南京政府に合流して外交權までも熨斗を附けて進上したからで、つまりは自業自得といふべきものであらう。此の危機を脱出する唯一無二の手段としては、アメリカの居中調停の手が伸びて來ない前、東北政權よりロシア當局に和平解決の誠意を披瀝し、一刻も速かに直接交渉の端を啓く事である。

◇

アメリカ國務卿チスムソン氏の意見なりと云ふによれば、合衆國政府はロシアに同情を有つて居り、支那が暴力を以て盜んだ品物をロシアに返却するのが兩國妥協の先決問題である、といふ事になる。南京政府が東支鐵道を事件發生前の狀態に復歸する條件として合衆國政府の調停に應ずると云ふ報道があるのは、支那がこのアメリカ合衆國政府當路の意嚮を知つたからであらうと思ふが、斯うしたアトモスフイアから言つても、露支事件に對する東北政權の立場は苦しくなるに相違ない。この苦しい立場から免れやうと思ふならば、幾何か面子を汚がす事にならうとも、東北政權はロシア當局に直接交渉の誠意ある旨を告げ、東支鐵道を一先づ原形に復する決心を以て、一刻も速かに和平解決の緒口を切り、東北政權の實力をます〱弱めるやうな事態を生ぜしめぬ用心が肝要であらうと思ふ。

◇

東北政權が外交權を南京政府に移讓したのは、對日外交の煩累を避ける爲めの一方便であつたと云つても、敢て過言ではあるまい。その結果、東支鐵道問題についても一々南京政府の指揮を仰ぐやうになり、東支鐵道に對するクーデター的暴力行爲も、南京政府の命令に基づいて爲した事であると吹聽したのであらうが、忌憚なく云へば、東北政權の此くの如き不透明なる右手は、自ら墓穴を掘るに等しい行爲である。[illegible]東支鐵道問題を中心とする露支事件にアメリカの手が加はる事になれば、否でも應でも、盜んだ品物の東支鐵道をロシアに返還せねばならぬ事になり、いかに赤化防止を唱えても、他の共鳴を贏ち得ず、東北政權の面目は丸潰れとなるであらう。

◇

以上は吾等の觀るところを率直に述べたのであるが、此のジレンマを東北政權がいかに乘切るかは、此種の問題にも無關心なる能はざる我國の當に注意すべき事である。若しそれ東支鐵道問題を中心とする露支事件のために滿蒙の國際關係が一層デリケートになる事もあらば、滿蒙に特殊の利害關係を有する我國として、別に考慮を要すること勿論であり、或は機宜の措置を執らねばならぬ結果となるかも知れない。東北政權の首腦たる者、若し翻然として悟るところあらば、暗黑より光明に轉ずる事が出來るだらう。

訂正 廿八日附の「海外への積極的進取政策」中六行目「なる事業までも」は「なる事業まで」の誤まり廿一行目「資源の貧弱なる日本國民だけ」は「……日本國だけ」の誤まり

浦鹽の共産黨大會に 滿洲各地より出席
工人を充分に取締れ
東北邊防總司令官公署から訓令

【吉林】吉林省政府は最近東北邊防總司令官公署より左の如き訓令に接した

第三國際共産黨主催の下に全亞細亞洲勞働代表大會を八月一日より浦鹽に於て開催する豫定にて東北省內の各共産黨支部宛參會方通告して居るが其最要の目的は日支鮮勞働者の團結を謀り階級鬪爭を挑撥して世界革命を推進せんとするに在り、先づ滿蒙農工の「組黨運動」及「工農組合運動」に全力を傾注すべく其所謂「組黨運動」とは赤色恐怖主義の共産黨を組織し「工農組合運動」は即ち「ソウエート」を單位とする工會農會の組織是れなり、而して今回の大會は地勢の險要、人口の基數に按じて選派せしむる規定にして今第三國際共産黨に於て內定せる東三省の代表は遼寧省城五名、吉林三名、黑龍江三名、旅順、大連五名の外安東、營口等各重要地よりも均しく代表を選派することゝなつて居る尚亞細亞洲各國民族の下層階級は一律に代表を選派するの資格を有する、但し諸代表は悉く共産黨各地黨部に於て選定したものに限る、故に本代表大會は八一亞洲勞働代表大會と稱するも其實亞洲共産黨代表大會であるから各軍、政兩公署は所屬文武長官に分電して嚴重防範に努め殊に產業及び生產各機關に對しては殊に慎重に內偵し若し請假半月以上に及ぶ工人にして浦鹽方面に赴きたる形跡あるものは直ちに逮捕懲辦し以て東北省に於ける共產黨の禍根を絕滅することに努力せよ

吉林省政府は右訓令に基き直に管內の警務各機關に通令したと

我官憲の面目上 徹底解決を圖る
尾崎署長の決意固し
沖巡査不法拘禁事件

【安義】二十五日夕刻日支境界に於ける支那官憲の沖巡査不法拘禁事件に關しては、武裝を整へての安東署全員の嚴談により同夜十一時過ぎ鮑公安局長代理姜督長は沖巡査を安東署に送り屆け

遺憾の意を表するに至

つたが、尾崎署長は

一、支那側は本事件に關係ある巡警及民衆等犯人を嚴重處罰すること
一、支那側は今回の暴行事件に關し誠意ある陳謝をなすこと

の條件を附して一先づ引取りの承諾を受諾したものである、而して支那側としては實際の狀況を更に實地檢證したる上何分の方法を講ずべきを約し本事件解決に努むべしといつてゐるが、兎に角老獪なる支那側の事であるから果して衷心より素直に謝罪し來るが如きは疑問の存する所であり、現に二十六日中には

何等の回答に接するを

得なかつたから種々障柄を設けて有耶無耶に葬らんとする魂膽ではないかと觀られてゐる、右に關し尾崎署長は語る

支那側今回の暴狀は眞に日本官憲の威信面目に關すること甚大なるものがあり、日本の面目に對しても如何に善處せんとするや誠意ある回答を要求してゐるのです、萬一支那側として種々障

一行三十六名 無事自國領に入る
邦人旅客も國境通過

【哈爾賓】當地支那側との最後的交渉の結果を持つたまゝ二十五日午後六時三十五分發列車で莫斯科へ向け哈爾賓驛頭を去つたメリニコフ當地勞農總領事は二十六日午後七時二十五分滿洲里着同九時二十五分同地發無事蘇聯領土內の人となつた、滿洲里ではスミルノフ同地勞農領事及び後貝加爾鐵道代表等八名も加はり一行は三十六名となつた、尚同列車に乘り込んでゐた歐洲行の邦人旅客十二名も同じく無事國境を通過したと、又右列車はそのまゝ齊多まで運轉し同地に立往生中の歐亞連絡旅客及莫斯科から引揚げの途にある支那代表等を收容して引返すことになつてゐる

引き揚げた勞農側要人

【哈爾賓】二十五日午後六時三十五分發列車で莫斯科へ引あげた當地勞農側要人はメリニコフ、チルキン兩氏の外イズマイロフ東支理事、同監事ワヂユーラ及び理事會秘書カホフスキーの諸氏があつた尚現在まで引揚を了した在支勞農領事館は北平、天津、張家口、奉天、哈爾賓、齊々哈爾、ポクラニーチナヤ、滿洲里の各地である

エムシャノフ 莫斯科に歸着

【哈爾賓】莫斯科よりの消息によるとさきに支那官憲から國外退去を要求された前東支管理局長エムシャノフ氏及び同副管理局長エイスモンド氏は二十一日交通委員會代表商業機關及び職業組合代表等多數に出迎へられ無事同地へ歸着したと

ところがあるので一部では眞面目に信じてゐる者もある模樣である

哈爾賓の勞農總領事館
獨逸領事監督の下に殘務整理

【哈爾賓】二十五日メリニコフ勞農總領事の本國引き揚げと同時に赤色勞農旗が引き下された當地新市街吉林街の總領事館內にはたゞ僅かに五名の下級館員が留守居し獨逸領事ストッペ氏監督の下に殘務を整理しつゝあると

蔡交涉員赴奉

【哈爾賓】蔡交涉員は二十五日メリニコフ勞農總領事の出發を見送り即夜二十二時四十分發列車で赴奉したが、右はメ氏出發前後の事情を張學良氏に詳細報告のためであると

白系露人の暗殺團
赤派を狙ふ

【哈爾賓】當地の白系露人は多年仇敵視してゐた勞農系露人が支那側の彈壓を受け一擧にしてその勢力を顚へされたのを見て狂喜してゐるが、傳へらるゝところによれば彼等のうち元軍籍にあつたもの等は既に時局前から密かに共產黨員暗殺團を組織し主なる共產黨員のリストを作つてその機をうかゞつてゐたとの噂があり、更に來る八月一日の國際赤色デーに東支鐵道露國側從業員が若し傳へらるゝが如く總罷業を決行すれば直に罷業從事員の暗殺を開始する計畫があると

クズネツオフ氏

【哈爾賓】東支鐵道建設の偉勳者の一人であるペイ、クズネツオフ氏は廿四日晚心臟麻痺にて自宅で長逝した享年五十六、氏は東鐵建設當時有名なユーゴーウイッチ技師とゝもに來哈同鐵道の敷設に努力したもので其の後一九二四年まで東鐵本社理事の職にあつた

檢擧共產黨員の 不安と憤慨
要人等に取り殘されて

【哈爾賓】さきに勞農總領事館から檢擧された共產黨員三十九名はいま尚支那高等法院で取調中であるが、メリニコフ總領事及びチルキン東支副理事長などの當地勞農要人が全部引揚げて終つたので自分等の前途につき少からず焦慮してゐるが、中にはメ氏等が彼等を取り殘したことに憤慨し今まで隱匿してゐた秘密全部を支那官憲に暴露すべしと敦圍ひてゐるものもあると

海拉爾にて 共產黨員逮捕

【哈爾賓】二十五日晚海拉爾から九名の共產黨員が支那官憲のため護送されて來たが、右は何れも東鐵從業員で同地で罷業を計畫中逮捕されたものであると

職業同盟本部の嚴命

【哈爾賓】莫斯科の職業同盟本部は當地に殘留してゐる東支勞農籍從業員に對し本月二十九日より三日間內に總ての職を離れて北滿より立ち去ることを嚴命し來つたと傳へられてゐるが、既報八月一日の國際赤色デーにおける東支露國從業員の總罷業決行說と一致する

外蒙官憲の 反支的行動
時局紛糾に乘じて

【哈爾賓】從來から支那側に對し極度の反感を抱いてゐる外蒙官憲は露支の時局紛糾に乘じ種々反支的行動に出てゐるが、二十一日支那人の經營にかゝる張家口、庫倫間の乘合自動車約八十臺を稅金未納の口實の下に押へ、且つ同地方から支那側への通信を嚴重に檢閱し事の外部に洩れるのを阻止してゐると

露支問題は 和平解決か
スキデルスキー氏語る

【吉林】露支合辦穆稜煤礦公司の露人側代表スキデルスキー氏は事業上に關し吉林省政府農礦廳と折衝の爲めと稱し吉林に來り目下名古屋旅館に滯在中であるが、今回の露支時局に關し同氏の所見を叩けば

支那側が武力的に東支鐵道を回收したことは甚だ不當である、さりとて勞農側は武力の點では支那より數等優越して居るとは言へ現下の如く財政經濟が窮迫して居り又極東に於ける食糧缺乏すら救濟し得ず人民が食ふや食はずでは戰爭を厭ふことは當然である、一方支那側にしても武力に何等自信なくして今回の擧動に出たことは甚だ輕率であつた恐らく戰爭にはなるまい、其中何とか和平手段で解決するであらうと確信する

內地遠征便り(一)
京都からの第一信(一)
滿洲教專陸上部主將 柏木寶丸

◇七月一日 滿專軍の頭鐵であり、滿洲投擲界のピカ一であつた川野君は、不幸病魔に襲はれて病床に呻吟する身になつた、選手及應援團の失望落膽は非常なもので秋に延期しやう川野の恢復を待たう、とは同窓及學校側が異口同音に唱へた結論であつた。それが爲に選手間にも延期說と決行說の二派を生じて面白くない空氣の流れさへ生じた。時に岡部先生からの電報が來た「上京せよ勝敗に關せず」と、そこで乘り出した船だ、張り切つた帆だ、川野の居ない位は一同の意氣でとりかへさう。

◇同五日 から約一週間星ケ浦の溫泉ホテルで最後の練習合宿をやつた。其の間選手のコーチに盡力下さつた伴出兄、岡兄、鶴田兄、南部兄、濱田兄、永谷兄に對しては言ひ盡されない感謝をしてゐる。

◇同十一日 ウラル丸にて大連出帆、平常子供の樣に可愛がつて下さる保々地方部長、埠頭の階上に歸前後の忙しい身體を運んで下さつた齋藤先生、及諸先輩諸兄の姿がうすれ行く時私達は大海原に向つて誓つたのだ、どんな困難があらうとも必ず勝つと。船は搖れた。前後に大うねりを打つて、陸上の猛者共も、大連出帆一時間後には顏面蒼白になつて身動きも出來なくなつた「汽車にすれば良かつた」と誰れが言ひ出すともなくこんな聲さへ聞く樣になつた。夕食も食へない、寢れもしない一夜が明けた。海は益々荒れてゐる、皆參つた。誰れも起きることさへ出來ない。船は[illegible]ゆれて來る。

◇同十三日 午後二時下關着。先年の陸上部主將田邊君と西君が向へてくれた「おい二日分の食事をやらうぜ」と一同大喜びで上陸、船から解放された元氣で下關から門司まで一廻りした。五時出帆、神戶に向ふ。風光明媚な瀨戶の浦の若綠、綠嶼、綠水が、荒い滿洲の沙漠に見馴れた心を變化させ和げてくれる。

滿日地方版

奉天

新舊交換機の切換見事に終る
二十八日の午前一時 自働電話が開通

既電の如く數年來奉天市民が切望してゐた自働式電話は二十八日午前一時開通したが、同夜は零時半來賓として櫻井遞信局長、日下部工務課長、庵谷會頭、高橋奉天取引所長、立川奉天署警視、富村、三谷兩副會頭、沼總領事代理その他新聞社關係者多數の參列あり、來賓控室に於て係員の自働電話に關する說明あり、一方作業員は夫々係の場所に入場し續いで五十分交換室に入る、五十五分となるや作業員は全部用意を整へその間舊交換室と時間の聯絡を取るため電話で時を知らせる四分、三分、二分、一分、四十秒、卅秒、廿秒、十秒と切換の時間が愈々迫り正一時となるや櫻井遞信局長の命令によつて舊局の交換器は僅一分間で切斷され直に新局交換器に接續されたのである、その機敏なること今更の如く驚かされたがこの接續が終るか終らぬ間に交換器は盛に働いてゐる、云ふまでもなく加入者の方で待ち構へてゐて使用されたのである、かくして新舊交換器の切斷接續が見事に終り來賓一同は八臺の試驗電話器を使用して試驗通話を試みる、一時半開通の祝賀宴に移り野原局長、櫻井遞信局長、庵谷會頭等はこの自働式電話器が實現するまでの苦心努力を陳述し、且つ開通の喜びを共にして二時過ぎ芽出度く散會した

住宅地の餘地がない
心細くなつた附屬地

奉天附屬地に於ける住宅は最近二時に建設され本年の百卅三戶を建設すれば住宅地は全くなくなる心細い狀態となつたが、之につき安部地方事務所地方係主任は語る

現在では店舖向建設地として**三千坪**を除く外住宅建設地は本年で全くなくなるので明年は住宅は建設出來ぬ譯である併し建設せられぬといふのでそのまゝにしては置かれぬから商埠地の六十萬坪、十間房の三萬坪等を何とか早く解決して利用せなければならぬ、南方一帶の買收地は埋立が終つても地盤が軟弱であるから一、二年間は家屋の建築は出來ぬ、そこでどうしても前記の場所を早く解決しなければならぬのであるが、若しその解決が暇取るやうであれば南五條通以南の商業地域の一部を商住混合地域に當ることゝなるうがそれは最後の手段によるものである、元來從來の附屬地は商業地區が餘り廣すぎて住宅地が狹隘なるためかやうな**狀態に**陷つたわけであるが、商業地域內の住宅その他を改修築すれば現在の收容力の……

スポンヂ野球大會
第一日の成績

第七回全奉天スポンヂ野球……第一日は廿八日午前九時か……グラウンド並に舊グラウンドで擧行された、が第一回戰……度對鐵事で六對二で鐵事勝……フセット勝ち、驛友は十五A對四……セット勝ち、北斗對SMは……一でSM勝ち、電友對城……A對八で電友勝ち、電友對……は七對三で電友勝ち、鮮銀……セットは一對零でオフセッ……つた

全奉スポンヂ野球大會

全奉天スポンヂ野球大會は……から醫大グラウンドに於て……れることになつたので廿六……七時から野田運動具店に於……會議を開いた

二人組强盗白晝押入る
失敗して逃走

市內平安通七片桐寅八郎經……間房雨替店心平銀號方に廿……後一時といふ白晝拳銃を所……二人組の强盗押入り脅迫の……を强要したが家人に騷ぎ立……一物も得ず逃走した、目下……搜中である

惡樓主
戒めらる

柳町いろは樓抱藝妓桃葉は……疾で滿鐵病院に入院治療中……病を併發したのでサルバル……注射を行つた、しかし花柳……療費五十五圓は樓主側でそ……を支拂ふことになつてゐる……らず桃葉が入院中その治療……た事は一向知らなかつたと……苦界に沈めてゐる抱妓に少……不正の負擔をさせてゐる……由で之を拒絕したことから……る事が判り直に樓主につい……をとりその不心得を嚴く說諭……議金を支拂はしめることゝし……へるため柳町料理店主が二十……日午後餘興打合せるの爲に會合……機會に同席を借りて一場の……をなした

動物園行脚

……らないのである、たゞ歷史に信じられてゐる不幸者である

◇

……の毛皮だけはどうしたものか……から好かれる、一日の食料は……が四百目平均で、ソロリ、ソ……穴の中から這ひ出て來る……

◇

……旅順官……內に神變不思議の靈術をもつ……にても檻のうちに入れられと……暑さでは少々弱つてゐること……十三年百圓で身賣して來た……狐である

小學教員を强盗襲ふ
傷けて强奪

廿日午後三時頃本溪湖牛心臺……距る約二里餘の中歲子大嶺に强盗現はれ通行中の小學校教員王某に拳銃を發射し左股部に貫通銃創を負はせ、現大洋四十元及び衣類等を强奪し北方山林中に逃走した、被害者は廿三日奉天滿鐵病院に入院せしめ目下手當中である

十五萬を突破す
二十八日の通話數

……後の自働式電話成績は良好で……は勿論加入者も滿足し謝意を……てゐる、何分開通當初のこと……入者側の通話回數は交換器の……ーズは飛びレコード板には記……れぬ程多數に上り、昨年時局……日十五萬通話が最大多數であ……が廿八日は一日十五萬通話を……した有樣で、內地における自……話開通直後と云つてもかやう……はなかつたといふ程である、……局では廿八日舊電話線を切……廿九日この電話器の取外しに……

苦力の殉職

山東省生れ國際運輸奉天支店の貨物積卸苦力李乘（三七）は廿八日午前十時頃奉天驛構內貨物六番線で積卸作業中貨車と貨車との間に挾まれ胸部を挫折して即死した、奉天署では直に檢視を行ひ死體は會社に引渡した

家出夫婦捕まる

……岡縣安東四番通三丁目……誠雄（三二）はその妻絹江（二七）と……無斷家出し、大連に赴く途……東屯驛に於て取押へられ奉天……れかへされその不心得を說諭……たうへ安東まで送られたが、家出の原因は義兄と意見衝突し家庭の風波絕える暇がなかつた結果によるもので內には妻の母きみ（……）が置去りにしてあつたと

故森山氏追悼會

廿六日故前滿日社長森山守次氏の初七日忌當日奉天では原口聞一氏その他在奉知人有志主催で午後四時から瑞華寺で嚴肅な追弔法會を營んだ

人事

▲川邊奉天鐵道事務所工務長　廿八日大連より歸奉
▲森岡正平氏（奉天領事）　奉天に在勤を命ぜられた同氏は來月十日頃着任の筈
▲櫻井遞信局長　廿八日夜歸旅
▲佐原盛京時報社長　廿八日安奉線急行にて東上
▲畑中將（新任關東軍司令官）　新任挨拶のため八月三日來奉の筈
▲マックスリンデフル氏（獨逸領東課長）　廿八日安奉線急行にて來奉

旅順スケッチ
（六）河野青陶
ロシヤ墓地

アカシヤの四角い森の一部屋に勇ましき露兵の永久のベツドが並んでゐる、墓地の中程に四メートルもある大理石の記念塔が（埋）聳えクリストのモザイツク（石繪畫）が金、藍、朱色で塔の下半身を飾つてゐる、墓標は花崗岩、コンクリート、大理石、金屬製等で型は多種多樣あり、體が大きい丈け露人の墓も赤大型である。

安東

南行託送手荷物特別檢査を開始
八月一日から稅關で

……稅關支所では今般檢關に依る……の運發防止及び旅客の利便……ある爲め南行託送手荷物の特……扱ひを初めることゝし、來……一日からは從來の發車時刻……査の外に每日十四時から十……までの二時間を特に特別稅關……刻として檢査する筈である通關に際しては左記諸件には注意されたしと

一、阿片、モヒ其他禁制品を絕對に託送手荷物中に入れぬこと
二、煙草を入れておくと假令五十本入れても乘車券に印をつけるか乘る際錢餘の五十本を持ち込み手荷物として乘り度いと云つても許されないから煙草は絕對に入れぬ樣にすること
三、絹紬その他有稅品は所定の稅金の支拂を要すること

尙右特別檢査開始後は發車十五分前以後のものは次の列車に廻してもよいことになつてゐるから出來るだけ早く持ち込まれたいと

平北奧地の出水
被害が少くない模樣

平北奧地の降雨旺にて各地出水其の被害少からぬ模樣にて、二十七日午前迄に道廳に達した報告に依れば左の如くである

義州――二十四日のの降雨の爲め雨量一〇四ミリを示し九龍浦に於ける鴨綠江の水位は刻々增水二十七日午前零時には七五五メートルに達し義州――清城鎭の道路は流失、浸水の箇戶多く二十三日以來交通は杜絕した

寧邊――二十三日から二十五日迄の降雨量一四九、四ミリで九龍江、淸川江何れも增水二十三日以來价川より奧地行き交通杜絕

昌城――二十六日午後四時鴨綠江岸量水標水位は八、〇九メートルに達し私倉里附近及び碧潼邑內入口碧潼橋上に約七尺の冠水し忠滿江にも增水し昌城、楚山間も亦二十三日以來交通杜絕するに至つた

其の他江界、慈城、厚昌等何れも一三〇ミリ以上の豪雨あり、赤禿嶺江出水の爲め前川、江界間及江界、滿浦鎭間の道路の決潰流失數十箇所に達し、各地への交通全く杜絕極力復舊に努力して居るが相當時日を要する見込である、其の他各地の被害も多き模樣である

……て本多裁判長、文一、杉南陪席本島檢事立會、李卓、崔三辯護士出廷の下に開廷されたが、當地發生の事件のことゝて歸省學生を始め親戚知己等の傍聽人溢るゝばかり殊に婦人の傍聽が多數なりしは人目を惹いた、先づ證人金淳根、姜得祿、裴俊金、景瑞諸氏の順序で行はれた、證人中裴道俊氏（高等係、思想係）及創立大會に於ける議長金景瑞氏については裁判長は詳細なる訊問を行ひ、署長に提出した大會報告書を取寄せることゝなり二時閉廷した、次回公判は八月七日であると

市場通の火事

二十六日午前二時の眞夜中に安東縣市場通九丁目藥種商松村秀馬（三五）方階下表六疊の間より出火同家及び隣家四棟を燒失し同三時漸く鎭火したが、原因は前記秀馬が前夜十一時頃まで階下で飮酒した際長火鉢の炭火不始末の結果であるが聞く處に依れば秀馬はその後一時頃小用に起きて右の由を知つたので消しは消したが醉ひのため充分に消し止めずたゞ掃き消したまゝで就寢したので遂に前記の始末に及んだものであるが、損害二千圓秀馬は目下安東署司法係で失火被疑者として取調べ中

溺死々體發見

白馬水泳場に於て二十三日水泳中溺死したる新義州驛員仁和秀吉氏の死體は二十六日朝水泳現場に於て漸く發見された

青年同盟結社事件の公判

新義州青年同盟結社事件の安秉珍外五名の治安維持法違反に係る公判は二十七日午後零時四十分から新義州地方法院第一號公判廷に於……

ポプラ敗る

滿鐵病院庭球部ではポプラクラブと二十六日午後四時よりポプラコートに於て試合したが、ポプラ軍は看護婦連の應援にすつかり氣を呑まれ十六對十五にて初陣の病院をして名をなさしめた

內田巡査母堂

安東署司法係巡査內田民雄氏の母堂は豫て病氣に罹り療養中の處二十五日朝逝去した、葬儀は廿六日午後三時東本願寺に於て執行したが尾崎署長以下多數の參列者があつた

鐵嶺

舊汜河鐵橋應急修理
基礎が崩壞

鐵嶺石山得勝臺間の水災被害地舊汜河の汜濫は豫報の如く想像以上の大被害で、今尙鐵嶺保線區員の復舊工事が續けられてゐるが、過日潛水夫をして橋梁の基礎工事を探査したところ地下二米突以上も崩壞してゐる事判明したので、更に大連から三名の潛水夫を雇ひ二十八日から應急修理を施す事になつた、工事は崩壞の個處にバラスを詰め橋梁基礎の動搖を防止するものである、舊汜河鐵橋は僅かに三四間位のものであるが、詰込みのバラスは貨車四十八車を要すると、これが爲め同所通過の上下列車は一時停車徐行してゐる

人事

▲中山進氏（地方係公費主任）　沿線各地旅行中の處二十六日歸安
▲稻田農務主任　二十七日夜發歸省約三週間の豫定

朝博に出品
在留鮮人から

九月に開催される朝鮮博覽會に對し鐵嶺鮮人民會からは沙河子及上肥地地方の水田米及び沙河子の鮮農部落水田の實況購買組合內部等の寫眞を出品し、普通學校からは兒童の手藝になるバスケツト柳行李及同校全景手藝の實況等を寫眞にして出品するに決定、二十七日全部の荷造りを終つたので二三日中に發送の筈と

竊盜犯人逮捕

去る二十六日午前三時頃大和町料理店福屋に忍び入り現金六十圓腕時計二個を竊取逃走したる犯人あり、屆出によつて警察では犯人搜索中のところ同日午後二時頃支那料理店玉海樓にて犯人を逮捕した犯人は縣下遼海屯生れ無職劉支奇（一七）及び同吳慶山（一七）で莫大な現金と腕時計を所持し居つた、吳と劉とは二十五日當地支那監獄を放免されたもので出獄の其晩の仕事であつた

豐年畫伯個展

目下權太氏方に滯在中の益田豐年畫伯は滯在二ケ月餘の作品を二十九日から二日間滿鐵クラブで每日午後九時まで展覽してゐるが五十餘點得意の花鳥人物が多い、尙希望者には即賣の需めに應ずる外畫帖式紙丹册扇子のうち一種に限り即席揮毫を進呈すると

三業組合役員改選

鐵嶺三業組合では二十六日總會開催役員改選の結果左の如く當選決定した

組合長鐵嶺ホテル、副組合長由良之助、會計評議員あさひ、評議員松花ホテル、日鐵、金波樓、幸樓

●●●●●●●患者食調理法の栞　日本赤十字社同方會編纂の患者食調理法の栞は患者を持つ家庭の必要品として重寶なものであるが若し購入希望者があれば實費三十錢で分與する由、希望者は赤十字鐵嶺支部に申込まれたしと

撫順

消費組合が飮食部を開かん
品種時間制限の聲明を無視し 開設準備着々進行す
全飮食店の死活問題化せん

撫順に於て目下消費組合が日常必需品を供給する以外西洋料理、日本料理百數種に亘る飮食部を設け將來は湯皮のむけた女給まで置き市內四十六軒の飮食店の營業を壓倒せんとする計畫が着々進行しつゝある爲め、市中側飮食店全部の死活問題たるのみならず撫順商店街の繁榮を阻害するものとして問題は重大化せんとしつゝある當初組合側は社員の便利を計る爲め「そば、うどん」類に品種を協定し時間を制限して市中側に何等打擊を與へぬものとするとの聲明なりしも、最近に至つてその聲明を裏切り大なる背景を利用し各種料理の全般に亘つて純然たる營業的の大仕掛の設備をなし品種、値段をかき連ねたるビラを永安臺方面に洩れなく配布しつゝある爲め二十七日飮食店組合代表加藤、山本、田代氏等は炭礦長、警察署、實業協會長等に本件に就て陳情書を提出傍ら臨時地方委員會を招集につき市中側の苦衷を訴へてゐる、右に就き山上實業協會長、その他有識者間の意見を綜合するに次の如くである

識者間の意見

消費組合は現在充分その機能を發揮し、且つ市中側商店とは比較にならぬ位算盤の上でも順調に行つてゐるのであるから、尙この上に飮食部まで新設しなきだに青息吐息の市中側も疲弊さす要はなからう、元來撫順は他の都市と異なり總ての商店が炭礦側を得意として生活してゐる、奉天の如く外來客にうるほされる事は極めて稀なのであるからこの點も考慮し町側がこの上さびれるやうな事は避けて貰ひ度い、消費組合が今更ら飮食部を新設しなくともその存立の根本問題には觸れないが、飮食店組合にとつては死活問題だから、是等の點も考慮しせめて當初の聲明の如く品種、時間を制限實行し町側に致命傷を與へるやうな事は全撫順の爲回避すべきである

警察側の意見

如何に消費組合と雖も營業許可願認可なき內室々とビラを撒布し營業行爲をなすは警察を無視してゐるものである

加藤組合長談

尙加藤飮食店組合長は消費組合が警察より催促されて最近だした營業許可願の一項に、消費組合が飮食部を營業的にやる事に就て「加藤飮食店組合長出代副組長も了解承知せる」云々の語を公然と書連ねてあるが、自分等は消費組合が西洋、日本各料理の全般に亘り營業する事を承諾した覺えは全然なく、警察當局を瞞着せんため斯る虛構の言を文書の上に表すは甚だけしからん事である

奧さん達の意見

一方永安臺社宅の奧さん連の意見をきくに料理が幾分安いとしても傳票で取ると結局金嵩が張る上、お客などの時今まで不便な所ですからと番茶位ですませる所を目と鼻との間に各種料理が出來ると、勢ひ義理でもとらねばならぬ、消費組合に料理部の出來るもよしあしです」と語つてゐる

醉漢留置場で無茶苦茶暴る

本籍愛媛縣松山市現撫順大丸旅館止宿三好良市（三七）は二十七日午前一時頃宿屋でウヰスキーをしたゝかあほり亂暴をして仕方がないとの報に接したので、撫順署員が急行なだめてもきかぬので一先づ連行同二時頃假留致した處、留置場が破れるやうに騷ぐので宿直主任の倉田司法主任も持て餘し矢張り當直の柔道三段諫山君を取鎭めにやつた處、益々猛り狂ふので留置場の扉をあけ取押へんとするや醉漢三好は黃金波漂ふ便器を大上段にさし上げ諫山三段の頭からザブリ浴びせかけんとす間一髮醉漢の利腕を押へ漸く取鎭めた

南滿火工品會社五十萬圓で設立
雷管導火線製造が主業

撫順の元老山上吉藏氏を社長とする資本金五十萬圓の南滿火工品株式會社が今回撫順楊柏堡霙家溝に出來る事となり二十六日午後三時その設立式が擧げられた撫順炭礦で年額二百萬圓を使用する碎岩等に使用する雷管、導火線是に附隨する火藥等を製造火工する事を目的とし右は東京の日本火藥製造株式會社、安東の滿洲礦山火藥株式會社との合同になる新設會社でまづ第一期計畫として萬一の場所を他に危險を及ぼさゞる前記霙家溝の一萬五千坪を敷地とし諸工場は三十棟、總建坪六百五十坪にて直に起工本年十一月完成の豫定で、諸機械の注文据付工事完成次第實作業に移るとの事である、右會社の火工品が出來るやうになれば撫順炭礦從來の惱みの種であつた火藥、雷管、導火線は充分撫順にて自給される事となり五年度の八百數十萬噸の增掘計畫上にも至便を齎す譯である、尙同社の決定せる重役の顏觸れ次の如し

社長山上吉藏氏、專務取締役吉家啓造氏（滿洲礦山火藥會社々長）△取締役兼支配人貝塚錫三氏（日本導火線株式會社專務）三取締役小倉鐙三氏△同福山武市氏（朝鮮火藥專務）△監査役飯森梅男氏（日本火藥支配人）△同井上輝夫氏（滿洲製麻專務）△相談役原安三郎氏（日本導火線株式會社々長）高木陸郎氏以上

淺草、兩國出現
サーカスと相撲 人氣を呼ぶ

撫順に淺草と兩國とをつきまぜたやうな盛り場が中央大街に出來た片や大阪、九州合併の大相撲櫓太鼓の音も勇ましく大小數十旒の幟は行人の步をいやでも止め、五國山、黑雲、荒飛、松嵐、若港等四十名の關取連のたぶさ姿も珍しく連日大入滿員で勸進元の佐藤君はくくの態である、一方は木下サーカス團で一行八十名の大世帶廿七日午前より興行してゐるが呼物は娘子軍の曲藝、愛嬌者象君やオツトセイの藝當で是も大向ふをうならせ景氣のいゝ所を見せてゐる

正隆及關東廳へ

二十八日夜行にて中野庶務課長、古賀調一氏、田中、中島實業協會副會長等は不動産組合及び金融組合速進陳情の爲正隆及び關東廳へ向つた

吉林

松花江の大增水 市街地の浸水もあり 田畑木材の損害多し

吉林松花江は一時減水しつゝあつたが二十三日に至り再び水嵩を增し遂に平水との差一丈七、八尺に及び、大正十二年八月の松花江氾濫以來稀めての增水を見た、其原因は上流樺甸縣渾發河の氾濫に依るもの〻如く、同地方市街地及村落の被害は實に夥しく又沿岸の漁家農家の流失したもの無數であると云はれてゐる尚樺甸城は浸水四尺吉海線朝陽鎭は浸水七尺に及び交通は全然遮斷され田畑の被害に至つては實に甚だしい模樣である、吉林省城沿岸の土民等は上流より連日流下する木材原木新材其の他破壞されたる家屋の梁柱等を危險を冒して撈取に努めてゐる、また吉林省城江岸の家屋に浸水したもの少からずして一時は家財の搬出引越の爲めに非常な混亂を呈した、因に今回の洪水にて吉林支那木材業者には相當被害ある見込みであるが、尚日本人側では三千圓內外の被害者二三名ありと

御眞影を奉移

吉林總領事館へ御下賜の御眞影は從來本館事務室金庫に奉安し來つたが、今回堅牢優美なる奉安庫が數日前到着したので之を警察署長室に置き二十六日御眞影を右奉安庫に奉移した

ハンモック 下畝氏の新案

吉林省城日支合辦同文商業學校長下畝榮吉氏は種々研究の結果車內幼兒ハンモックを新案し、近く特許局に其模型及說明書を添付して新案登錄願ひを提出すべく準備中であるが右ハンモックは長さ五尺巾一尺五寸餘のズック製にして汽車旅行の際車中網棚に吊して使用する裝置になつて居るもので携帶にも至極手輕である

時局記事檢閱

吉林省政府は此の程支那側各新聞社に對し露支時局に關する記事は官廳の檢閱を經るにあらざれば一切登載することを禁ずる旨通告した、故に吉林省城支那側各新聞は時局に關する記事は殆ど掲載せず偶々記載するものも支那側に有利な然も官廳に迎合的記事に限られてゐる

公主嶺

頻々たる運行妨害 少孩の惡戲

列車の運行妨害事件が各地に續發するので守備隊と警察とでは犯人の檢擧に努力中、二十一日午後五時三十分蔡家驛の南方三千米突第二踏切に於て、巡察の公主嶺守備隊第三中隊山岡中尉以下五名の檢擧した梨樹縣八家子房住農陳喜恩の長男陳成子（一二）及び同所農趙拾孝の三男趙黑子（一一）の兩名は牛馬の放牧中北行第二十一列車が同所を通過に際しレール上に拳大の石を置き、車輪が置石の全部を粉碎せるに興味をもち再行せんとしつゝあるのを發見したのであるが、これ等兒童の惡戲を嚴重に戒告の上親權者に引渡したと

馬賊と交戰 支那軍隊苦しむ

郭家店を距る南方三十支里の部落に二十三日の夕刻現はれた頭目東勝、金山の率ゆる十數名の馬賊に對し、同地の保甲隊長孫玉堂は部下二十名を引率討伐に向ひ追赤交戰、賊團は王家屯方面に退却したので第四區保甲隊と合し追擊續行の一方、同日午後一時公主嶺支那町の南方二十支里黃嶺子附近に二十餘名の馬賊橫行すとの報に接した、保甲隊は之が討伐に向ひ賊と遭遇交戰し保甲兵五名負傷頑强なる抵抗に遭ひ不利となつた同隊は伊通縣駐屯第三十三團長に應援を要求したほどで該地の住民は時節柄不安の念に囚はれてをると

馬賊現る 蔡家驛西方に

蔡家驛西方十二支里拉腰溝の北方登家甸に二十三日の午後三時軍服着用の馬賊集團が二名の人質を連行し西方に進行するのを發見した同地居住農傳、王の兩名は之れに威嚇發砲したところ、この流彈に中れた人質一名を放棄し北方に移動、午後七時宋家屯の農家に一泊二十三日午前三時出發に際し家人の衣類を強奪南行したと

公陵雜信

吉林に急行の松岡滿鐵副總裁が二十七日十一時五十一分當驛着の北行列車で通過するので、之を迎へた水町司令官、宗農業學校長外諸氏に下車挨拶ありて社員側に對し在任中の仕事は半成に終つたので今後しつかり賴むとあつさりした言葉を殘し、同五十六分乘車實習生の萬歲聲裡に北進した▲露支國境の兩軍緊張奉天より懷德縣駐屯混成第一旅に對し動員の下令があつたとのことで農民は高粱繁茂に近づき軍隊出動後に於ける馬賊の橫行を氣遣ひ自警の準備中であると▲警察署と地方事務所は夏季衞生傳染病の豫防に頗る手數を煩はし各戶に配布した該注意書中に若し馬賊の來襲と云ふ樣なことがあつたらヤレ警察ヤレ軍隊、市街警備、戶締、窓には金棒と嚴重なる警戒する樣に豫防して欲しいと、殊に本年は各種傳染病、痲疹其他の病氣で六月以降の死者重患者の數は馬賊の被害以上數等多いのであるから特に注意を拂はれたいと▲二十七日の午後一時より隔日に農業學校實習生の汗になつた野菜を一般の家庭に安價で販賣することにしたので販賣所の消費組合の附近はお客で雜沓してゐる

遼陽

撫順炭礦軍勝つ 工場軍後半に利あらず

撫順炭礦機械課チームは廿八日來遼、午後一時から白塔公園グラウンドに於て工場軍先攻で試合開始四回迄は工場軍優勢で撫順軍を壓して居たが、七回の裏に於て撫軍一擧五點を得、八回表工場二點を奪回したるも、遂に十一對九で撫軍優勝した

列車妨害 軌上に石

首山驛の南方十町の地點に廿五日午後零時二十分頃拳骨大の石十七八個を軌上に並べて居たのを下り八十七列車に乘務して居た遼陽機關區所屬金子機關士が發見首山驛長に告げ取除いた爲め事なきを得たが附近部落の草刈小孩の所爲ならんと搜査中である

城西の水害 農作の被害甚し

遼陽城西一帶は頃日來の降雨で農作物の損害甚だしく中にも單臺子村に在住水田經營中の百餘天地を初め、唐馬寨を中心とする五ヶ村は農作物全く水中にありと云ふ有樣で被害甚大であると

京城

呂運亨の取調進む

京城に護送以來京畿道警察部の留置場に拘禁されてゐる中國韓人共產黨主領呂運亨は連日四五時間の嚴重な取調を受け田邊高等主任警部の手で着々訊問調査書が作製されてゐるが、更に惡びれた處なくすらすらと自白するので拘留滿期の廿九日までにはすつかり取調べも終了し直に檢事局へ送致される模樣である、呂は取調べ以外は默考に耽り沈着な態度は道に首肯させられるとのことだが、たゞ留置場のピンチには弱つてゐるので監視の警官の好意から室を換へようと勸めても「他の者が入れば矢張り食はれるのだから」と我慢してゐるといふ

僞刑事と自稱 前科者の惡事 贓品質物と稱し詐取せんとす

廿五日午後九時頃府內大平通二丁目質店三浦榮一方へ東大門署刑事金泰用と稱する男が强窃盜前科三犯李某といふものを連行して李の入質品を調べに來たと質物臺帳を提出させ、李が首肯する六十圓以上の貴金屬十數點を贓品として持歸る旨を主人に告げたが「明朝署へ持參する」と主人が答へると二時間餘も話込んで去らず、最後にポケツトからナイフ樣のものを持出す氣配を示して脅迫し右の貴金屬を强奪しようとしたが大膽に[illegible]かれてその儘逃走し、刑事と稱する男は右方警路から松寺法務局長官舍方面へ向つて姿を晦まし、前科三犯と稱した男は逃場を失つて同質店直前の東學震方の床下へ潛伏してゐたのを南大門派出所員に逮捕された、所轄本町署では直に嚴重取調中だが刑事と稱する共犯者については緘默して語らない

橫領總額は二萬數千圓 鮮人の行金拐帶

一萬五千圓の行金拐帶犯人である京城府南大門通漢城銀行南大門支店行員劉（劉は誤り）鴻淳（二七）の犯行は昨年から繼續されてゐたもので、橫領總額二萬數千圓に上る見込である、搜查の結果と見られる廿六日朝東本町署では犯人の馴染妓生たる漢城券番妓生李英淑外十數名の妓生を召喚取調べを續けつゝあるが、正午頃から刑事を八方に飛ばして大活動を開始した模樣では當初の見込である滿洲を經て支那潛入との觀測を一變して府內に潛伏の確證を得たものかとも見られ、廿五日頃永樂町のカフエーバロンに立廻つたとの說も傳へられてゐる

預かつた子供を賣る

本籍忠淸南道唐津郡冷川面松山里住所富川郡多朱面長意里二六九、山野井煉瓦工場夫韓東植方李永學の妻安永護（三〇）は十三歲の長男八歲六歲三歲の三女を抱へて夫永學に棄られ生活に窮してゐるのを、仁川府新花水里一八勞働者東基文（三九）李聞在（三七）の兩名が甘言を以て本月初め三歲の女兒昌壽を引取り、歸宅後直に支那町の勝採常智者支那人某に賣飛ばし昌壽は數名の手を經て數日前支那本國に送られたことを、此程小兒可愛さに取戻しに行つた母が探知し仁川署に訴へ出たので仁川署では廿五日來數名の關係者を引致取調べ中で東基文は逸早く逃走したが、開城署の手で一兩日中に逮捕の見込である、仁川府內に居住する支那人の內鮮人兒童誘拐被害は從來頻々として跡を絕たなかつたもので仁川署では此際徹底的大檢擧を斷行する意嚮であると

哈爾賓

露國銀行の大恐慌 預金引出多く

時局が尚不安狀態にあるので露國側の極東相互借款銀行、露太商業銀行及び家主組合銀行などの小中銀行は主として一般露西亞人商人家主などを得意としてゐる關係上當座預金を引出すもの多く、未だ本式の取付けとまでは行かないが銀行側では大恐慌を來し百方預金者の不安を鎭靜すべく努力してゐる

下村派遣員 滿洲里を引揚

滿洲里駐在の下村朝鮮總督府派遣員は二十七日午後六時十五分當地へ引揚て來た

コドモページ　成績紙上展覽會

なつかしい照ちやん

長春西廣場小學校六年　塚本八重子

あの十二月二十一日の夜鞍山の驛でかなしくわかれた照ちやんと今日此の星ケ浦で會つた。こゝで會ふとは夢にも思はぬ事であつただけ一そううれしかつた。出島さんが「照ちやんが來られた」との話で私はおどろきの餘りにうろたへて飛び出した。ハルビンの室の前にあの時わかれた時とかわらぬ小がらな身體がにこつと笑つておじぎをする樣は私の胸から常にはなれぬ姿そのまゝだつた。私は最初の言葉がどうしても出來なかつた。しばらくしてからはつぎつぎと話がつきなかつた。其の時だつた。ハルビンの先生が御部屋から出てこられて今お話の眞最中照ちやんを部屋につれて行かれた。玉を取られた樣な淋しさはどうする事も出來なかつた。私は出島さんと顔を見合せるばかりであつた。二人はしよぼしよぼと食堂の戸をあけて御飯をたべはじめ其の御飯さへものどにつかへ少しも味がなかつた。やがて御飯がすんだ。二人はかい段でなつかしい友をまつのであつた。そこへちようど鞍山中學三年のぼるさんが目をくるくるさせながらゐらつしやつた。私はていねいにおじぎをした。

照ちやんのお兄様は「あ、あなたもきたの。照ちやんあそこにゐるよ」とにこつと笑つておつしやつた。私は其の時大へんうれしく思つた。二人はしばらく無言のまゝ照ちやんの來るのをまつた。まてどもまてども照ちやんは來さうもなかつた。私は出島さんに、「あの人ならば私をわすれる事はないのよ。きつとあの人ははづかしがりだからだまつてゐるのよ、校長先生におつしやつたならきつと合つておゐでとおつしやるわね」出島さんもそれには答へなかつた。又お兄様がこられた出島さんは「ねえ兄さん塚本さんがもつと照ちやんとお話したいつてよ、だからよんで來てちようだい」お兄様は笑ひながら又お部屋へ入つて行かれた、照ちやんがちよこちよこと走つてこられてにこりと笑つた。小學校であの照ちやんとけんくわした時二度仲なほりする時の樣とかわらないのであつた。私は照ちやんのかたをかるくなでながらそれからそれへと話しはじめた。其の話してゐるうち私は照ちやんの顔を見るとなんだか鞍山の小學校をこひしく思ひ小學校のなり行を聽くとほんとに三年から五年までの事を思はされるのであつた。やはり照ちやんわ私の一ばんの仲善しだ。どうかもつとこの照ちやんと仲よくお話した。其ののぞみはなかはなかつた私が自動車で歸つて來た分はもう照ちやんとのわかれだつた。私はきつと鞍山へ遊びに行かうと心にきめて寝床へ入つた。

寫生(水彩)　哈爾濱小學校六年　山口

星ケ浦海岸にて

開原小學校尋六　前田貞子

丁度七月十七日の朝食後の散歩の時の事であつた。少し散歩をしやうと言ふので寫生道具を持ち先生と一しよに海岸の方へ散歩に出かけた、さう暑くもなく寒くもなく心ゆくばかり晴々しい天氣であつた。其の時は丁度滿潮で大波が「ざぶん！」とばかり濱におしよせる。其の度に澤山のしぶきが顔にかゝる。ふと先生がお呼びになつたので急いでかけよると先生は次の樣なことを説明して下さつた。

「地層と斷層」

地層とは水の底に土が順々に沈んで何億萬年と立つ中にそれが岩になり丁度地を板の樣に重ねた樣な處を言ふのである。それがずつと昔地震があつたり地球がひえたりして、きれいに重なつた地層が波の樣にゆがみそれに、ひゞが入り「ずとん」とひゞきの處からづれて斷層となつたわけである。斷層は其のひゞの處を言ふのである。星ケ浦海水浴場の地層はシエールと言ふ石や金槌で傷の着く茶褐色のやはらかい岩である。撫順の石炭をかぶせてゐる地層は油を含んでゐるのでオイルシエールと言ふ。

「海岸の石」

海岸の岩を見ると大ていのは角がない。それは波と一しよにおしよせる石と其の岩とがぶつかり何年も何年も立つ中にたうたう角がなくなつたさうである。ずーと沖の方にある島の中、島が眞中から切つて其の一つの方の形をしてゐる島が二つ、三つ見える、あれもやはり斷層が出來て其の一方が波にさらはれてあの樣な形の島になつたさうである。

波は「ざぶん！」と濱におしよせる。あゝ何と言ふよい心持でよい景色であらう。それから後は好きなスケッチ。

あゝながめれば、ながめる程廣い果しもない海の沖には一そうのほかけ舟が浮んでゐる。「ざぶん！」又波は濱におしよせた。

海水よく

公主嶺小學校五年　丹靖江

私は大連へ來た時はまだ少しもおよげなかつたので私はしやくにさはつた。一しようけんめいでおよぐけいこをしたが、なみのため後の方へおされてしまつてなかなかおよげません。二三日立つとこはごはかほをつけました。するとなみがきたので、立ち上ると大きななみでたいへん私は水をのんでくるしかつたが身體がぽかんとういた。私はしめたと心の中で思ひました。私はこの日が一番おもしろうございました。毎日けいこしてゐる内になみも一つもこはくなくなりました。そして其の中に一米突くらいおよげるようになりました。やつとおよげるようになつたと思へばもう明日歸らなければなりませんので、ざんねんです。

寫生(水彩)　吉林小學校尋六　三ケ島勝

リンゴ拾ひ

奉天春日小學校尋六　飯田清子

だんだん水泳大會の番組がすんでいよいよ私達のリンゴ拾ひの番になつた。「ピリピリピリ」となる笛の音と、ともに男生は水の上を「ぱちやぱちや」と音を立てながら走りだした。よほど近い所にリンゴはおいてある。中には立つて拾つてゐる人も居る、間もなくもどつて來た人を見ると、手に一ぱいもつてきた人もあれば中にはフンドシの中にいれて來た人もゐる。ずゐぶんきたないことをする人だと思ひながら樣々の人の樣子を見てゐた。數は皆おなじくらゐである。一列、二列もすんでいよいよ三列、私達の番になつた。青いはちまきを腹にぎゆつとしめて水泳着の中にいれるつもりである。「ピリピリピリ」「ぱちやぱちや」とすこし行くともう深くて立てなくなつた。一生懸命に泳いでやつとリンゴのある所まで來て一つとつた。も一つとるとこんどは前にとつたリンゴが手からはづれた。つゞいて後にとつたのもにげてしまつた。けつきよく何もなくなつてしまつたわけだ、誰かゞ立つてゐたので私もたとうと思つたらぶくぶくとしづんだ。びつくりして一生懸命かへつて來てやつとせいの立つところまで來た。まだ一つもリンゴをとつてゐないので後を見ると、一つ浮いてゐる、おほいそぎでそれを水泳着の中にいれたら又浮いてきた。さうしてやつと五つばかりとつてもどつて來た。皆なはせいが立つからたくさんとつて來たやうだ。私はなぜこんなに小さいのだらう。つくづくいやになつた。ほんとうにせいの高い人は便利だと思つた。

私のはな

嶺前小學校三年　大島妙子

お父さんに、いつも「妙ちやんのはなは、てんじようにむいてゐるね」といはれる。或日、私が學校へきて、敎室へはいると、前川さんたちが「くつくつ」とわらふので「どうしてわらふの」と聞くと前川さんが「大島……さんの」くつくつとわらつた。私は、又前川さんに「どこが、おかしいのね」と聞いたら、前川さんが「大島……さんのはながてんじようにむい……て」といつてわらつた。だれからも笑はれる。ほんとうに私のはなはてんじようへむいてゐるのかしらんと思ふ。時々お母さんたちにおふろにはいつてから、はなをつまゝれる。私はこのてんじようへむいてるはなを、とつてしまひたくなる。私はおほきくなつてからおよめにいくのに、はながてんじようにむいてゐたら、およめさんにもらつてくれないかと思ふとかなしくなる、ほんたうにこのじやまな、てんじようにむいてゐるはなをとりたい。

ボクノイモウト

沙河口小學校一年　石原正次

アイコハ　ボクノ　イモウト　デス。トシハ　四ツデ　セイガ　タカイデス。ミンナニ　カワイガラレマス。ボクノ　アイコハ　トテモ　カハイイデス。パンノ五ジニナツタラ　ボクト　オトウサンヲ　ムカヒニ　イキマス　オトウサンハ　トテモヨロコビマス。

さびしい夜

松林小學校三年　小野健市

僕たちは、夕はんが今すんだばかりである。お父さんが「僕は町へいつて來るからおるすをしておいで」とおつしやつた。僕は「はい」といつたきり後がいへなかつた。まもなくお父さんは仕度をとゝのへてお內を出ました。へやは「シイン」としづまりかへつた。僕は本をよみ出した。しばらく本をよんでゐたが、さびしくてたまらないので、とこの中へもぐりこみました。時計を見るともう八時半ごろです。僕はあわてゝ目をふさいだが中々ねむれなかつた。それでもいつのまにかねむつたと見へて、ふと目をさました時僕のよこにお父さんがすやすやとねむつていらつしやつた。

俳句

奉天彌生小學校五年生　市川潔

夕立にむかひの屋根のしぶきかな　小林久男
夕暮にぱつとあかるく電氣かな　橋野享一
夏の雨子供よろこぶ水たまり　橋野享一
初夏の雨やうれしき水たまり　濱本六次
夕ぐれに雨しとしととふりにけり　三橋明
初夏に虫とりあみをふりまはす　高島文男
夕暮にこうもりとぶや空の上　星野邦彦
夕すずみ小さきときを思ひ出し　小林久男
熊公がすまうをとるや人氣者　橋野享一
水たまりぽんととびこむ子かへる　橋野享一
夏の雨植木持ち出すいそがしさ

多數の共產黨員 撫順に潛入して策動
宣傳ビラやパンフレットを 華工に配り電柱に貼る

【撫順特電二十九日發】最近當地に多數の支那共產黨員が潛入し去る廿六日撫順炭礦華工に宣傳文を配布した事件があつたが記事掲載を其筋より禁止中のところ本日解禁された

彼等共產黨員は現在のわが國家組織とは根本的に相容れざる宣傳ビラを約五千枚及び謄寫版刷のパンフレットを廿六日老虎臺附近及び各採炭所の華工に配布し同時に各電柱に貼り付けた、炭礦勞務係及び警察高等係に於ては極力その犯人を捜査してゐるとき同日午後二時四十分頃老虎臺附近に二名の怪しき者を認めたので、これを誰何すると一名は東ケ岡舍の一名は築鬪の鐵柵を乘越えて逃走した、彼等の遺留した風呂敷には共產黨の不穩宣傳文數百枚が入つてゐた、撫順警察署では連類が多數あるものと見込み目下極力捜査に努めてゐる

五回以後の經過
大連商業と青島中學 滿洲豫選の決勝戰

全國中等學校優勝野球大會滿洲豫選における大連商業と青島中學の決勝戰第五回以後の經過左の如し

▲第五回　大商白石三振後谷口遊飛内野安打、因藤の遊撃惡投に走者二進、梅木三振のとき谷口敢然三盜、次いで因藤二盜せしが工藤惜しくも二——三後三振△青中山本の二飛一壘手落し岡崎三振牧野の遊飛梅本低投して生かしこの間に山本三進、牧野二盜、杉中スクイズを試みて成り山本生還、牧野三進永美遊飛に退きしが更に一點を増す（大案青二）

▲第六回　大商飯田三飛伊藤原田三振小平の調子良し△青中平野投飛三根左飛上本三振に因藤のカーブも良く入る（兩軍零）

▲第七回　大商德永三飛白石遊飛谷口遊飛△青中小平投飛山本右飛後岡崎カーブの内角に入るを待ちて左中間に三壘打せしが牧野二球目を投邪（兩軍零）

▲第八回　大商因藤梅本共にアウドロを振つて三振して二死工藤左翼に直球を呈したが野手好捕す△青中杉中遊撃右に安打し永美三振の時に二盜、平野の投飛に杉中三壘に走りて刺され三根三振（兩軍零）

▲第九回　兩軍最後の必撃に決死の覺悟、大商飯田ボックスに立つたが三飛し伊藤第一球を右中間安打（白石代走）して一寸色めき原田の投飛に封殺、德永中堅に飛球を呈し九A對四にて遂に大商萬劫の涙を呑む

大商	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四球	過失
2 白石	4	0	0	0	0	1	0	0
4 谷口	4	0	2	0	1	0	0	0
1 因藤	4	0	1	0	0	1	0	0
6 梅本	4	0	0	0	1	3	0	1
7 工藤	4	0	1	0	0	1	0	0
3 鈴木	1	0	0	0	0	1	0	1
5 伊藤	4	2	1	0	0	0	0	1
6 原田	4	1	1	0	0	1	0	3
8 德永	4	0	1	0	0	0	0	0
計	35	4	7	0	3	10	1	6

青中	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四球	過失
7 平野	4	1	0	0	0	1	1	0
8 三根	4	2	1	1	1	1	0	0
2 上本	4	2	2	0	2	1	0	0
1 小平	3	1	0	0	0	0	1	2
4 山本	4	2	1	0	0	0	0	0
6 岡崎	4	0	2	0	0	1	0	2
9 牧野	4	0	0	1	1	2	0	0
5 杉中	3	0	1	1	1	1	0	0
3 永美	3	1	1	0	0	1	1	0
計	33	9	8	2	5	7	3	4

殘壘數　青中五、大商五
逸球　上本一
三壘打　上本一、岡崎一
二壘打　岡崎一
試合時間　二時間二十五分

スタンドから

スコアーの上では開きがあつたが兩校應援團の熱狂裡に試合は面白い白熱戰に終始した▲最初大連軍は餘りに固くなりすぎてゐたが然し靜かに兩軍戰の跡を辿るとき青島の勝は當然であつた、投手、打撃、守備みな彼等に一日の長が現れてゐた、そして走壘は大連軍が優れてゐたといふよりも青島軍が未だ餘りに若すぎた▲大連因藤投手は第一球を輕んじすぎた、そして最初青中打者に對してアウトコーナーをねらつた事はよかつたが全然コントロールなく遂にボールカウントを惡くして投げずにゐられなくなつて投げる正球を打たれてしまつた▲青中軍は因藤のカーブを豫期してか身體近く來る球を透げず曲がつたところを打つて出た、しかも因藤が初めの中其球をインコーナーに入れた事も物足りなかつたし、そのカーブが一體に高目であつた事も不利であつた▲大商が短く持つて當て主義に出た事は好いとして全然腕だけでスキングする氣味がなかつたらうか、もつと身體全體でそしてバットを強く握つて鋭くスキングしてほしかつた▲何れにしても一壘、三壘の守備の缺陷が全軍の志氣の上に非常に影響した、殊に一回平野が三壘にセーフになつた時の伊藤の失は返すがへすも殘念だつた未だ一年の好漢今後の努力を切望する▲青島小平投手は良く投げたそして第一球によくストライクを取り、そのアウドロも非常に凄味があつた、唯ランナーが出てから多少の亂れ氣味はあつたが今後適時にスローボール或はサイドスローの球を投ずる術を會得したならば甲子園頭にて敢然名投手との折紙をつけられると思ふ▲同軍の勝因は彼の決鬪的精神である、彼の決投と永ひ猛烈な練習に依つて鍛へられた恐ろしい地力と勇敢な戰士壘の練習を心掛け甲子園の試合に膽を拔かれなかつたならば必ず善戰する事であらう▲尚試合後大商二宮監督は青島小平主將と固い握手を交し甲子園での優勝を祈つたが實に美しい場面であつた

凉しい船の旅 日本一周旅行團
明三十一日限り申込締切（B級滿員）

（上）高柳本社長より優勝旗を授與される小平主將
（中）優勝旗を手にエールを高唱する青中軍
（下）好投して勝利に青中軍を導いた小平投手

遂に榮冠を贏ち得たる 青島中學ナイン

廿八日蓋開けの 日本大相撲
人氣沸騰の本社優勝旗爭奪 先づ「武の里」勝つ

大相撲初日は日曜の好晴に惠まれ福島縣人會の信夫山後援會、大連消防組、大連檢番等の總見團隊あり、棧敷には好角家の堀三之助氏、海大鬼氏その他の顏も見へ炎熱をも厭はず七八分の入り、餘興玉碇と常陸島の初つ切り信夫山と和歌島の番外お好みなどに人氣を沸騰せしめ、午後四時十五分よりの本社優勝旗爭奪幕下個人決勝は更に萬場を沸かしたが三回戰にて出羽の花、大響、呉錦、武の里の四力士が各三勝して殘り準決勝戰の結果、出羽の花と武の里が四勝し此敗者呉錦と大響が決戰し呉錦の勝に歸し愈最後の優勝戰に入りて大激戰の後遂に初日の一等は武の里が出羽の花を屠つて榮冠をかち得、二等出羽の花三等呉錦の順にて大喝采裡に夫々本社よりの賞金を贈られた、中入後の勝負は左の通り

大島（つりだし）栃の森
右四つ投げ合ひ大島より猛烈に寄り土俵際にて吊出す
高の花（つりだし）常盤野
激しく突合ひ互に左をさし高の花無雜作に吊り出す
藤の里（かたすかし）常陸嶽
突合ひ常の出ばなを藤の里肩すかしを引けば常陸嶽土俵外に泳ぎ出す
常陸島（よりきり）綾櫻
一合してガツキと左四つ寄り合ひ下手投げを打つて寄切り常陸島の勝
信夫山（したてなげ）出羽ケ嶽
信夫すばやく右をさし猛烈に寄り一寸足くせを見せ正面土俵際に寄りつめ下手投げを打てば出羽の耳鷹朽木の如く倒る
外ケ濱（したてなげ）玉碇
右四つ吊り氣味に寄りながら外ケ濱土俵際に下手投げを打つて極る
天龍（うはてなげ）山錦
天龍烈しくつきかけ左に山の右腕を引かけ小手投げを打ち山危く殘して突合ひ機を見て天右に敵の褌を引き上手投げを打ち見事に極つて山土俵に轉ぶ
若常陸（つきだし）若葉山
突合ひ突出して若常陸の勝
大の里（したてなげ）新海
大の素早く右をさし新海小手投げを打つて寄るを大の里下手投げを打つて勝
常陸岩（つりだし）武藏山
烈しく突合ひ武藏南上手を引き常陸二本ざし正面に寄り進み吊出して勝
常の花（よりたふし）和歌島
和歌右をさし必死に寄るを常小手を振つて一氣に寄り出す打出し七時四十分

なほ今二日目の取組左の如し
（常盤野）綾櫻（高ノ花）武藏山
（栃ノ森）藤ノ里（常陸嶽）常陸島
（若常陸）大島（山錦）
（天龍）新海（出羽ケ嶽）
（外ケ濱）和歌島（大ノ里）信夫山
（若葉山）常陸岩（玉碇）常ノ花

滿鐵水泳部 五哩遠泳
廿二名合格す

滿鐵水泳部主催の黑石礁臨海浴場神社往復五哩遠泳會は絕好のコンデイションの下に廿八日午後一時より開始參加者六十九名に達し全泳者は廿二名でタイムは三時間卅八分であつた全泳者の氏名左の如し

原口稔、瀨崎貞美、内田東三、許鴻年、橋部敏雄、近松德三郎、眞鍋邦夫、有井尚武、直江定起、米納龜一、佐藤新一、大塚武男、林德榮、許澤年、古市藤夫、河野元次、坪井茂男、河野元次、加藤新之丞、武田一郎、堀亮三、隆史與

支那學界の 權威來連
多數打連れて

廿九日上海より入港の榊丸によつて支那現代の學界の權威者が珍しく顏をそろへて來連した、一行は張心一氏（南京金陵大學校長）李應林氏（廣東省嶺南大學校長）胡道維氏（滬日法政大學校長）潘之旦氏（上海復旦大學教授）鮑明鑰氏（北平法大大學教授）夏晉麟氏（上海法政大學校長）曾寶孫女史（湖南女子大學校長）余日章氏（上海基督青年會總幹事）梁士純氏（同上幹事）王之幹氏（同）の面々で上陸と共に青年會館に入り廿九日夜行で奉天に向ひ、張學良氏の招宴に列席後各方面を視察、更に長春に足を延ばし哈爾賓口學の後再度歸連ゆつくり大連見學に費し九月末歸滬すると

綿花藥爆發して 死傷五名を出す
近衛工兵大隊が作業中

【甲府二十八日發電】東京府下赤羽近衛工兵大隊は去月二十四日來山梨縣北都留郡巖村の砂利採取場で岩石爆破作業を行つてゐるが二十八日午前十一時ごろ假火藥庫内綿火藥爆發し即死一名瀕死の重傷者四名を出した

此男は沙河口仲町五一看板職高橋辰一（三）といひ大分酩酊してゐて署員に向ひ散々惡態を吐き暴れ廻つたので二十九日朝沙河口署に呼出され大目玉を頂戴した

寄附を強要
酩酊した男

二十八日午後二時頃沙河口巴町四五藥店浦川清方より沙河口署に、只今一人の男が市場裏納涼場の寄附を強要してゐるから何とかして貰ひたいと電話が掛つて來たので直に署員が同家に行つた處既に其男は近所の裏太時計店に行き主人と爭つて居り、署員が取調べた處

疑似赤痢患者 また三名發生
旅順駐劄聯隊に

旅順駐劄步兵第九聯隊は先般疑似赤痢患者發生せるため七月廿九日まで外出禁止中であつたが二十八日に至り更に新患者三名の發生を見たので當分の間外出禁止の解除を見合せることゝなつた

日本女流選手
ホノルヽに到着

【ホノルル二十七日發電】全米女子水泳選手權大會に出場の日本女子選手、中村、菊池、前畑、飯村の四孃は松澤監督に伴はれ二十七日大元氣で到着した

水夫海に墜つ
あめりか丸から

昨二十九日大連を出港したアメリカ丸が午前十一時二十分頃三山島を去る南十八度東六海里の地點を航行中、同船水夫一名が過まつて海中に墜落したのでしばし停船して極力捜索の結果、一時四十分に至つた無事救助する事を得た旨商船支店に入電があつた

星ケ浦で溺死
廿八日滿鐵社員

廿八日午後二時ごろ大連星ケ浦海水浴場内安全遊泳區域内に溺死人を發見、取調べの結果右は市内花園町六十一番地前山芳一（三）といひ滿鐵地質調査所に勤務せる者と判明した

山崎文書課長東上

山崎滿鐵文書課長は過般山本總裁に隨行東上する豫定であつた處都合により延期してゐたが愈廿九日のあめりか丸で出發する由

けふのラヂオ

昭和四年七月三十日（火曜日）
自午前十一時　相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）
自午後零時三十分　相場（特產、錢鈔、各地相場）、ニュース
自午後三時三十分　相場（錢鈔、株式、各地相場）、ニュース
自午後五時　日本大相撲連絡放送
自午後七時三十分
一、ニュース
二、講話　七月三十日を追憶して　產業教本部　松山理三
三、箏曲　明治松竹梅　生田流箏　菅千古貫喜久江、同本于佐々木夫人
四、民謠　安來節　コノエ會連中
五、支那劇「四郎山」連東倶部々員
六、料理獻立
七、天氣豫報

愛慾の窓（54）

戸川貞雄作
浅枝次朗畫

金（一四）

彼達が座を外すのを待つて、英輔はやをら久彦の方へ膝をすゝめた。

「……よく來てくれたね、こんな場所へお呼び立てしてすまなかつたが、取引上の內證話は、かういふ場所に限るんでね」

と、彼は葉卷の煙をふうと吐いて、久彦の顏に瞬間鋭い視線を投げた。

「……取引上の內證話といふと」

と、久彦も相手の視線を撥ね返しながら、煙草に火を點けた。

「ね、草野君！話は手取早い方がいゝから、端的にゆくが、君は商賣柄、僕の素行上の調査も、小森家の諸事業の經營成績なんかの調べ……

……縞の鞄を見た。それからまた眼を小切手の薄青い紙面に落した。金五百圓也……。

「……少いかも知れんが、お禮は僕の方の話がおちつきに大部にするつもりなんだ。話してもくれ給へ、僕はこの鞄が見られるやうなことになつたら、生きちやゐないよ、はゝゝ、そりや冗談だが、ことほどさやうに、僕は僕て子さんにまゐつてゐるんだ」

英輔は、滿更の冗談でもないらしく、この鐵面皮漢が、いくらか極り惡氣に云つて、ぐいとビールを呷つた。

久彦は答へる言葉に窮して默つてゐた。若口を切つたなら、彼はこの侮辱に對する憤りの言葉か

……僕は實は誰もあなたに會つて頂くやうな材料を持つてゐないんで……たゞ、メリイ、ダンス、ホールのダンサーの一件以外には！いや、もう一つ、あなたの將來の奧さんに勤めてゐる女事務員仁科榮知子の一件を除いては！」

と、久彦は相手の顏色に據られながら、微塵もなく鋭い調子で突つた。

英輔の顏色は、瞬間蒼褪めた。が、すぐにやく／＼と笑みくずれて彼は頭を振いてみせた。

「……いや、見かけによらず君は凄いねえ！いや、出すよ／＼！も一つと出すよ！」

べも、もう濟また事とだらうね、全く君の日本興信所には凄い腕の社員がゐるんで、油斷も隙も出來んと、よくうちの親父なんかもこぼすよ……」

「……社の方のことは、僕なんかにはよくわかりませんが、それこそ職的に御用件の方を伺はうぢやありませんか」

と、久彦は冷たい調子で云つた。

おちついて、おちついて！こんな奴に負けてはならんぞ！さう久彦は肚の底で繰返してゐるのであるね。では、持ち給へ！」

と、英輔は、達磨の端から、小さな手提鞄を取り上げたかと思ふとパチンと音を立てゝ鞄をはね、なから一葉の小切手を引出して、久彦の前に置いた。

「……少いか知ら？五百圓だ、ね君！これで君の友永に約束してある報告を、僕にすべて賣つてはくれませんか」

英輔は、唇を微笑で綻めながら云つた。

久彦は、眼を擧げて、チラと英……

……皮肉の應酬か、それより他には云へなかつたらう。

誰に久彦の唇は顫へおのゝいてゐる。反撥的に彼はこの申し、相手の要求をはねつけて赤耻を搔かしてやらうとちりくした。馬鹿！かうなつたら我慢はならないぞ！この機會は滅茶苦茶にしてやらう、友永を動かすぐらゐわけはないんだ……。

「……失禮ですがね、これはそちらへお納め願ひませう」

久彦はかすかに顫へる聲で云つて、小切手を押し戻した。

「…足りないんですか？草野君」

英輔はにやく／＼しながら云つた。

「いや、飛んでもない！多過ぎるくらゐなんですよ、何故といへば

満日文藝

満日川柳

「暗號」　栗田靜雷選

暗號で老皎社長を唱はせる　ソ六
暗號の模範は山と川の二字　蟲草
口よりも目がはつきりと物を云ひ　農夫
暗號が解けて御客は管をまき　雨柳
暗號を作つても見る娘時代　雍堂
暗電が來て會議室皆默り　李堂
暗號で謀し合せる香具師と香具師　紋江
落選は暗號の儘で發表され　木の葉
暗號に雅の女給が撫ねて立ち　夏山
暗號と知らず矢鱈に意味を付け　みのる
暗號の高麗一寸下を向き　しげを
暗號の仕入値手代開いて負け　鵬雄
妾宅の玄關指が物を言ひ　佐馬
電信兵机叩いてよく話し　蟾蜍
投球のサインへ美事エスカープ　無六
番頭は何やら言つてからまける　住吟
親指を見せて裏口から返へし　大連　淡聲
勝負の決暗號を打つ通さ　同　旅順　榮峯

川柳八月課題

「夏　服」　八月五日締切　小國新生選
「果　物」　八月十日締切　藤原可居選
「郵　役」　八月十日締切　高橋月南選

△投句必ず別記用紙はがきの事

滿日社文藝係

水府先生歡迎川柳會

大阪番傘川柳社主宰岸本水府先生の來満を機とし八月十日頃南滿園に於て歡迎川柳會を開催する筈つて御來會あらんことを

一、宿　題　「傘」先生選　「汗」五選
一、締　切　八月五日着便（各題三句別記）
一、投句所　大連市□□町一三七高橋月南方

主催　大連各川柳會有志
後援　滿洲日報社

日本郵船出帆
近海郵船出帆
朝鮮郵船出帆
阿波共同汽船
大阪商船出帆
大連汽船出帆
日清汽船出帆
社船大連出帆